

令和5年度第4回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	366		90	191	55	30
	構成比		100.0%	24.6%	52.2%	15.0%	8.2%
性別	女性	203	55.5%	55	102	27	19
	男性	161	44.0%	35	88	27	11
	その他	2	0.5%	0	1	0	1
年代別	20代以下	57	15.6%	13	28	11	5
	30代	62	16.9%	14	32	11	5
	40代	71	19.4%	17	38	11	5
	50代	62	16.9%	16	33	9	4
	60代	84	23.0%	23	41	12	8
	70代以上	30	8.2%	7	19	1	3

モニター数 398人

回答数 366人

回収率 91.96%

実施期間 R5.10.17～R5.11.9

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組みについて

【調査の目的】

県では、飼い主のいない猫の過剰繁殖による生活環境被害の軽減及び所有者不明の猫の引取数を減らすことを目的として、平成26年度から地域猫活動支援事業を実施し、地域住民が主体となって市町村が実施する地域猫活動を支援しています。

また、県が引取りした犬猫の新しい飼い主を探すため、動物愛護センターで動物愛護団体と連携して譲渡促進の取組を実施することにより、致死処分数を削減し、人と動物が共生する社会づくりを推進しています。

このため、地域猫活動及び譲渡事業について皆さまのご意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(保健医療介護部生活衛生課)

※地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに地域住民が主体となり、不妊・去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適正に管理する活動。本活動により管理されている猫を地域猫という。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。

※ 現在、県が行っている支援

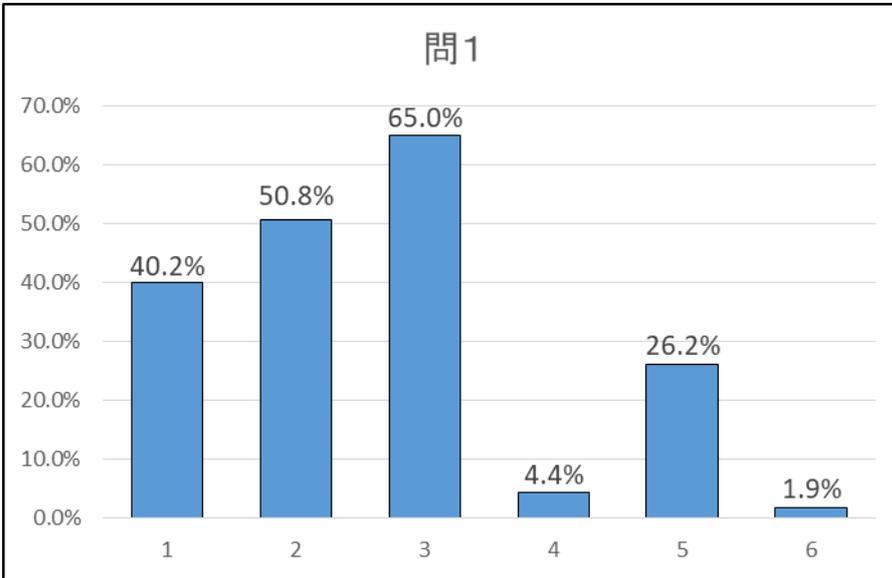
- ・市町村と地域住民とが行う地域猫活動に対する技術的な助言等の支援
- ・不妊去勢手術費用を助成する市町村への補助金交付による支援

問1 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思えますか。

(n=366 選択は2つまで)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない	147	40.2%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う	186	50.8%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する	238	65.0%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる	16	4.4%

5 飼い主のいない猫に対しては、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する	96	26.2%
6 その他	7	1.8%



[その他] (カッコ書きは類似回答数)

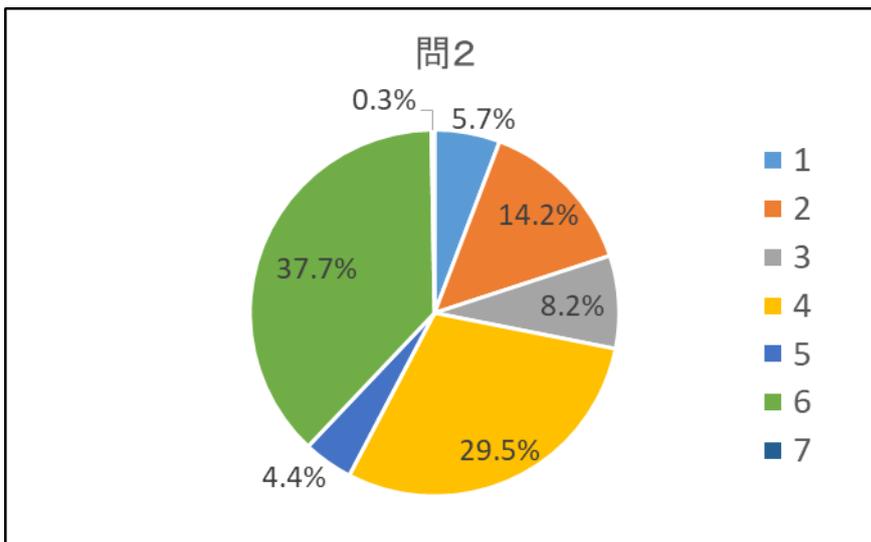
- ・ 放置していると、野良猫がどんどん増えるので、保健所が捕獲し処分すること。(2)
- ・ 猫を飼う際に IC チップなどを首輪などに埋め込み把握する。壊した際は、弁償や罰則を設ける。
- ・ 猫が自分の家の敷地内になにかした場合でも、飼い主に責任を取ってもらうことは難しいので、飼い主が家から出さないようにしてもらいたい。
餌を与えるだけの『地域猫』等の活動は、無責任すぎるので絶対にやめてほしい。
- ・ 明らかな野良猫は、避妊対策をする。そこに、補助金をだす。
- ・ 動物愛護団体や、県で動物を保護する施設を作って大切に保護して無料で譲渡できる環境を作ってほしい。いろんな方に命の大切さを教えてほしい。
- ・ 猫の飼育者を登録制にし、首輪などで登録の有無を識別。登録違反者には、何らかの罰を与える。(メジロの登録のような)

問2 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

(n=366 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	21	5.7%
2 地域猫活動は行っているが、県の支援事業は知らなかった	52	14.2%

3 地域猫活動を知っており、県の支援事業も知っていた	30	8.2%
4 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	108	29.5%
5 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	16	4.4%
6 どちらも知らなかった	138	37.7%
7 その他	1	0.3%



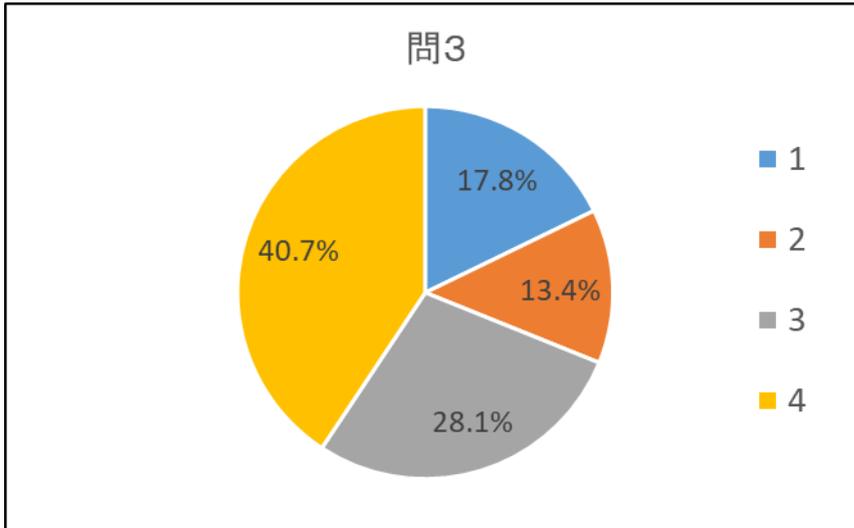
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- どちらも知らなかったです無責任なのでやめてほしい

問3 あなたは、福岡県動物愛護センター（古賀市）を知っていましたか。また、当センターにおいて、県が引き取りした犬猫の新しい飼い主を探していること（譲渡事業）を知っていましたか。

(n=366 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 施設名を知っており、譲渡事業も知っていた	65	17.8%
2 施設名を聞いたことはあるが、譲渡事業は知らなかった	49	13.4%
3 譲渡事業は知っていたが、実施している施設は知らなかった	103	29.2%
4 施設名も譲渡事業も知らなかった	149	30.4%

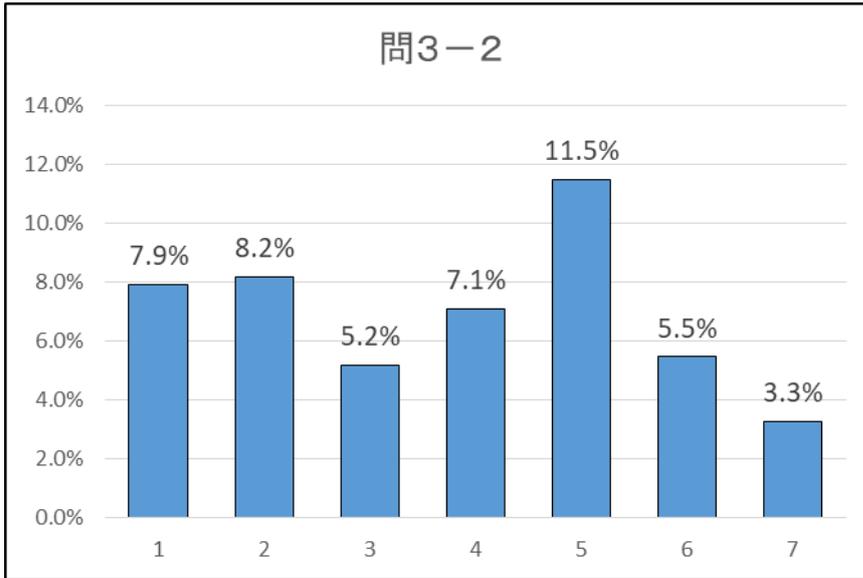


問3-2 (問3で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡について、次のことを知っていますか。

(n=65 選択は複数)

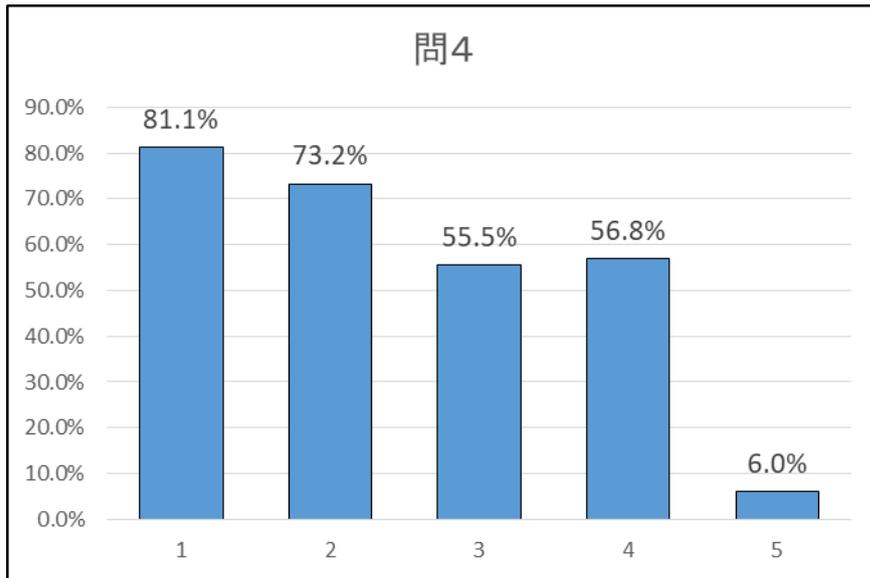
選択肢	回答数	割合
1 譲渡する犬猫は、原則として不妊去勢手術が済んでいる	29	44.6%
2 譲渡する犬猫は、原則として感染症を防ぐための混合ワクチンが接種されている	30	46.1%
3 譲渡する犬猫は、原則としてマイクロチップが挿入されている	19	29.2%
4 犬の譲渡を希望する場合は、事前に講習会を受講する必要がある	26	40.0%
5 犬猫を譲り受けるためには、家族の同意など一定の条件を満たす必要がある	42	64.6%
6 譲渡事業以外にも、譲渡した犬の同窓会、犬のしつけ方教室のほか猫の飼い方教室などを実施している	20	30.8%
7 知っているものはない	12	18.5%



問4 あなたは、福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(n=366 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ホームページやSNSを活用し、動物愛護センター事業の広報を強化する	297	81.1%
2 犬猫を譲り受けるための条件を分かりやすく、ホームページ等に掲載する	268	73.2%
3 新しい飼い主を募集している犬猫の性格や特徴を詳細に説明する	203	55.5%
4 県内各地に出張し、譲渡会を実施する	208	56.8%
5 その他	22	6.0%



[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- SNS や市町村の広報誌を活用して、譲渡会が行われていることについてより知ってもらう。(4)
- ペットショップにも譲渡会へ協力してもらう。(4)
- 犬猫の飼い方やマナー、終生飼育について啓発活動を行う。(4)
- ペットショップを廃止する。(3)
- 譲渡の条件を柔軟にする。(2)
- 拾い猫でも貰い猫でも安易に飼育できないようにするのが重要です。(2)
- 学校などで講演会を開いたり、大学と連携したプロジェクトなどを発足したり、若い人を巻き込んだ活動をしてはどうか。
- 引渡し前に不妊去勢手術を行う
- ワクチンやノミダニとりを終わらせておく
- 拾い猫でも貰い猫でも安易に飼育できないようにするのが重要です。愛護センターで1匹譲渡すれば当面殺処分は免れますが、野放図に飼育すれば子孫が増え、また捨て猫の被害となり愛護センター行きが2匹になる可能性がある。
- 自分は動物を今までに飼ったことが無く、どちらか言うと動物を飼うことが不得手がありました。今後も飼わないと思いますが、現在近隣からくる猫の糞等に悩まされており、飼い主さんのより良い、飼い方を期待したいのですが、所有者も分からないことや面と向かって苦情を打ち明けることも困難であります。

問5 飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組について、これまでの設問以外に意見がありますか。

[ご意見 (別添参照)] (回答数=158)

性別	年代	地区	問5
男性	60～69歳	北九州	譲渡希望者を登録制にして、譲渡に関する情報を共有化する。(やっているかもしれませんが)
女性	30～39歳	北九州	知らないことが多すぎると思いました。ペットは今飼っていませんが、いずれ飼いたいとは思ってはいるのでペットショップとかではなくて、動物愛護センターを検討したいと思いました。
女性	30～39歳	北九州	犬猫の譲渡に関して無知すぎて特に意見はありません。譲渡のときの条件はどの程度なのか気になるため後ほど自分で調べてみようと思います。
女性	40～49歳	北九州	飼育すると補助金がでるとか。例えば、介護施設や医療施設などはドッグセラピーなどと謳って触れ合う機会を設けているところもあるし、保護犬猫を可愛がってあげられる環境にはなにかしらプラスになるようなことがないと無償での保護活動には限界があると思います。地域での保護活動にも何かしら支援がないと続けていくことは負担が大きいと思います
女性	50～59歳	北九州	猫や犬に対して餌だけを与える、無責任な行動をしている人は多い。県が積極的に活動している事を広げて行って欲しい。
女性	70歳以上	北九州	犬や猫を譲渡する場合、新しい飼い主が最後まで責任を持って飼うかを確認しないと、最初は可愛いものの感情があったが年齢を重ねていく間に心情が変わる場合があるから。
男性	60～69歳	北九州	山でネコにエサを毎日あげている人たちがいます。飼いたくても飼えない環境なのだろうと思っています。街中や住宅地で、猫の嫌いな人たちの迷惑にならないければ許してもいいのではないかと私は思っています。
男性	60～69歳	北九州	生体販売事業と、殺傷処分となる当該活動との共存が一番の課題であると考えます。 私は、現在まで3代の保護犬を飼育しており、フリーダー放棄や癲癇発作をもって生まれてきて処分されそうになった犬を引き取り飼育しています。生体販売事業を圧迫したい訳ではなく、まず、殺傷処分や保護されている犬猫を第一優先で家族に迎え入れられないか？(このような機会がある事の周知徹底と生体販売前に一度は覗いてみてぐらいのアナウンスで)その結果生体販売で購入されることは日本では認められているので問題ないと思う。生体販売業者でも、保護権斡旋をされているところもありますが、ほんの一握りだし、紹介されている犬猫も極少なので。。。 ペット飼育の先進国であるドイツの事例を研究し、取り入れられる事や気づきから、何か参考に出来るものがあるのではないかと思います。 https://animaroll.jp/animal/animal-column/1081845
女性	30～39歳	北九州	【ペットとして飼育する】という点で、メリットの説明はもちろんだが、動物を飼うということの大変さや、デメリット(例えば、泊りがけで出かけるときにホテル等に預ける必要がある、ペット可の宿泊先を探す、等)も説明する必要があると思う。 かわいい、というだけで飼うのではなく、家族になる、お世話の必要性を説明していかないと、無責任に手放す人もいると思う。 また、野良猫や野良犬に餌やりをすることの弊害も、譲渡の場等で周知していくのが良いと思う。
女性	50～59歳	北九州	民間と公的機関が協力して、捕獲から避妊手術、飼い主を探すところまで人手も費用も国から援助してほしい。
女性	40～49歳	北九州	地域猫の取り組みは知っており、良い取り組みだと感じっていますが、周知知らない方もまだまだ多くいると思います。活動に取り組まれている方が偏見の目で見られないための取り組みも必要かと思えます。市民全員で動物愛護に関心をもてるようにしてほしいです。
男性	40～49歳	北九州	犬はまだしも猫は害獣なので保健所での処分が妥当
女性	30～39歳	北九州	自宅の周りに、おそらく飼い猫ではない猫がいて、たまにベランダに糞をされて困るので、この活動を応援したい。
男性	60～69歳	北九州	犬猫の売る業者が責任をもって売った動物を引き取る仕組みを作ることが必要
男性	50～59歳	北九州	保護活動をしているボランティア団体との連携も必要と考えます。
女性	50～59歳	北九州	飼い主がいらない猫に餌を与えている方は、後片付けや清掃もするよう啓発して欲しい。
男性	40～49歳	北九州	飼い犬猫や野良犬猫に飼い主情報やGPSなどが入ったチップを皮膚内に埋め込み、全ての犬猫を管理する。
男性	60～69歳	北九州	地域猫活動や動物愛護センターによる犬猫の譲渡は、殺処分を減らし、人と動物が共生出来る社会を目指すために、大変重要なことと思います。 譲渡活動に伴い、飼い方や躰け教室等のサポートや譲渡後の相談窓口も大事かと思えます。 地域猫活動を知らない人もいますので、餌やり等を見て、単に野良猫に餌を与えているだけと思うかもしれませんが、このことを周知しないと、トラブルの発生も懸念されます。
女性	20～29歳	北九州	野良犬や野良猫はよくいるが、見かけた時の対応の仕方がわからないので、そういうのも広報していただきたい。また、飼い主がいらない状態を防ぐために、飼い主には講習を受けたり免許のようなものをとらせたり、条件を設けるなど簡単に飼えない仕組みをつくってはどうか。
女性	20～29歳	北九州	犬猫ではないが、「えさをあげないでください」という注意書きがありながらも野生動物にえさをやる人を何度か見たことがある。なので、飼い主のいない猫について、勝手にえさをやらないなど地域でどのように接していくのかを伝えるような活動があると良いと思った。
女性	30～39歳	北九州	実際、猫の糞被害に困っています。 トラブルにならないよう、そのような問題について気軽に相談できる窓口がほしい。電話でなくSNSやメールでできるなど。

性別	年代	地区	問5
女性	40～49歳	北九州	処分される犬猫が多いと聞いたことがあります。情報を公開し譲渡会等広めて欲しい。何も知らないことを痛感しました。
男性	60～69歳	北九州	ペットとして買われていた犬や猫など最後まで大切に世話をする義務があると思います。ペットを飼う際は個体識別番号と飼い主との照合が出来る仕組みを作り最後まで世話をを行う。難しい場合は適正な手順で譲渡出来る工夫を構築する事が重要だと思います。
男性	40～49歳	北九州	動物好きな方にとって放置されている動物をほおっておけないのは分かりますが、安易に餌をあげたりすることで、居着いてしまう。飼い主の高齢化や死亡なども問題だと思います。
女性	40～49歳	北九州	賃貸住居等の理由で飼いたくても飼えない人も多くいると思うので、地域猫活動を利用して、「あそこに行けば動物との触れ合いができる」ような場所を作る環境が欲しい。
女性	60～69歳	北九州	猫を見つけたときにどう対処して良いのかわからないので、問い合わせや預かり先の連絡先や活動団体の案内がもっと、広報して欲しい。
男性	70歳以上	北九州	毎日のウオーク中に数か所でグループがえさを与えており注意するも効果なし。
男性	60～69歳	北九州	地域猫活動なのか、単に餌を与えているだけなのか判別できないので、傍観しているだけになる。
男性	20～29歳	北九州	譲渡の事業について知らなかったため、まずはそのことについての広報が必要だと思う。
女性	40～49歳	北九州	野良犬は減った半面、野良猫は多いように感じます。保護猫活動をされている方も知っていますし、活動資金を募る出店で購入したこともあります。その時に去勢手術費用を県が負担してくれるようになったけどまだまだ足りないという話をされていました。でも、猫の特性上どんどん増えていくことは完全に防ぐことが出来ませんし、県が行う支援にも限界はあると思います。私は犬を飼っていますが、いきなり最初から保護犬を飼うという選択肢はありませんでした。やはり飼い慣れた人でないと動物を飼育することは難しいと思うからです。犬猫の譲渡活動にはもちろん賛成しますが、いろんな考え方の人がいて難しいということはこれからも課題だと捉えています。
男性	60～69歳	北九州	犬猫に費やす医療費が、保険が効かないこともあり高額であることが勝手に手放す要因の一つと思う。例えば、10歳以上になったら医療費を割引する制度ができれば良いと思います。
女性	60～69歳	北九州	野良猫にエサをやらない。やっている人を見かけたら通報して何らかの措置罰金などを設定すると同時に捕獲して譲渡をするのか町に野良猫がいないようにしてほしい。
女性	50～59歳	北九州	飼い主がいらない状況を作る前に責任もって育てることが出来ないのであれば飼うべきではない。なぜそれがわからないのか理解できない。
女性	30～39歳	北九州	テレビ番組で譲渡会など保護ネコ活動をされている芸能人を取り上げられているのを見たことがあります。ですが関東で行われているのだと思うくらいで、古賀市でも活動されているとは知りませんでした。PR活動をSNSなど身近なコンテンツで発信して、広く周知されたら良いなと思いました。
女性	30～39歳	北九州	矛盾するかもしれませんが、簡単に譲渡できると安易に手放す人も増えそうなので、猫を1度は飼ったことがある人に限定した方がいいと思います。
女性	40～49歳	北九州	ホームページだけでなく、ツイッターやインスタグラムなど、活動を周知してもらうためにつくる。インスタグラムで、猫のダンスとかもかわいいかも
男性	60～69歳	北九州	猫による畑でのフンなどの被害に悩まされている。犬のように首輪とかで持ち主をはっきりさせてもらえるようにしてほしい。対策もいやすくなる。
女性	60～69歳	北九州	野生の犬はほとんど見かけませんが、猫は相変わらず多く、私の家の近くでも多いようです。庭に入って糞をしたりして困っている方も多くいます。地域猫の活動も大事ですが、猫害に悩む側から見ると複雑です。
女性	60～69歳	北九州	譲渡しようとする犬や猫の写真を掲載する
男性	70歳以上	福岡	近くのペットショップに行くと、ペットを飼いたい人を多く見受けられます。この方々へのアプローチを考えて、色々な提案を行っていければ良いかと思います。
女性	70歳以上	福岡	地域のお祭りの時に譲渡会があれば、もっとたくさんの人達に興味を持ってもらえると思います。
女性	60～69歳	福岡	もっともっとメディアを通して活動を宣伝したいと思っています。
女性	30～39歳	福岡	とにかく飼ったら最後まで面倒みる、これに尽きる。そして勝手な都合で捨てない。日頃からSNSでボランティアさんの活動は見ているが、それも限界があると思うので、冒頭に言ったことを徹底するしかないと思う。
男性	70歳以上	福岡	周南市で野犬が問題になっている。私の子供の頃、公的機関で野犬狩りをしていましたが、現在、全く見かけない。集団化した犬は危険。野犬狩りも必要ではないか。
男性	20～29歳	福岡	飼い主のいない、猫、犬を増やさない事が大事になってくるのかなと思います。飼う際のさまざまな条件や、無断で捨てたりした際の罰則などが必要なのかと。
女性	40～49歳	福岡	ペットショップや動物病院で販売する動物と一緒にかせてもらって見てもらう機会を増やす。YouTubeで動画をながして多くの人に知ってもらう。市役所や保健所スーパーに、一般の方が気軽に目に見えるポスターを掲示する。

性別	年代	地区	問5
男性	60～69歳	福岡	犬猫を飼う(売買、譲渡など)場合、事前に、その犬猫が生涯を全うするまで責任を持つということを罰則を設けて求める、ということを法令・条例等で規制することも重要と思います
女性	60～69歳	福岡	猫ボランティア団体は知っていたが自費で去勢などされていた。支援事業があるのは知らず、動物はあまり好きではないが、確かに生活環境被害につながる恐れもあり、この支援事業を推進してほしい。
男性	20～29歳	福岡	私は、実際に古賀の愛護センターで犬猫譲渡のボランティアに登録してます。 譲渡会に参加して感じたのは、 譲渡先を選定する条件が厳しいことです。 高齢者は引受人がいないと譲渡対象から外れます。 高齢者も譲渡対象にできるよう、体調が悪くなったり体が悪くなったらセンターに戻す制度があれば譲渡がより活発に行われ、少しの期間でも人間の愛情に触れられる犬猫が増えると思いました。
女性	60～69歳	福岡	犬猫は好きではないので、考えた事がない。
男性	60～69歳	福岡	県が地域猫活動に技術的な助言や手術費用の補助を行われていることを知り、とても良い取り組みと思いました。私は福岡市南区在住ですが、20から30年前は公園や道路などで野良犬や猫を見かけましたが、現在はほとんどありません。県の支援事業の成果でしょうか。 (現在はカラスの方が生活環境被害が多いと感じます)
女性	18～19歳	福岡	犬猫を保護してくれる人に、最低限飼育に必要なもの(初回分のエサ、トイレ)を支給すると、引き取り後に世話を放棄することを防げると思いました。
女性	50～59歳	福岡	動物愛護センターの事は知っています。保護犬の譲渡会に参加し、講習会を受けたこともあります。我が家の娘達が小さくてかわいい犬を気に入りました。センターの方が雑種だからどのくらい大きくなるかわからない、と言われました。我が家は初めてのペットを迎える時でしたので、センターの方の助言をありがたく思って、ペットショップでお迎えする事にしました。昨年亡くなりましたが17年間一緒に過ごすことが出来ました。 地域猫は疑問店が多くて外飼いだと野良猫と変わらないのでは？ また、飼猫も室内で飼って欲しいです。花壇に糞をしていかれて腹がたちます！
男性	50～59歳	福岡	飼い主のいない動物は、速やかに保護して欲しい。 譲渡については、ペットショップの在り方、ペットの登録制度、ペット飼育の免許制等から考えると良いと思う。
女性	40～49歳	福岡	保護犬や保護猫は、一般的に怖くて凶暴というイメージ、病気を持っているイメージが強く、良いイメージがない。 以前は私もそのように考えていたが調べたり、保護犬に興味をもって施設に行ったら考えが変わった。もっと保護している団体のことを知ってほしいと思った。私は保護犬を引き取った。実際、飼育してみて他の方もペットショップで購入する前に保護犬、保護猫を一度見に行ってみてほしいと思った。アメリカでは保護犬、保護猫を飼うのは当たり前。ペットショップと違ってトライアルも出来るし、性格も教えてもらえる。命を助けることで他の不幸な犬を助けることが出来る。もっと知ってほしい！！
男性	60～69歳	福岡	飼い主のいない猫や犬が発生しないようにする対策が大切だと思います。
男性	20～29歳	福岡	最近ペット関連で悪質な業者のニュースをよく見るので、行政が手動で正しく管理してくれることは安心できるので良いし嬉しいです。 譲渡会なども、売れ残ったペットを保護犬や保護猫として譲渡している業者もあると聞くので、保護の背景がわかる情報があればより安心できるかと思いました。
女性	30～39歳	福岡	飼い主のマナーというのも大切なことだと思います。きちんと管理、犬猫を家族同然に暮らしている方々ももちろん多くいると思いますが、 犬猫の管理徹底のためには、ICチップなども必要なかなと思ったり。でも、つけなければ効果は薄いのかもかもしれませんが。命を扱う、関わることですので、より慎重に議論してもらいたいです。
女性	30～39歳	福岡	私自身も動物愛好家で、迷い猫を赤ちゃんの時から今のおいちゃんに猫になるまで、とても可愛がっています。 大事な家族の一員です。 1匹飼うのにも、お金がたくさんかかり、大変なことは知っていますが、 行政にて、保護活動を行うことをもっともっと推進して頂けると嬉しいです。 野良猫のトイレや餌や水は、どなたが管理してくれているのでしょうか・・・ 公民館など地域でそういった場の提供や人集めなど、行ってもらえたらと思います。
女性	30～39歳	福岡	高額な寄付金を要求するような悪質な保護団体が居なくなってほしい。いくら、とハッキリ記載された寄付金自体おかしな制度だと思うので・・・ 診察にかかった費用を領収書ありきで譲渡先へお願いするのはマトモなのですが。自治体の活動がもっと広まることを願ってます。
男性	30～39歳	福岡	私は〇〇区〇〇在住の〇〇歳独身男性ですが、これまで犬や猫を飼った経験がなく、今回の内容については意識・知識ともに乏しいです。常識的に地域猫活動や譲渡事業というものが存在することを知っている程度でした。しかし、西公園や福浜海岸を散歩すると多くの猫を見かけます。かわいいなど癒されると同時に、この猫たちには飼い主はいないのだろうか、いったい何処で生まれて、或いは何処からやってきて、どういう形で一生を終えるのだろうかと考えさせられます。今回のアンケートを機に一步踏み込んで犬猫について調べてみます。また、私のように関心があるようでない方々もたくさんいらっしゃると思うので、そのような方々の目に触れるような、或いは興味を持ってもらえるような広報活動に期待します。

性別	年代	地区	問5
女性	30～39歳	福岡	ペット飼育OKの物件に引っ越したので、いずれは犬や猫を飼ってみたいと思っています。知識をつけるところからと思い、少しずつ学んでいるところで、先日譲渡会に行ってきました。とてもかわいい犬がたくさんいて飼いたい気持ちが大きくなりましたが、吠え癖がある子だと困るなあとか、行儀よく留守番をさせることはできるのだろうか、とか人間本意の考えが湧いてきて、飼うのは向いていないかも、と感じたところです。身の回りには、飼う気はなかったけどペットショップでかわいい子を見つけたから飼い始めた、というパターンが多く、そういう軽い気持ちで飼い始めるから譲渡しなければならなくなるのではないかと思います。まずは、ペット飼育についてもっと厳しくしっかりと教育を受けさせる必要があるのではないのでしょうか。モラルに頼っている、人間のせいで不幸な動物が増えるだけだと思います。それから、地域ネコについてですが、住んでいる地域にそれらしきネコがいます。地域ネコなのかどうか定かではないのですが、毛がボサボサで、地域ネコというより野良猫という感じがします。地域で見守るのであれば、トリミングも少ししてあげてはいかがでしょうか？また、地域ネコに指定するのは良いですが、どれがその猫なのか近所に分かるようにしていただくと助かります。
女性	40～49歳	福岡	図書館や公民館、区役所で、譲渡のお知らせのチラシやポスターなどあまり見たことがないので、ホームページを見ない人向けの広報を増やしたほうが良いと思う。
男性	20～29歳	福岡	しつけの仕方も併せて学べる機会を作って欲しい。 マナーの悪い子、マナーを気にしない飼い主がイメージダウンしていると思う。
女性	50～59歳	福岡	動物を飼うことが全てビジネスに繋がっています。ペットのブランド化をやめない限り捨てられる動物は減らないと思います。 ペットの特性を知り、自分の持ち物にしない。 どんな罰則を作っても、求められるのは個人のモラルです。 勉強のし直しが必要です。
男性	50～59歳	福岡	捨ててはいけなことはわかっているが、ではどうすればよいかの議論がない、もしくは私は知らない。そういうときはどうすればよいかどこか相談できる場所はあるのか、あるとすれば周知してほしい。
男性	40～49歳	福岡	地域猫活動は素晴らしい活動であり、今後もぜひ続けていくべきだと思う。 それとは別に飼育に関してのモラル、マナーアップ活動は積極的に行って欲しい。 猫が可愛いというだけの理由でエサをあげる人は後を絶たない。 そういう人に減らす活動も行って欲しい。
女性	60～69歳	福岡	時々家の庭を猫が通っているのを見かけます。もし地域猫であるのであればそれを知っていた方がよいと思います。回覧板などでどのような地域猫がどのくらいいるのか周知した方がよいと思います。
男性	60～69歳	福岡	要は動物・命を愛しむ心の育成、周囲に迷惑をかけない飼養者への普及啓発だと思います。 基本的には市町村の役割であって県の業務としては違和感を感じます。もう少し県政のスリム化が必要では？
男性	70歳以上	福岡	県のホームページで、活動内容、譲渡関連の情報を流す。県下の活動している団体の紹介情報を掲載する。
女性	50～59歳	福岡	小学校や中学校などで、この県の取り組みをもっと学ぶことができれば良いと思う。 年配の人でも安心して生き物と暮らしていけるよう、お世話できなくなっても安心して次の家族へ託したりできるような窓口があるとうれしい。 ペットのお墓も県や市で作ってほしい。
女性	50～59歳	福岡	以前、私の車に子猫が居ついて、捕獲し家で保護したことがあります。 でも、家族にアレルギーがいて飼えませんでした。 もらい手を探しましたが見つからず、近くの譲渡会に相談に行きました。 その時、活動内容をきいて大変ご苦労されているのを感じました。 今の活動内容の詳細は分かりませんが、ネットで譲渡会に参加したり相談できると助かりますね。
女性	40～49歳	福岡	子犬を我が家に迎えたいと思い、ネット掲示板的なSNSを見ていた時期がありました。 「譲ります」と表示はあるが結果金銭を伴い譲渡のようで、しかもハッキリ金額が明示されていないが20万前後が相場な雰囲気でした。であれば普通にペットショップで購入した方が、素人どうしのやり取りより安心だな。と思った経験があります。 県が間に入ってくれる譲渡事業なら安心だし、値段の心配もしなくて良さそう。 あの時に知っていれば利用していたかも知れません。
男性	30～39歳	福岡	最近ではインスタやフェイスブックの広告を上手に使っている企業が多いと思います。また、それをクリックしてしまうことしばしばあります。ペットはペットショップで買うもの、と思っている人はまだまだたくさんいると思いますので、そういった方々に刺さるようなPRをしていただきたいです。
女性	60～69歳	福岡	回覧板でそのような活動を知り、庭に被害を受けている現状を打破すべく自治体に問い合わせましたが、条件の敷居が高すぎて依頼や実際の活動に対して二の足を踏んでしまった。飼い猫と野良猫を識別することが難しいのかもしれないが、野良猫の被害を慢性的に受けている我が家としては、なんとかがっかりしてしまいました。
女性	70歳以上	福岡	飼い主は責任を持つよう、登録制にはいかがでしょうか。
その他	20～29歳	福岡	猫アレルギーを持っているので、猫の飼い主が猫の毛がついた状態で外出しないように啓発してほしい。
女性	40～49歳	福岡	アニフェアという保護団体をみたが金額が不明瞭で飼えなかった。 譲渡金額を明確にしていたら検討しやすい。
男性	60～69歳	福岡	地域猫に関する活動は、それなりに知っていました。動物愛護の観点で見ると、確かにベストの活動ではないのですが、この活動がなければ、動物愛護が進みません。いろいろと課題がありますが、良い方向に改善しているかどうか、を判断指標にするべきだと感じました。

性別	年代	地区	問5
女性	30～39歳	福岡	目先にいる猫をどうにかしようという考えも必要なことだと思うけど、もっと飼う人が責任もった行動をしてほしいです。 そのためには、ペットショップで安易に売らないや増やしたくない場合は、きちんと去勢手術を受けさせるなど、条例を作ってはどうか？
女性	50～59歳	福岡	ボランティアでされている団体がありますが、その方々に補助金を出してほしい。
男性	60～69歳	福岡	私の住んでる地域は地域猫活動をしているみたいです。 誰がしているかは知りません。住んでるまわり、そして、家の庭まわりによく野良猫が来てます。全ての野良猫の耳に切れていて地域猫の印、みたいです。 家にも家猫を一匹飼ってますが地域猫の困る事は、庭にウンチをすることですね。 家も飼っているのに、庭のウンチも我慢できますが、猫を飼ってない人よっては、我慢出来ない見たいですね。 将来的には買い主のいない猫がいなくなる事を望みます。
男性	40～49歳	福岡	譲渡事業の更なる周知と飼い主の犬猫の管理の徹底が必要ではないかと考えます。
女性	50～59歳	福岡	高齢者は飼える期間が短いから、子供の情操教育も兼ねて、若い世代が積極的に参加してほしい。
男性	50～59歳	福岡	飼い主の倫理観が低くなって中、行政がイニシアティブを取り飼い猫、飼い犬を途中で放棄した場合の罰則を強化して頂きたいです。または登録制度を普及して欲しいです。
男性	70歳以上	福岡	愛猫家の人達は、放し飼いの猫や野良猫が他人に対しどれだけ迷惑を及ぼしているか真に理解しておられないと思います。犬による公園や道路の糞尿の被害も確かに迷惑ですが、近づかなければ被害を避けられます。しかし猫は猫の方から近づいてきて屋敷内に侵入し糞尿の被害を与えます。家庭菜園を行う者としては、殺してやりたい思いが生じます。飼い猫の場合は、心中飼い主を殴ってやりたいという思いが生じます。地域猫運動も基本的には反対です。もし我々の地域で活動をされる方がおられる場合は、糞尿の後始末を求めたいと考えています。結論を申し上げますと、私は猫につきましても、犬と同様の対応、つまり放し飼いを禁止し、野良猫を捕獲すべきと考えます。
男性	40～49歳	福岡	不慮の事故等により飼い主のいない猫が生じてしまうことは、やむを得ない事情として行政が対応せざるを得ないと思います。そもそも、飼い主のいない猫を発生させないように「飼い主」に責任ある飼育を啓発することが必要かと思えます。無責任な飼育放棄が如何に「猫」の一生を左右するのか、猫の立場になって考えるような啓発活動を期待します。
男性	30～39歳	福岡	マンションに住みついている猫を、有料でいいから捕獲して去勢手術して戻してくれるサービスがあるとよい。
男性	60～69歳	福岡	犬や猫にはチップを植え込み飼い主の所在をハッキリさせれば良い。 飼い主の飼育の仕方に問題がある場合には罰則を設ければ良い。
男性	50～59歳	福岡	日本アニマルケースワーカー(NPO法人)がイオンと県内各地で譲渡会をしているそうですので、そちらとのコラボも考頂ければと思います。
女性	50～59歳	福岡	福岡は、いち早くワンヘルス事業に取り組んでおり、県の理解や支援が得られやすいと思います。私も、保護猫譲渡会イベントのボランティアに参加したことがありますが、場所の提供や告知などで自治体が協力していただけると、より活発になるかと思えます。
女性	40～49歳	福岡	近所のスーパーや公園で野良猫にエサを与えている人を見かける。ずっと猫がその場にいついてしまっているのが糞の問題もあり困る。住んでいる自宅の庭にも野良猫が糞をするのでとても困っている。野良猫の情報を収集して役所が捕獲して譲渡会で飼い主を探してほしい。 隣の飼い猫が外にも自由に行き来できる環境で生活していたので、その猫はうちの庭で糞をしていた。飼い主にはマナーをもって飼うように周知して欲しい。
女性	30～39歳	福岡	街頭でたまに見かける機会がある。 先日もマークイズで見かけ子供がなんのイベントなのかと興味を持っていたので説明した。 どのくらいの頻度で行われているのか把握していないが、学校での取り組みや地域の公民館レベルでの身近さで譲渡会、もしくは保護猫、保護犬の存在の学びが行われれば子供への認識も高まり、ペットを飼うことの責任や命の大切さをそこでまた学べるのではないかなと思う。また、それによって保護された犬や猫の新たな家族も見つかるのではないかな。
女性	40～49歳	福岡	譲渡する際も責任を持って育てられるか厳しい基準を設けてほしい。
男性	60～69歳	福岡	近所にも外猫を可愛がっている方がいて、どう接したらよいのか判らないのが実情です。
女性	60～69歳	福岡	福岡県動物愛護センターの件は分からないが譲り受けたいけど条件が厳し過ぎるという声を聞きます。独身は駄目、高齢者は駄目とか。よく話し合っ合意すれば良いように思います。
女性	30～39歳	福岡	譲渡以外に同窓会や教室などされているのは知りませんでした。 犬猫の譲渡にあたり、性格を記載する際に人間が怖くて一度噛みついてしまった子もいるかもしれませんがそういう犬猫に噛みつき、危険などという表示をせずに犬の気持ちになって性格を表示したり、犬の気持ちになってお世話できる方が譲渡の施設にいただけるととても嬉しいです。犬の表情も変わってきたら受け入れ側も受け入れやすいと思います。殺処分0目指したいです。言葉が言えない犬猫に代わって意見させていただく機会があつて嬉しく思います。
女性	60～69歳	福岡	地域に多頭飼いをしている方が数名いる。 餌もあげていて、他の地域の皆さんとこの事について専門の機関の人も交えて話さないといけない
女性	40～49歳	福岡	年2回等大規模な譲渡会を実施し、テレビCMで周知。もしくは譲渡を実施している場所を地元番組で取り上げてもらう(例えば福岡くんで特集してもらう)。などの周知活動がもっと必要だと思う。知らなくてペットショップに行ったという知り合いもいるので、もっと知ってもらう活動をしてほしい。
男性	40～49歳	福岡	人が多く集まるイベント会場に出向するなど関心を持ってもらう。
男性	50～59歳	福岡	飼育者や関心者のモラルに頼るには限界がある。 個体管理が有効かと思う。 ペット自体の購入は意外に高額なので、販売店での特設コーナーで値ごろに販売してはどうだろうか？
男性	40～49歳	福岡	もっと猫被害をなくせないものか。

性別	年代	地区	問5
女性	50～59歳	福岡	気持ちの面では、命を守り、優しく育てていける人がいるのが一番だが、なかなか理想通りにいかないのが現実と思う。 私自身は、猫はかわいいと思うけど、飼うとなると、世話の大変さや自分に環境の変化が訪れた時に手放す先が見つからない不安があり、困るなら最初からいらなと思ってしまう。また、フリマアプリで物を買うときは絶対不利なので飼わない。 自治体の事業となると、当然予算や人材の視点が出てくる。今、一般市民が生活するのに精一杯なのに、正直、猫のことまで構ってられない、猫に予算をかけるくらいなら・・・という発想も出てくるだろう。
男性	20～29歳	福岡	譲渡会が行われていることは知っていたが、行政が行っているとは知らなかった。ペットショップで犬猫を購入する前に、まずは愛護センターにいる犬猫について知ってもらおうとより知名度は広がると思う。
女性	50～59歳	福岡	飼い主のいない動物がでるのは自然では仕方ないが、飼い主が勝手に飼育放棄をするのをやめさせなければならない。
男性	30～39歳	福岡	譲渡する事は良いが、そもそも正当な理由以外で手放す事への罰則が必要。命を預かる重みをわかっていない人がいるからこうなる。
男性	30～39歳	福岡	命がかかわるため非常に難しい問題だとは思いますが、飼い主はマナーを守り、不要な繁殖を防ぐことが大切であると考えます。
女性	50～59歳	福岡	広報誌に募集等掲載する。 又、活動を載せて欲しい。
男性	60～69歳	福岡	◇よくホームセンターやペットショップで犬猫の販売を行っているが、安易な飼育状態が問題になるケースが多く(ブリーダーの多頭飼育も含め)ありますので、条例などでの規制強化や販売制限、飼育指導を徹底して欲しいと思います。 ◇近所でも所有者のいない野良犬猫に餌を与える人がおり、注意してもやめないので町内でも問題になっています。
男性	60～69歳	福岡	犬の管理は良くなってきていますが、猫が逃げ出すことが問題だと思えます
男性	50～59歳	福岡	当、犬猫に関する施策について、勉強不足のため具体的な意見をお伝えすることができません。申し訳ございません。犬や猫が住み着きやすい空き家やゴミ屋敷化した家などにも目を向ける必要があると感じます。
男性	50～59歳	福岡	家の周りにたくさんいて、フンなどの公害に悩んでいます。近くの方も同じです。可哀想であるが、処分やむなしだと思います。近所の方も同じ意見の方がほとんどです。
男性	50～59歳	福岡	ペットショップに厳しい規制を掛ける(譲渡者責任)を設ける。 また、小学校から大学までペットに関する授業も行う
女性	70歳以上	福岡	栄養状態がよく増えすぎていることも解決を遠ざけていると思っている。自然でのキャパシティを探って、近づけていくスタンスが念頭にあるべきかと。
男性	50～59歳	福岡	私の地域も猫が増えてきています。糞尿被害に悩まされています。地域猫活動が正常に行われている地域はいいのかもしれませんが、私の地域はそうではないようです。地域に任せているとこの様な状況になりますので、地域を跨って活動する舞台が別途必要な気がします。それぞれの地域の現状を冷静に判断して必要があれば、その地域の地域猫活動を軌道に乗るまで支援していくという事が必要だと思います。
女性	60～69歳	福岡	マイクロチップの活用は、犬や猫を飼育するすべての方に、ぜひ使用されるよう、少し補助金出しても広く使用してほしいです。
女性	30～39歳	福岡	ペットショップを売買の場では無く、譲渡の場として運営できれば良いのでは無いかなと思う。 責任感が無くてもお金さえ払えば簡単にペットを飼うことが出来てしまう環境はあまり良くないと思う。
男性	60～69歳	福岡	市役所などの施設の掲示板の活用と、問い合わせ窓口の設置。 飼育施設の映像を放映し飼い主への啓蒙活動をする。
女性	70歳以上	福岡	もっと広報活動を促進し周知できるようにした方が良い。 里親が見つかるまでのあつまりボランティアも促進したらよいのでは??
女性	60～69歳	福岡	譲渡に取り組みことも重要ですが飼い主のいない猫を増やさないことが重要だと思います。猫を保護して動物病院につれて行き申請すれば飼い猫より安い料金で避妊去勢手術を受けさせることができますが、その料金は保護の方が払うことになりまして、子猫で数匹いたり、病気やノミ、マダニなどがあればその料金もかかります。それでは保護を躊躇してしまうこともあると思います。1年間だけでも?数年あればと思えますが)飼い主のいない猫は何匹でも無料で手術する、手術後に地域猫として見守ることができなければ県に引き取りをお願いできるとなれば自然と飼い主のいない猫は減っていく譲渡会も必要ではなくなくとも思えます。そして、手術はかわいそうや安い餌をやって皮膚病や病気を招いているような知識が無い「餌やりさん」への啓蒙も必要だと思います。 譲渡会を日曜ごとに開き、保護活動もし、依頼があれば遠方へも出向き、自分で預かれなければならない方にお願ひし、病院へつれて行き、寝ていらっしやるのだろうかと思うほど一生懸命に活動して下さっている方がいらっしやいます。その方たちへの金銭的な支援をお願いしたいです。現場は本当に過酷で体力も精神的にもとても疲れていらっしやると思います。
女性	20～29歳	福岡	特にありません。飼い猫が野良猫かわかるようにしてほしいとは思いますが。
男性	70歳以上	筑豊	拾い猫でも貰い猫でも安易に飼育できないようにするのが重要です。 愛護センターで1匹譲渡すれば当面殺処分は免れますが、野放図に飼育すれば子孫が増え、また捨て猫の被害となり愛護センター行きが2匹になる可能性がある。
男性	40～49歳	筑豊	学校で飼育するのはどうか。
女性	20～29歳	筑豊	犬猫を譲り受けるための条件がある理由やその条件を規定した理由がわかると良い。
女性	50～59歳	筑豊	仕事柄、野良猫や飼い主が亡くなった後の猫の行先がなく困ることが多いです。譲渡会や地域猫活動のことは調べてみたことがありますが、いろいろな条件もあり、利用ができないことが多いです。もっと国の補助金などが地域に譲渡活動や不妊手術の費用の助成などがあつたらいいと思います

性別	年代	地区	問5
女性	30～39歳	筑豊	譲渡を行い殺処分を減らすことに繋がることは良いことだと思う。 ただ、情報が少ないとこれまで野良の状態であった猫を安心して飼うことが出来るのか不安になる。
女性	60～69歳	筑豊	ボランティアの方々からお話を少人数でうかがう会があります。 よいことだと思います。
男性	50～59歳	筑豊	福岡県動物愛護センターの取り組みは高く評価するが、一方で飼い主の責任を条例等でもっと厳しくしてほしい。犬や猫を捨てるような飼い主を減らす抑止力となるような制度の施行。また、特に猫は放し飼いの方もおり、庭を荒らされたりと迷惑しています。室内限定で飼う、もしくは首輪に飼い主を記載した名札を付けて、外に出す等。
男性	30～39歳	筑豊	無責任な飼い方をする人が多いと思います。野良猫をうまくつけて、猫カフェなどを展開したら良いですね、自治体で。そして、こうした馴らされた猫を老人施設などに貸し出したら良いでしょう
女性	60～69歳	筑豊	自宅の近くに廃工場の空き地があります。野良猫が何匹か住み着いているようです。毎日早朝に自転車でやってきて、残飯をあげている高齢女性があります。お気持ちはわかるのですが、自宅で飼えないのなら、やめてほしいと思っています。夏は猫が食べ残した残飯が腐り、異臭がしています。我が家の庭にもこれらの猫が侵入してきて、排泄をして困っています。動物を可愛がるということをはき違えていると感じてなりません。 「地域猫」という言葉も耳にしますが、私は猫が苦手です。猫アレルギーの方もいらっしゃると思います。地域猫はそういった家に侵入しないでしょうか？一部の猫好きの方の意見が通ってしまい、そういった方々が我慢する状況はおかしいと思います。 また、愛護センターが県内に一か所は少ないと感じます。せめてエリアごとに設置し、避妊や譲渡を行って、責任の持てる新しい飼い主を見つけてあげられればよいかなと思います。
女性	50～59歳	筑豊	飼い主の教育はもちろんのこと、飼い主の選定も慎重にすべきだと思います。その点はきちんとされていると思いますが、貰ってくれる人にむやみに譲渡するのは危険すぎるから。飼育放棄や虐待に発達することを懸念します。
女性	18～19歳	筑豊	上の設問で、「マナーを守ってお世話する」とありますが「マナーを守って世話をする」で良いと思いますよ。
男性	70歳以上	筑豊	散歩等で糞を放置したまま帰る、アスファルト道路に糞がこびりついて臭い。隣組でその清掃に取り組んだ例がある。
女性	40～49歳	筑豊	野良猫や野良犬が多い地域では、必ず餌を与えている方がいらっしゃるの、まずはその方に責任をもって飼ってもらうようはたらきかけてみた方が良いのかなと思います。 賃貸住宅でどうしても変えない等事情がある方も多いため、その場合その方が中心となってその地域で飼うことができる家庭や近隣の企業・自治体等を探していただき、ご自身の都合に合わせて会いに行ける環境を作ってほしいです。 第三者が中心になって取り組んでしまうと、その方が動物と触れ合う楽しみ等をただ奪うことになってしまいますし、野良猫・犬を見つけてはまた気軽に餌をやっしまい、空き家等に野良猫が住みついてしまう・繁殖する・糞害等近隣住民に迷惑をかけてしまったり事故にあってしまう等々、悪循環の始まりになってしまうのではないかと思います。
女性	60～69歳	筑豊	県のメディアでのお知らせを朝昼晩と回数を増やして様々な世代の方々に目に入る時間に放送して欲しいです。 私は過去の犬猫の8割は保護動物で必ず動物病院に連れて行き検査やワクチン、去勢や避妊手術をさせていました。 ここ数年、コロナ禍でペットを飼われる方がかなり増えましたが、ショップ等の売側の命に対しての説明が足りないのではないかと感じました。
男性	60～69歳	筑豊	殺処分を極力減らし、共存する社会の構築。そのため、悪質なブリーダー、ペットショップの取締り
男性	40～49歳	筑豊	動物に興味が無く、ペットを飼う生活を考えたことがない。取り組みについては、命がつかざるなら、いいことだと思う。しかし、覚悟がなくて家から逃がすなどしてしまうなら、最初から受け取らない方がよいと思う。
女性	20～29歳	筑豊	引き受けたいが、子なし夫婦や独身は条件が厳しいと聞いた。また、賃貸だと中々引き取りたくても引き取れない…
男性	60～69歳	筑後	地域環境の維持が第一と考えます。生き物の生命を大切にすることも大事なことです。まずは自らの命を守ることが一番だと考えます。
女性	50～59歳	筑後	県主催の譲渡イベントが減った気がします。
男性	40～49歳	筑後	飼い主のいない犬猫を県内各地に出張し、譲渡会を実施するのも良い方法だと思いますが、例えば、ペットショップ等で譲渡会をする。もしくは、比較的、人の集まりやすい場所で行ったりする。また、犬猫だけでなく、皆さんの負担軽減にもなるようにZoom等を使った譲渡会を試したりとか良いのではと思いました。
男性	20～29歳	筑後	年々飼い主の高齢化や多頭買いからの飼育崩壊のニュースが後を絶たないと思っている。ですから現在動物にマイクロチップを入れて飼い主の管理を行っていると思うが今後は規制を作らずに緩和し、管理しなくていいのではないかなと思う。管理するにも費用がかかるので、人が飼える健康体は生かし、比健康体はどんどん殺処分が、人の作った責任だと思う。
男性	40～49歳	筑後	まず、現在の猫等の生活環境被害など県内の状況を多くの人に知ってもらって、ペットショップや動物病院等などと協力して、もっと取り組んで欲しい。
女性	60～69歳	筑後	道の駅や商業施設で犬猫の譲渡を行っているボランティアさんがいるので、そのような方々への支援をお願いしたい。フードや資金が足りないとのことで、少しでも持って行ったことがあるが、たくさんの犬猫をお世話されており、大変そうだった。

性別	年代	地区	問5
女性	60～69歳	筑後	犬猫の譲渡会で犬の譲渡の申込みをいくつかの団体に申し込みましたが、半年以上経っても何らかの連絡もないままなので、個人情報の聞き取りだけはされるので、不安感を感じました。
女性	30～39歳	筑後	犬や猫の飼い主になる側にも、飼う意思をはっきり持たせるような取り組みが必要。安易に譲渡しないような契約などが必要。
女性	40～49歳	筑後	地域猫や保護猫の活動を知り、昨年、自分も保護猫の活動団体より子猫を譲渡して頂きました。分からないことばかりで不安な部分もあったので、県や市のホームページやSNSでも情報を得られると、保護猫を迎えたいと思っている方も安心できると思います。
女性	60～69歳	筑後	知人(久留米市と小郡市)は、捨て猫等お世話をしているが、避妊手術、餌代、病院代などでもお金がかかると言っている。ネット上で飼い主を探したりしていますが、なかなか難しい様子だ。もっと補助金を増やしたり、事業の周知徹底をすべき。 私の近所でも、猫が勝手に庭に入っておしっこして臭いとか自治会に被害を訴える人もいる。犬はちゃんと鎖につながれているが、猫はそうではない。飼い猫なのか野良猫なのかわからないのが困る。
女性	18～19歳	筑後	飼い主のいない犬や猫が譲渡された先で虐待に遭うという被害もあるので、できるだけきちんとした飼い主さんに買ってもらえるように規制は厳しくする必要があります。殺処分を減らすためにも、できるだけ、飼い主のいない犬や猫は譲渡されるべきだと思います。県内各地を出張したり、インターネット(インスタグラムやX)を利用して、多くの人に見てもらえるようにすること、活動を知ってもらうことがまずは1番大事なのだと思います。
女性	50～59歳	筑後	ホームページやSNS以外の、例えば市や県の広報誌にも内容を掲載して欲しい。何故なら、発信してもらえないと情報を受け取る側がキャッチ出来ないからです。まだ、紙媒体が必要な環境の人は多くおります。
女性	30～39歳	筑後	以前、道の駅で実施されていた犬猫譲渡会を見に行ったことがあります。餌が足りないとのことでしたので、少しだけ寄付させていただきました。ボランティアでされているとのこと、大変そうでしたので、このような活動をされているボランティアさんへの支援等あったらいいなと思います。
男性	60～69歳	筑後	飼い主がいないねこ、いぬはとても困っている人がたくさんいます。何らかの対策は必要です。
男性	70歳以上	筑後	みやま市で行われていた地域猫への支援活動を、再開してほしい。
女性	40～49歳	筑後	これからも積極的に取り組んでボランティアなども 学校などと連携して、広報活動にも大変ですが取り組んでいただきたいです。
女性	40～49歳	筑後	譲渡され後、ちゃんとチェックされているのが心配です。
男性	50～59歳	筑後	そもそも飼い主のいない犬猫を増やさない取組が大事 犬猫の売買には個体への登録制や買う側の身分証明や台帳管理 売る側も同等の管理が必要ではないか 自分は詳細を知らないで、既に取り組みとしてあるのかもしれないが、 近所にも野良猫か飼い猫か分からないが、敷地内に侵入しては 糞尿や吐しゃ物の破棄があり苦労している
その他	30～39歳	筑後	人が集まるイオンやゆめタウンなどでイベントを行う。ファミリー層が集まるので
男性	40～49歳	筑後	野良猫が可哀想だからという理由で餌付けしても責任を持って飼うことはせず、ただ単に餌だけあげる無責任は行為が過剰繁殖を生み出し、結果的に人間にも猫にも不幸な事態を招いてしまうという事実をもっと啓発していくべきだと思う。 犬猫の譲渡についてももっと広報を強化して誰でも利用できるような環境づくりが大切だと思う。

<セルフメディケーションについて>

【調査の目的】

令和5年1月1日現在の住民基本台帳等に基づく本県の65歳以上の高齢者は、1,424,026人に達し、総人口の27.9%を占めています。団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）以降は、医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

急速な高齢化や社会構造の多様化・複雑化が進む中で、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」(※)を通じた疾病の予防、早期発見、治療が重要となってきます。

セルフメディケーションを推進するため、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

このたびは、貴重な御意見ありがとうございます。

セルフメディケーション推進の具体的事業等を総合的に検討するための基礎資料とさせていただきます。

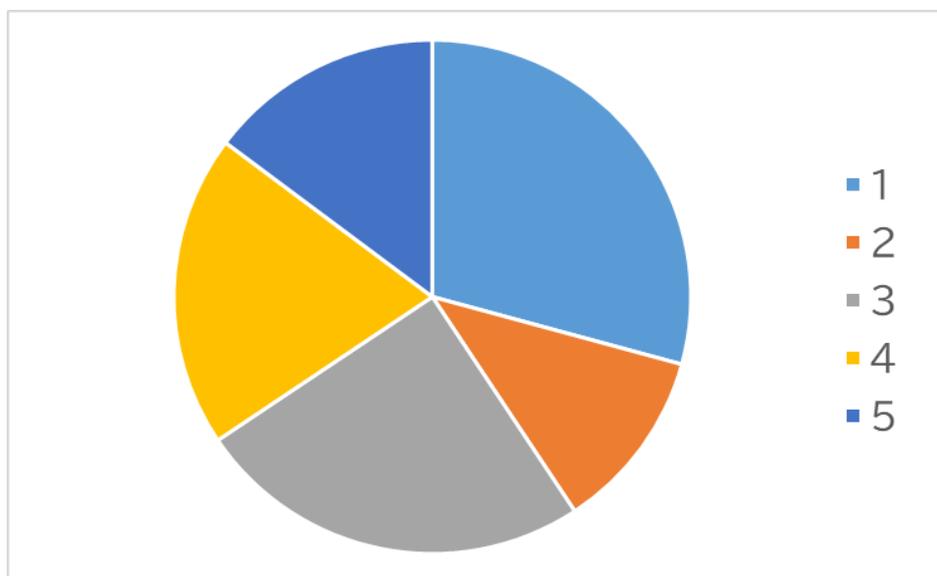
(保健医療介護部薬務課)

※ セルフメディケーションとは

世界保健機関（WHO）は「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義しています。

日頃から健康を意識し、軽度な身体の不調には市販薬を使用して健康の維持や疾病の予防・改善を心懸け、セルフメディケーションを実践することで、健康寿命の延伸につながります。

< 1 > あなたは、「セルフメディケーション」について知っていますか。また、「セルフメディケーション」を実践していますか。



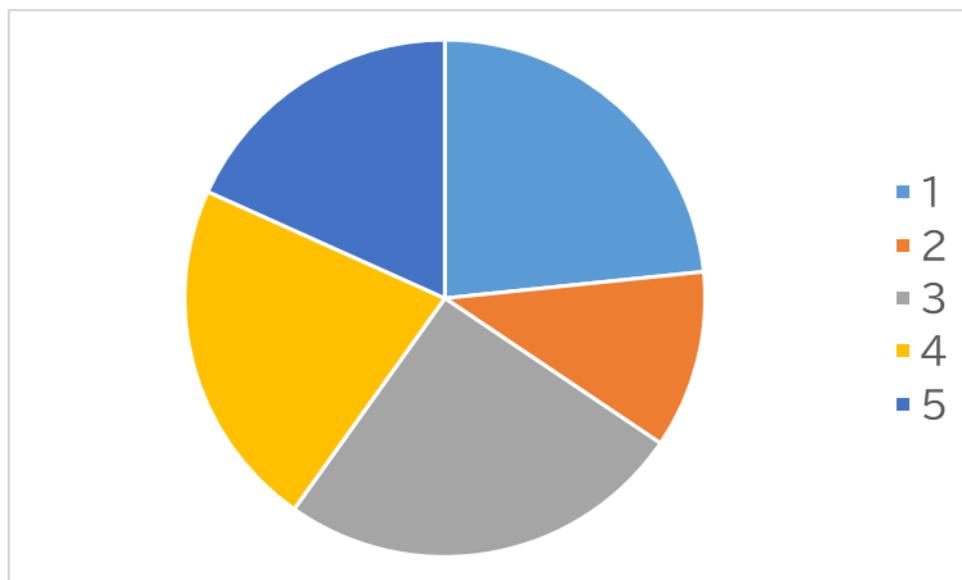
(n=366 選択肢は1つのみ)

1 知っており、実践している	29.2%	(107名)
2 知っているが、実践はしていない	11.5%	(42名)
3 言葉は知っているが、内容はよく知らない	24.9%	(91名)
4 言葉は知らなかったが、内容は実践している	19.7%	(72名)
5 知らない	14.8%	(54名)

無回答 0.0% (0名)

<1：参考>令和3年度 県政モニターアンケート調査結果

あなたは、「セルフメディケーション」について知っていますか。また、「セルフメディケーション」を実践していますか。



(n=351 選択肢は1つのみ)

1	知っており、実践している	23.4%	(82名)
2	知っているが、実践はしていない	11.1%	(39名)
3	言葉は知っているが、内容などはよく知らない	25.4%	(89名)
4	言葉は知らなかったが、内容は実践している	21.9%	(77名)
5	知らない	18.2%	(64名)

無回答 0.0% (0名)

< 2 > 医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。

あなたは、医薬品についてわからないことは誰に相談していますか。



(n=366 複数選択可)

1 医療機関の医師に相談している	(176名)
2 医療機関の薬剤師に相談している	(102名)
3 薬局の薬剤師に相談している	(139名)
4 ドラッグストアの薬剤師に相談している	(137名)
5 ドラッグストアの登録販売者に相談している	(55名)
6 医療従事者ではない家族や知り合いに相談している	(45名)
7 インターネット等を用い、自分で調べている	(270名)
8 誰かに相談することはほとんどなく、自分で調べることもない	(11名)
9 その他 (次の設問で具体的に入力してください)	(11名)

無回答 0.0% (0名)

[その他 (抜粋)]

- ・医療従事者の身内に相談している。
- ・自身が登録販売者と准看護師の資格を持っているので、自身で調べる
- ・健康保健の教職員などの専門家に尋ねています
- ・薬の辞典が家にあるのでそれを利用することもある。
- ・医療業界で働いているため、その会社の人に聞く
- ・医療従事者である家族や知り合いに相談している

<2：参考>令和3年度 県政モニターアンケート調査結果

医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。

あなたは、医薬品についてわからないことは誰に相談していますか。

(n=351 複数選択可)

1 医療機関の医師に相談している	(173名)
2 医療機関の薬剤師に相談している	(90名)
3 薬局の薬剤師に相談している	(119名)
4 ドラッグストアの薬剤師に相談している	(122名)
5 ドラッグストアの登録販売者に相談している	(39名)
6 医療従事者ではない家族や知り合いに相談している	(41名)
7 インターネット等を用い、自分で調べている	(237名)
8 誰かに相談することはほとんどなく、自分で調べることもない	(15名)
9 その他（次の設問で具体的に入力してください）	(11名)

無回答 0.0% (0名)

[その他（抜粋）]

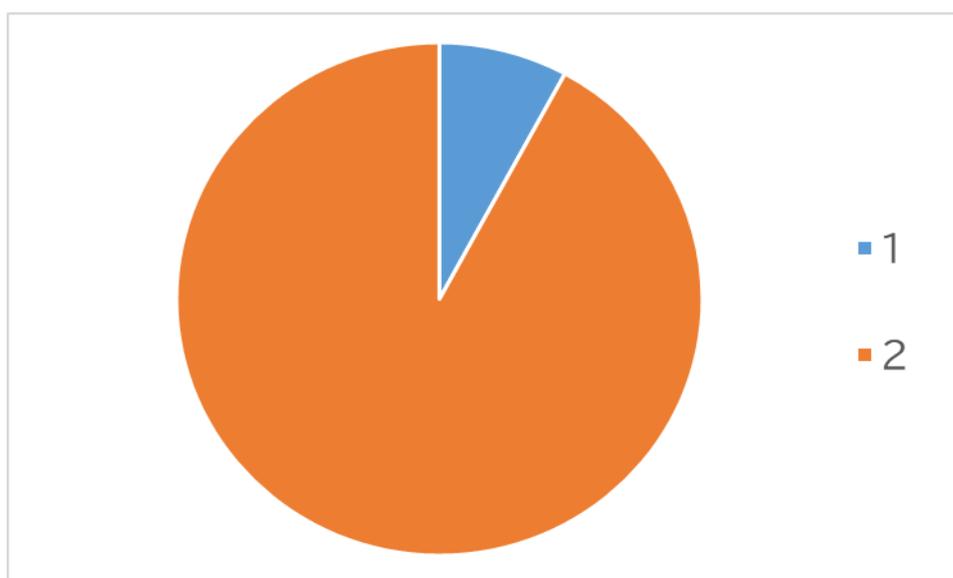
- ・職場が医療機関なので、周囲の同僚達に聞いてアドバイスをもらう。
- ・薬剤師資格を持っている知人に質問する。
- ・自分自身が薬剤師のため最低限の知識はある。
- ・あまりよくわからないと思ったことがない
- ・家族・親戚の医療従事者に尋ねる。
- ・医療従事者の家族（看護師）に相談している
- ・自分も登録販売者の資格を持っているので仲間に聞いたりしている

< 3 > あなたは、「健康サポート薬局」という言葉を知っていますか。

※ 健康サポート薬局とは

厚生労働大臣が定める一定の基準を満たしている薬局として、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで、気軽に相談できる薬局のこと。

令和5年3月末時点で、福岡県内に119の健康サポート薬局がある。

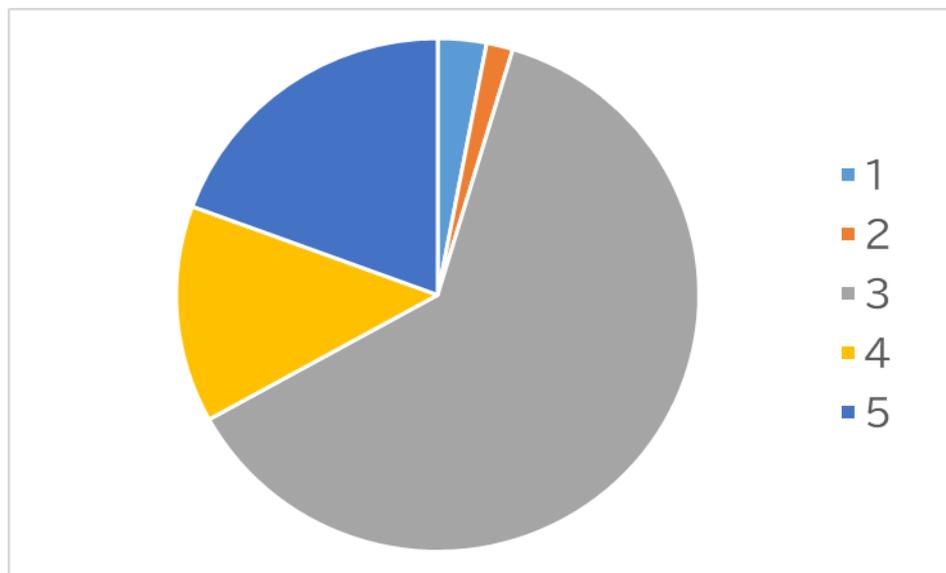


(n=366 選択肢は1つのみ)

1 知っている	7.9%	(29名)
2 知らない	92.1%	(337名)

無回答 0.0% (0名)

< 4 > あなたは、医薬品に関する相談をしたり、市販薬を購入したりするときに、健康サポート薬局を利用していますか。また、健康サポート薬局を利用したいと思いませんか。



(n=366 選択肢は1つのみ)

1 健康サポート薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う	3.0%	(11名)
2 健康サポート薬局を利用したことがあるが、今後は利用したいと思わない	1.6%	(6名)
3 健康サポート薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う	62.3%	(228名)
4 健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない	13.7%	(50名)
5 分からない	19.4%	(71名)

無回答 0.0% (0名)

〔「1 健康サポート薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う」の理由〕

自分で調べるのには限界があるし、症状によって適した成分は専門家のアドバイスを聞きたいから。

医師とは違う立場で助言を貰えるのでありがたい。

利用者へのサービス意識が高いのかなと感じました。薬剤師さんの親切なところも感じますし、利用しやすいです

責任をもって答えてくれる人が身近にいるということはいい事だと思うし、安心に繋がります

サポート薬局の方がより聞きたい情報がすぐわかり、対応が早い。知識や情報量が多いイメージ

〔「3 健康サポート薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う」の理由(抜粋)〕

ネットでも、いろいろな情報を得られるが、サプリメントを買わせるためのサイトが多い。今後は、信頼できるより健康サポート薬局で、相談等をしていきたいと思う。

お薬の事が良く分からないので専門家相談できると助かるから。

健康のために偽科学とかではない、信用できる情報が欲しいため。

自分の知識だけでは不安なため。身近に相談できる人がいる事は安心できる。

インターネット上の情報だけでは、その内容の真偽や自分の身体との相性についてわからないため個別的にアドバイスをもらいたいから。

医療に関する事は、専門知識と先進知識が必要な分野だとおもうので、素人である自分の判断には根拠がないため、是非相談したい。しかも手軽に相談できる事が重要な要素だと思います。(専門知識があることは当然なので)

病院に行けない時や、家族のことでちょっと相談したい時等に利用したいと思いました。

健康食品やサプリなどネットでも気軽に買えるが、種類が多く、何が自分に適しているのか分からないので、気軽に相談できると便利だと思うので。

市販薬で、薬の効果が微妙な時などに適切な薬を教えてもらえるのは良いと思うから。

薬などについて、自分でネット等で調べてもあまり自信が持てないので、気軽に相談できる場があるなら利用してみたいと思ったから。

しっかりと説明してサポートしてくれそう。安心して気兼ねなく利用できそう。

自分だけで判断せずに専門家の意見を聞いて適切な薬を選びたいから利用したい。

市販薬や健康食品に関する事はもちろん、介護や食事・栄養摂取に関する事まで、気軽に相談できるから

ご自分で調べたりできない方や、身近に相談できる方がいない方にとっては、とても有用だと思います。

知らなかったので、こういう取り組みがあるのであれば、利用してみたいと思います。ただ、どうやって使えばいいのか、どのくらいの人が利用しているのかも知りたいところです。

解らない薬のことや、副作用等を気軽に相談出来る窓口があるのは、嬉しいです。

風邪薬だけでも種類が多く金額も様々で、どれを選べばいいのか分からず不安になりながら服用しているので、身近なところで相談・購入までできるところがあれば利用してみたい。

自分に知識がつきそう

〔「4 健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない」の理由
(抜粋)〕

ネットの情報で事足りると思ってしまうから。重症であれば医療機関に行くので、特に相談しようと思わない。
どこの薬局が健康サポート薬局なのか分からない。あと相談しても、本当に必要なものではなく、お店の利益になるような商品などを売られそうで少し疑ってしまう。
地域のドラッグストアの登録販売者に相談すれば、大体わかるから、あえて利用する必要がないから。
一定の基準がどの程度のものなのかが分からない。また健康サポート薬局と普通の薬局との差は何なのかも不明。健康サポート薬局を利用するよりも、自分と相性の良い薬局を利用した方が安心信頼できる。
制度をよく理解していないため。
料金が発生するのでは？処方された時にしっかり説明を聞くので十分だと思っている。
インターネット上で自分で調べることで十分に情報を得られるから。
ほかにも利用客が多いため、ゆっくり相談できないから。自力検索などをしたほうが早いと思うので。
出来れば診察して頂いている医師に相談したい
健康サポート薬局等の薬剤師に相談しても、責任をもって説明できないし、問題解決にならない。またその責任も持てないため、私はかかりつけ医に相談している。
今のところ薬を飲む必要がないので不要である。
現在は医師の処方箋の薬を受け取るために薬局を利用している。病院の近くの薬局に健康サポート薬局のサービス提供は難しい。
面倒くさいし、ネットである程度は調べられるから
健康サポート薬局とドラッグストアや調剤薬局にいる薬剤師さんとの違いがなさそう。インターネットで色々調べられるため、わざわざ薬局に相談にはいかない。

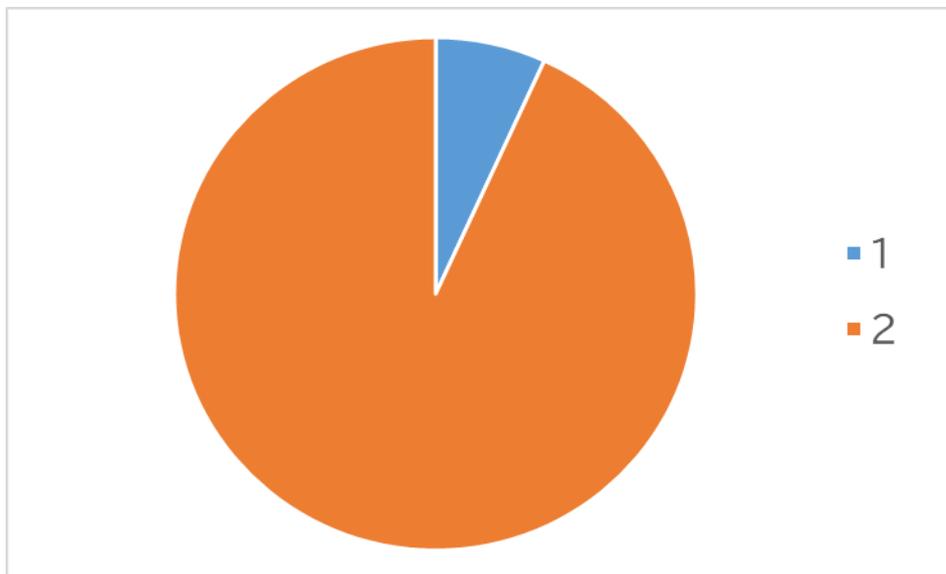
※ 地域連携薬局とは

令和3年8月から始まった制度で、住み慣れた地域で医療や介護のサービスを切れ目なく利用できるようにするために、様々な医療関係者と連携を取り、地域・患者を支える薬局のこと。

地域連携薬局は、病院の入院時・退院時における情報連携をしたり、在宅医療で地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応したりすることができる薬局として、県による認定を受けている。

令和5年3月末時点で、福岡県内に106の地域連携薬局がある。

< 5 > あなたは、「地域連携薬局」という言葉を知っていますか。

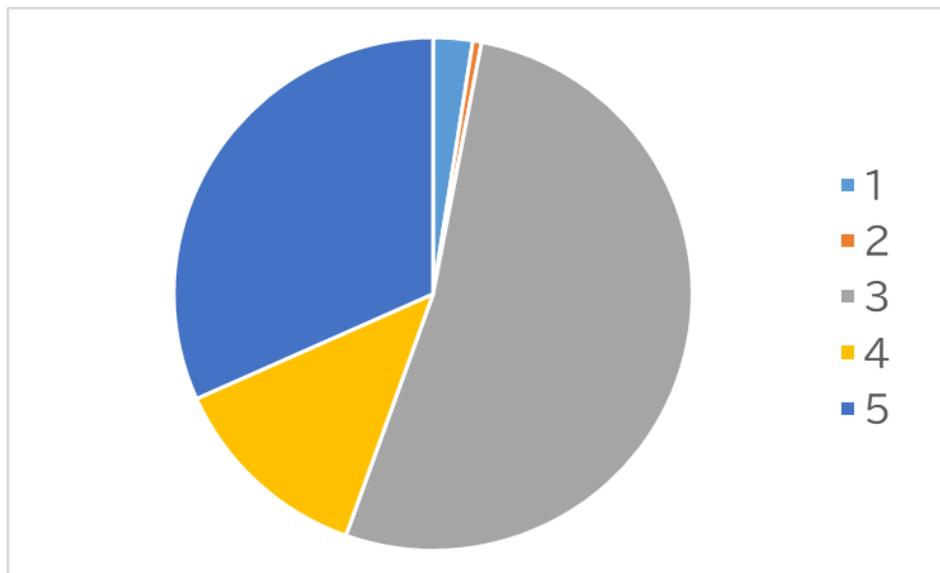


(n=366 選択肢は1つのみ)

1 知っている	6.8%	(25名)
2 知らない	93.2%	(341名)

無回答 0.0% (0名)

< 6 > あなたは、医薬品に関する相談をしたり、市販薬を購入したりするときに、地域連携薬局を利用していますか。また、地域連携薬局を利用したいと思いますか。



(n=366 選択肢は1つのみ)

1 地域連携薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う	2.5%	(9名)
2 地域連携薬局を利用したことがあるが、今後は利用したいと思わない	0.5%	(2名)
3 地域連携薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う	52.5%	(192名)
4 地域連携薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない	12.8%	(47名)
5 分からない	31.7%	(116名)

無回答 0.0% (0名)

〔「1 地域連携薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う」の理由 (抜粋)〕

近くの医療機関と連携していることで、安心して薬局に寄れます。気軽に寄れるというところか大切だと感じます。

高齢になれば数か所の病院にかかることが多くなるので長期にわたり連携した医療情報が必要だと思う

安心感があるから。

〔「3 地域連携薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う」の理由（抜粋）〕

医療関係者と連携が取れていることは非常に安心であり、とても信用して利用できると思うから。
身寄りのいなくなってしまうご老人の方や一人暮らしの方などが体調を崩すと頼る人がいなくて困ると聞きます。そのような際に医療関係者と連携の取れた方たちがいるととても心強いと思います。
専門職の情報共有がされているのはより良いサービスを受けられると思うし特に高齢者などに最適なサービスではないかと思ったから。
情報連携が出来ていることはとても便利だから
医療機関や薬局にかかるときに、自分の症状や現在の健康状態等、1からすべての施設に説明したりする手間も省けるし、入退院時や在宅医療を受ける際の不安等も、地域連携していることにより軽減し、安心して地域医療を受けることができそうだから。
病院と薬局が情報を握りあうことで、新たな健康維持へのアプローチができる可能性を見出させるから
利用したいと思いますが、どこにあるのかよくわかりません。利用しやすい分かりやすい取り組みがあればよいと思います。
介護が必要になった時など、入退院後の連携が取れるのは良いと思うので、利用したい。
入院時退院時の情報連携などが必要な場合は、自分自身で情報を伝えられない高齢者や障害のある方ではないか。今後自分がそのような状態になった場合には自分薬局に情報を伝えなくても、事前に薬剤師が情報を把握できていれば安心だと感じる。
初めて聞いた言葉でわからないが、なにをどう連携するのかも含めて知りたい。
病気の間は、少しでも負荷を無くしたい。薬一つとっても確認する作業は負荷にあたるので、病院の連携をとってあれば、そちらに委ねたいと思うので利用したい。
様々な医療機関と連携をとって頂けるとありがたいから。
医療関係者と連携を取り、地域・患者を支える薬局は、信頼できると思う。今は、健康で、かかりつけ病院もないが、今後は、是非利用していきたい。
病院の入院時・退院時における情報連携をしたり、在宅医療で地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応したりすることができるから
健康サポート薬局も地域連携薬局も県民への周知が不足していると思います。 県の認定薬局には、分かりやすい掲示をして欲しい。現在、掲示しているのであれば目立っていないと思う。
健康サポート薬局、地域連携薬局など周知に力を入れる必要がある。かかりつけ医や地域連携病院は知っており、それなりの利用をしているが、薬局は数も少ないし周知も不足している。
健康サポート薬局と同様、意義のある制度であるので、必要な時には活用したい。

個人の健康状況をつかんでいただき、クリニックと連携が取れるようにしていただければ、安心して利用したいと思います。

〔「4 地域連携薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない」の理由 (抜粋)〕

現時点では入退院や在宅医療の予定がないため。
現在は自分自身で管理や自分の情報を正しく伝えることができるので、利用したいとは思わないが、高齢者となり人の助けが必要な状態になった時には利用したいと思う
連携することでメリットだと感じるものがないから
通常の薬局で十分だと思うから。
地域連携薬局が自宅近くにない
用語の説明文を読んでも正直イメージが湧かないため利用したいとも利用したくないとも判断がつかない。
市販薬は、価格差が、店舗によって差があり、地域連携薬局と名前が付くと高そうだから。
個人情報への洩れが気になる
薬局通しで連携する意味合いが良く解らない。処方するのは医者であり、その薬を近隣の薬局で購入するだけと思うが。連携薬局の役割を明確にし、一般者に広く伝わる工夫が必要であると思う。
病院の処方箋の対応が主体の薬局が多い現状では、地域連携薬局は難しい。
人体の一部に支障が出た場合、その一部の事象に対する対策としての医薬品が勧められる。ところが、人体は、一部しか見ないやり方ではなく、その人の人体総合を見なければならぬ。一部に効果が有っても、他の部分で逆効果になる医薬品もある。患者の事を、よく知らない人に医薬品を相談することは無い。

<7> セルフメディケーションについて、これまでの設問以外に意見がありますか。

[意見（抜粋）]

- ・元々あまり病院に行かず、自己判断でやっているため結局何かの病気だったのかなど分からないままの状態が続くこともある。セルフメディケーションといえばそうなのかもしれないがその言葉の使い方が合っているのかどうか謎。
- ・自分で相談しようとする人は、意識が高いのでいいと思うが、ネット環境がない高齢者や、普段、人との付き合いを避けている人たちをどのように健康意識を高めてあげるかが課題だと思います。
- ・「セルフメディケーション」という用語は、税制優遇（医療費控除）という側面しか知りませんでしたので、概念をもって国民全体に啓蒙し理解して活用や行動のフォローまで出来るようにして欲しい。
- ・介護施設で働いていますが、高齢者の方は薬を多量に希望する方、偏見があり服用されない方と両極端な方がとても多いです。自身での管理が難しいこともあるため気軽に相談や訪問出来るサービスがあればいいなと常々思います。
- ・セルフメディケーション税制とは別に考えて利用した方がいいと思った。確定申告では医療費控除との選択が必要なためあまり利用していなかった。
- ・人や役所の頼りきりになるのではなく、自分でコントロールしていかなければと思います。最近、他人のせいにするような風潮が多くなっているように感じています。自分のことは自分で出来るように心がけていきたいと思います。
- ・薬についてはほぼ無知なまま、経験や知り合いに聞いた話で購入しがち。そこを気軽に相談できる薬剤師さんがいたらうれしい。気になる症状になにが一番効くか（一番ではなくても）意見が聞けると嬉しい。
- ・セルフメディケーションと言う言葉はまだあまり浸透してないから、テレビやマスコミ等でもとりあげて、普及させてください。
- ・高齢者が増え医療保険制度は危機的状況にあると承知している。今後も真に必要な医療を確保していくためには、運動や良好な食生活による健康維持を県民全体が自覚すべきである。そのための啓発活動を県民だより等で積極的に行ってほしい。
- ・全く聞いたことがありませんでした。また恐らく、60代になる父母に聞いても詳しく分からないと思います。病気になって初めて知る人もいますし、新型コロナのような医療機関が逼迫する事態がまたいつくるかも分からないので、健康な方への呼びかけ（CMなど）が必要な取組みだと思います。
- ・「軽度な身体の不調」と定義されているが、軽度なのかどうかはその人の物差しで異なるため、判断が難しい。セルフメディケーションを意識しすぎて病院に行くことを我慢し、その結果手遅れな状態に陥ることがないように特に独居老人等にはきちんと説明すべきだと思う。

令和5年度県政モニターアンケート 調査結果報告書

「こども施策について」

福岡県福祉労働部
こども未来課

1. 調査目的

国においてこの4月から、「こども家庭庁」が発足し、こどもの最善の利益を第一に考え、こども政策を強力に進めていくため、こども基本法（※）が施行されました。

福岡県においても、こどもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中、4月から新たに「こども未来課」を新設し、こども施策を総合的に推進していくこととしています。

県として、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組んでいくことは、県政における最優先の課題の一つであると考えています。

本調査は、県民の皆様のこども施策等に関する御意見をお聞かせいただくために実施したものです。

いただいた御意見は、今後のこども施策の推進の参考とさせていただきます。

※ こども基本法

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

2. 調査時期

令和5年10月17日～令和5年11月9日（第4回）

3. 回答者の構成

項目	総数	性別			年代別					
		女性	男性	その他	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	366	203	161	2	57	62	71	62	84	30
構成比	100.0%	55.5%	44.0%	0.5%	15.6%	16.9%	19.4%	16.9%	23.0%	8.2%

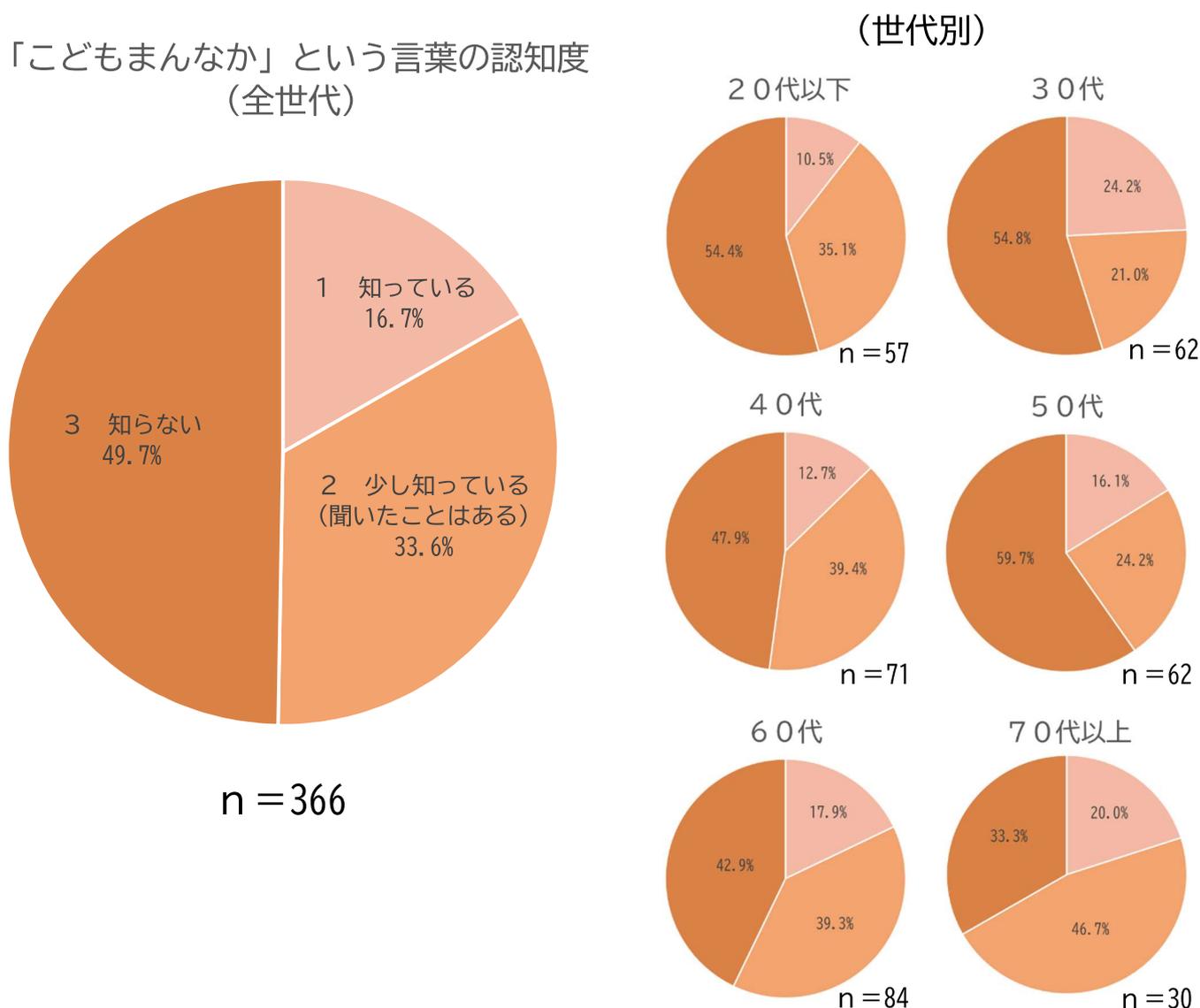
4. 回答結果

問1 国（子ども家庭庁）は、常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「子どもまんなか社会」の実現を目指して、子ども施策を推進していくこととしています。

あなたは、この「子どもまんなか」という言葉を知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	61	6	15	9	10	15	6
2 少し知っている (聞いたことはある)	123	20	13	28	15	33	14
3 知らない	182	31	34	34	37	36	10
計	366	57	62	71	62	84	30



問2 こども家庭庁は、こどもまんなかの趣旨に賛同し、今日からできる身近な「こどもまんなか」なアクションをSNSで「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信することで「こどもまんなか応援サポーター」となっていたたく個人、団体・企業、自治体等を募集しています。

あなたは、もし「こどもまんなか応援サポーター」としてSNSで情報発信することを頼まれたら引き受けたいと思いますか。

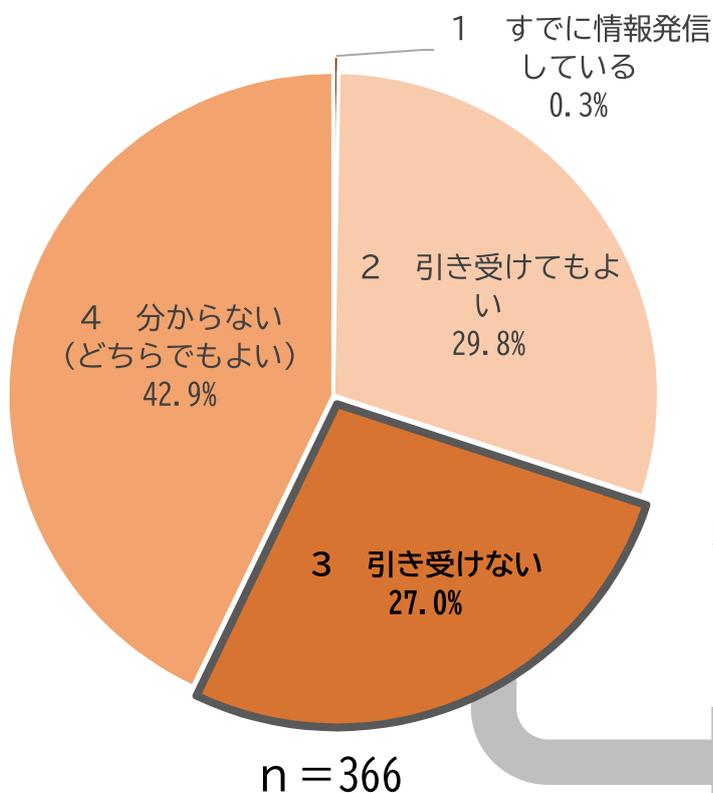
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 すでに情報発信している	1	0	1	0	0	0	0
2 引き受けてもよい	109	20	22	18	16	24	9
3 引き受けない	99	10	19	19	20	22	9
4 分からない(どちらでもよい)	157	27	20	34	26	38	12
計	366	57	62	71	62	84	30

問3 (問2で「3」を選択された方に) 引き受けない理由は何ですか。

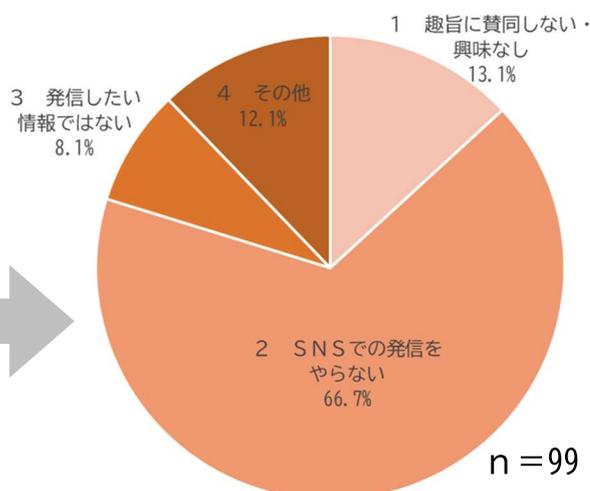
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

こどもまんなか応援サポーターを
引き受けるか



回答	全世代
1 趣旨に賛同しない・興味なし	13
2 SNSでの発信をやらない	66
3 発信したい情報ではない	8
4 その他	12
計	99

こどもまんなか応援サポーターを
引き受けない理由



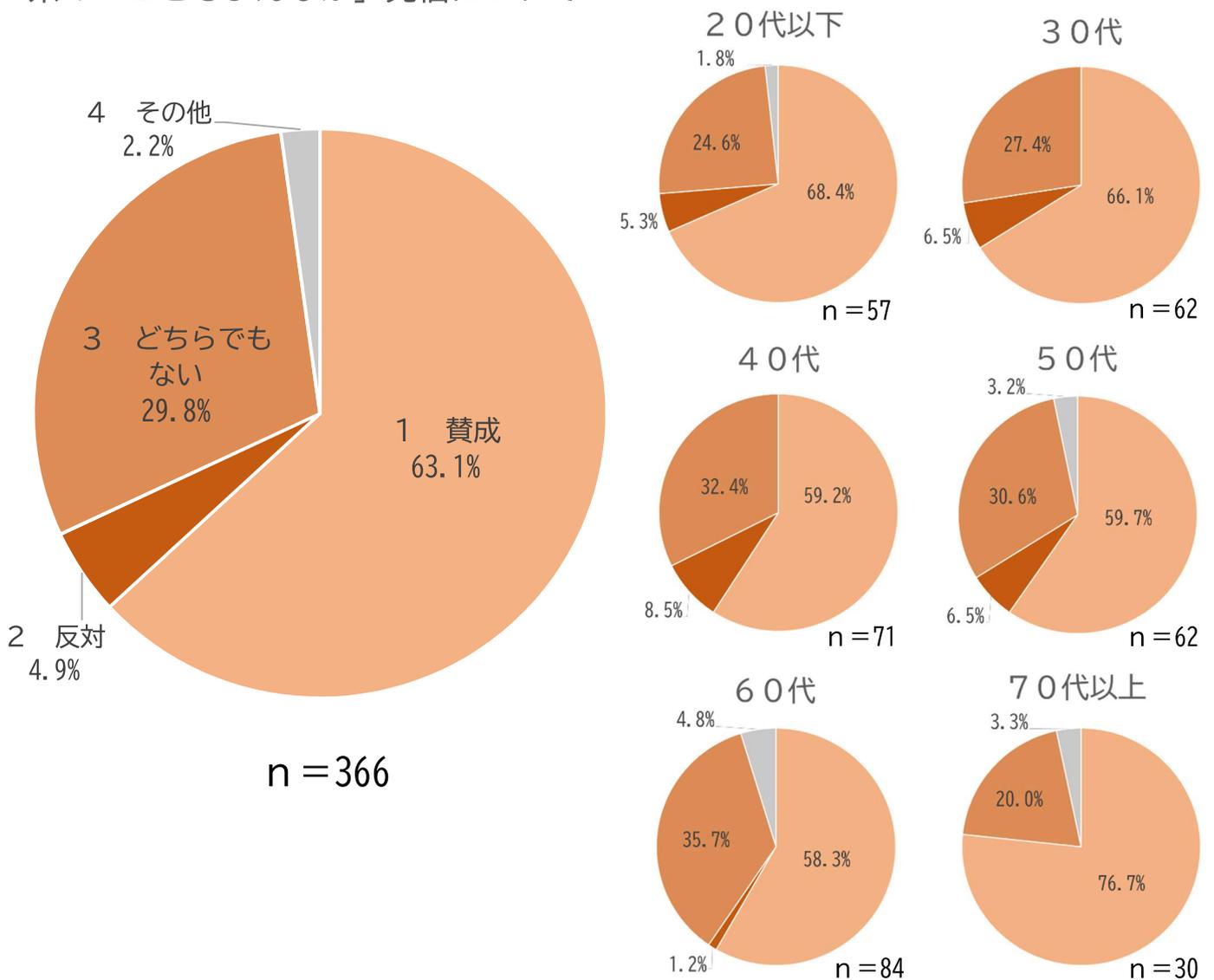
問4 福岡県が「こどもまんなか応援サポーター」、またはそれに類するような形で、今後SNS等で「こどもまんなか」に関する情報発信をしていくことにあなたは賛成ですか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 賛成	231	39	41	42	37	49	23
2 反対	18	3	4	6	4	1	6
3 どちらでもない	109	14	17	23	19	30	1
4 その他	8	1	0	0	2	4	0
計	366	57	62	71	62	84	30

(世代別)

県の「こどもまんなか」発信について



[問4 「その他」の内容]

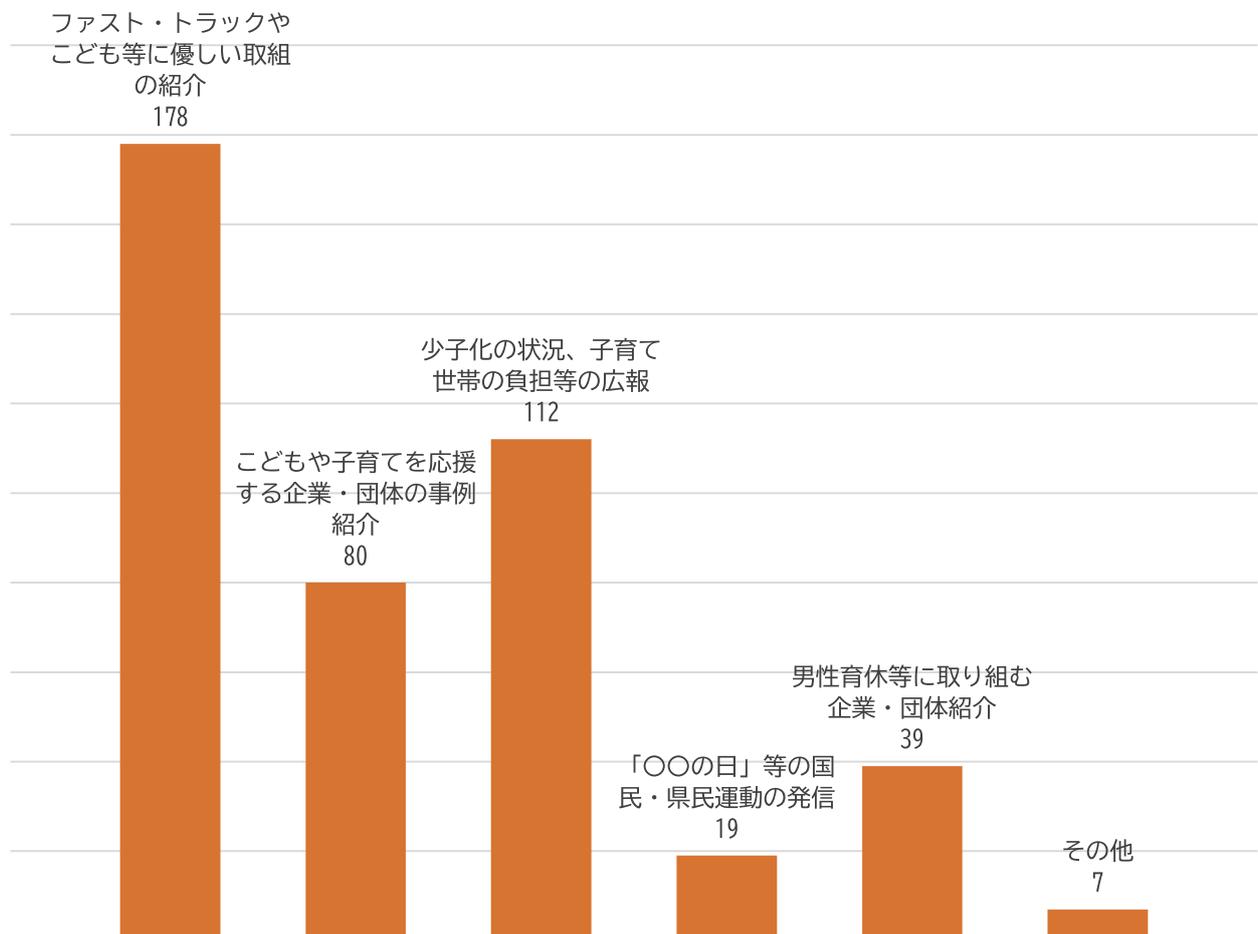
- ◆ こどもまんなかって何？よく意味が分かりません。
- ◆ どのような情報を発信するのでしょうか？
なにかをやってますだけの発信だけで広まるのでしょうか。
子育てする親は何の情報を求めているのか、そもそも情報を求めているのか物などではないのか。
- ◆ 「こどもまんなか」というキャッチコピーに違和感がある。社会のなかで未来を担う子どもが大切にされることは当たり前のこと。「サポーター」とかいう前に福祉事務所の職員を増やすとか、シングル世帯に経済的・時間的サポートをするとか、行政として具体的なことをしてほしい。
- ◆ こどもまんなか応援サポーターなど解散
高校までのフリースクールを含む教育機関の無償化、給食費完全無償、地域で摂れた無農薬無肥料、添加物を使わない子どもたちへの食の提供
将来の日本を担う子どもたちが心身ともに健康でいられるよう、まず『金銭面』での親の負担を解消することが大事
- ◆ 自分は SNS をあまり利用していないので広報誌等への掲載によって情報発信してほしい。
- ◆ 今まで行政が取組んだことでこのような「こどもまんなか」・「応援サポーター」のような意味不明な施策がどれだけの効果や意味があるかどうか、極めて懐疑的です。
- ◆ 「こどもまんなか」に関する情報発信とは具体的にどんなことを発信してどんな効果を求めているのかわからない
- ◆ まず、子供中心という考え方が違う方向だと思っています。現代の教育だったり躰だったり、大人が手をかけ過ぎの過保護としか思えません。子供が健やかに成長するサポートをすることは賛成なのですが、サポートの方向性が問題なのです。

問5 (問4で「1」を選択された方に) 福岡県は「こどもまんなか」を推進するため、具体的にどのような情報を発信したらよいと思いますか。
次の中から当てはまるものを【2つまで】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 こどもファスト・トラックの取組や、公共交通機関におけるベビーカー使用者のためのフリースペースの設置等、こどもや妊婦、こども連れの方に優しい取組の紹介	178	32	30	28	29	42	17
2 こども・子育てを応援する企業や団体などの好事例の紹介	80	18	17	17	7	14	7
3 今のこどもを取り巻く状況や少子化の状況、子育て世帯の負担等について、より多くの方に理解していただくための広報	112	10	16	24	21	27	14
4 「〇〇の日」「〇〇月間」などの国民・県民運動の発信	19	3	3	5	4	3	1
5 男性育休取得や働き方改革に取り組む企業・団体の紹介	39	10	12	6	5	4	2
6 その他	7	0	1	0	1	4	1
計	435	73	79	80	67	94	42

※ こどもファスト・トラック
公共施設や商業施設などの受付において、妊婦やこども連れの方の優先案内や専用レーンを設置する取組。

「こどもまんなか」の推進のために県が発信すべき情報



問6 こども施策について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

1	自分の子育ても終わり、今は、孫育てをやっています。親だけでなく、じじ、ばばの経験を生かした、こども施策があったらいいと思います。	60代	男性
2	聞いたことがあるけど中身まで具体的なことを知らないです。	30代	女性
3	こどもが座れるカートがあるスーパーの地図のようなものが欲しい。走り回るタイプの子供のため、カードがないと買い物ができない。初めて行くスーパーだとあるかわからないのでもしこども椅子のついてるカートがなければ買わずに帰ることが多く、二度手間になってしまうため。	30代	女性
4	賛成ではあるのですが、一部のマナーの悪い保護者がでてくることは考えられるので、本当にその政策が必要な子どもたちに平等に権利を与えられるようにして欲しい。	40代	女性
5	少子化の取り組みをいろいろするべきだと思う	50代	女性
6	未だ詳細がわからない	70歳以上	女性
7	こどもまんなかに考えるとき、どこまで優先すべきか線引きをしておかないと何でもかんでもこどもだから優先されるでは、優しさや思いやりが育たない子どもが増える気がします。	60代	男性
8	取り巻く状況や少子化の状況、どのような社会変化が想定されるのか？それに立ち向かっていく必要があり、社会として皆さんを真ん中に据えて支援を行うが、主人公は皆さんであり期待値も〇〇なので、自律した人財になって欲しいなどなど。そのために開かれている社会では教育やボランティア、就労、家庭活動などなどがあるんだよ。みたいな感じです。	60代	男性
9	妊娠が出来ないのでこのような政策は聞くたびにつらくなります。そういう人もいることを頭の片隅に置いてもらえるといいと思います。	40代	女性
10	私はこどもや赤ちゃんが大好きですが、ずっと一人暮らしで触れ合うことがありません。敬老の日だけではなく、60歳以上の高齢者と触れ合う機会を作ってほしい。例えば、ボランティアで保育園で簡単なお手伝いをする。掃除や、昼寝、自由遊びの見守り補助等。高齢者施設で手作りおもちゃ等を作り保育園に高齢者が直接持って行く等。	60代	女性

11	子どもが健やかに成長するように考えてくれるのは嬉しいが、SNS で政策をやっている雰囲気を出すよりも、まずはその子どもを育てる家庭（親）に実益的な支援が欲しい。例えば、給食費の無償化や減税、児童手当の増額など。実質賃金さがり続け物価が上昇する中で、『常にこどもの最善の利益を第一に考え』るのであれば、家庭への経済的支援は急務だと考える。親が生きていくのに必死だと、『こどもまんなか』など無理に等しい。	30代	女性
12	具体的にどのようなことをしていくのが明確でない	60代	男性
13	子供は国民全体で育ていく必要があるという認識を深めるような周知活動が必要と考えます。	50代	男性
14	子どものことを本当に考えるなら、例えばバラマキの補助金など、簡単に親にお金を渡すのではなく、何らかの形での現物支給など子供に直接使われる形にするなどやり方が重要だと思う。	60代	女性
15	共働き世帯が多く、仕事を休むのもなかなか難しいので、病児保育や小学校低学年までの病気の児童を預かる施設が充実すれば良いと思う。	50代	女性
16	子ども政策は遅いと思う少子化問題は、ずーと以前から言われていた事で、スピードあげて取り組むべきです	70歳以上	女性
17	ふくおか・まごころ駐車場の、多胎児の妊娠中・産後の使える期間を伸ばしてほしい。私は現在双子の赤ちゃんを育てているが、多胎のため妊娠中はお腹周りがとても大きく、外出時は介助者必須・車椅子移動だった。しかし、まごころ駐車場の妊娠中に使える期間より前だったため、まごころ駐車場は使用できず、遠いところに停めて、歩くしかなくとても苦しかった。周りから心配されて声をかけられることもあった。 また、産後も双子用ベビーカーでの移動は普通の駐車場だと狭く、赤ちゃんの乗せ替えにかなりの困難を要する。他の県では多胎妊婦には期間の延長が認められているようなので、検討してほしい。	30代	女性
18	テレビや新聞で、子どもの泣き声やベビーカーなどに冷たい言葉を投げかける人が結構多く、そのために子どもとの外出や飲食店利用をためらう親がいるようだ。安心して子どもたちと外出できるような「優しい社会」をつくるため、「こども」を中心に据えた政策をさらに推進してほしい。	40代	男性
19	子どもや若者は、未来社会を担う重要な存在です。子育て世代の支援や経済的困難に直面するシングルマザー等のひとり親家庭への支援。また、子どもの虐待を早期発見し、素早い対応を行い、子どもの健全な発育を見守ることは、大変重要です。新たに配置された職員の皆様は大変かと思いますが、「こども未来課」の設置により、子どもの健全な育成と家族の幸せを高めることが出来ると思います。新しい部署が出来ると、上層部から実績云々で、ご苦労も多い	60代	男性

	かと思いますが、物事は、一朝一夕で変わりません。健康とメンタル面に留意されて下さい。		
20	具体的なこども施策がわからない。県としてどんなことをしていて、どれくらいお金がかかって、成果としてどのくらいあがっているのか、中身が見えるようにしてもらいたい。現在子育てを中だが、法律の内容も取り組みも何もわからない上、法律や庁や課ができたといわれても現実は何も変わっていない。言うだけの、お金が消えていくだけの、無駄事業だと思っている。	20代以下	女性
21	SNS から遠そうで、子育てに携わってなかった世代や子育てに興味がない方々にどう発信したら理解してもらえるのか。課題だと思います。	30代	女性
22	SNS 使用も大きな課題があると思います。どの様な情報を発信するのか、その情報は本当に正しいのかを考える事は非常に難しく、重要であると思います。	60代	男性
23	とある大手ドラッグストアでは、買い物が多い時(重い時)に、スタッフさんが商品を袋詰めして車まで運んでくれるサービスをしてくれて、乳幼児2人抱えた私には非常に助かっている。コロナの影響で、買い物カゴに商品を入れてくれる場所はほぼなくなってしまったが、またそういうサービスは復活して欲しい。	40代	女性
24	子どもの意見を聞くアドボガシーなど支援者養成などにも、力を入れて欲しい。子どもの権利条約なども県をあげて、学んで取り入れていって欲しいと思います。	60代	女性
25	子どもの政策は、地域格差もあり十分ではないと感じる。 子どもが十分に教育を受け、「心の育ち」も含め、社会人として育つような政策を実行していただきたい	40代	女性
26	私は今から子育て中で余裕がない日々を過ごしています。同じ立場を経験された方にはこの事業は受け入れやすいと思いますが、経験のない方々にはなかなか難しいと思われます。子供の良いことも悪いこともより多くの方々に理解してもらい、この事業が広まっていけばいいなと思います。	40代	女性
27	20年あまり子供通学時の交通指導を行っており今後も元気であれば続けますが、子供達の成長を楽しみながら、逆に元気を貰ってます。県などが机上で発信しても疑問です。問題は現場確認とやる気ではないでしょうか	70歳以上	男性
28	こども施策について進めることが少子化対策にも繋がると考えられるため、積極的に進めるべきだと思う。	20代以下	男性

29	<p>こどもを育てるということはとても大変な仕事であり、核家族化した現代では男性の育児参加もとても大事だと感じています。</p> <p>特に0歳～3歳くらいが一番子育てにおいての手が必要な時期だと感じます。あまりにもずっと、こども優先政策（行列の優先など）を子供が大きくなってきても続けると、優先されることが当たり前の悪い教育にもなりかねないので難しいと感じます。</p>	40代	女性
30	<p>少子化の中、子供政策は重要だが、国の政策で例えば予算の使い方など信頼が持てない。</p>	60代	男性
31	<p>活動がよくわからずすみません</p>	50代	女性
32	<p>保育士や学校の先生の時給が低すぎると思う。介護士も含めて多くの人が携われるように、給料の引き上げを県から国に対して強く呼びかけてほしい</p>	60代	男性
33	<p>上部だけの施策のような気がしてならない。</p>	50代	女性
34	<p>一人親にばかり補助金が行くのではなく、平等に補助金がもらえる政策を県が担ってほしいです。国がしてくれないなら、県がこどものためにしてくれませんか？物価上昇に反比例する給与、そんな中育児をするのはとても大変です。夫婦揃っていてもこどもに十分な食事や教育を与えるために、平等に補助してほしいです。それが本当のこどもまんなかです。</p>	30代	女性
35	<p>少子化の原因は金銭的余裕がないことが一番の原因だというのは明らかなので、うわべだけの取組にお金をつかわず必要なことに重点的に使用して欲しい。</p>	30代	女性
36	<p>「こどもまんなか応援サポーター」いったい何をするのかさっぱりわからない。これも具体的なものをしめしてほしい。言葉も内容もよくわからないなか活動するかと聞かれても答えようがないです。ワークショップをすとか保護活動をするのか、小学校等と連携とかなんだろうか。</p>	60代	男性
37	<p>ピント外れのこども政策を修正してほしいが、国がいったん決めたことはおかしくてもそのまま実施されることに納得がいかない。</p>	60代	女性
38	<p>子供真ん中政策の阻害因子について質問があってもよいのではないか</p>	60代	女性
39	<p>発信だけで変わることはない。実践的にサポートしていく取り組みが必要。当本人らだけでは気づけないことを伝えていくことが重要。</p>	20代以下	女性
40	<p>実際にNPOとして「あそびのひろば」などを開催しています。こどもたちが自由にやりたいことをできるような場を設けていますが、設けるだけでは本当の「こどもまんなか」にはなっていないと感じています。そう言う場にお子さんを連れていっていただけではなく、お子さんと交流する、我が子と遊ぶ、そう言った親側の働きかけが少ない気がするので、そう言う面もとらえた広報活動があれ</p>	40代	女性

	ば良いな・・・と思います。一方で、こどもたちのことだけを考え、保護者の負担が増えることにならないよう、託児つきの保護者のリフレッシュなども併せて進めてほしいと思います。		
41	子供は大切育成していくことは十分に理解しているが、後期高齢者になった自分の体力気力を考えると、何か精神的に応援したいものである。従って我々高齢者でお手伝いできることを色々示していただきたいものです。	70歳以上	男性
42	部署を作るよりも現場の人間を増やしてほしいです。虐待されている子供たちの家庭訪問や、地域で児童館や保育所や子ども食堂を運営している方達の人数を増やしてほしい。スローガンで子供の命は助からない	70歳以上	女性
43	学校給食、フリースクールでの食事、幼稚園、保育園、保育所、など全ての「子供の食事」を一日一回分でも、国や県の補助による無償化を実施してほしい。ちゃんと食べれば不幸なこどもを減らせると思います。児童養護施設をもっと手厚く援助することも必要で重要なことだと思います。	60代	女性
44	既に施策としてあるかもしれませんが、ベビーシッター利用の推進や子連れのタクシー乗車料金の割引を検討してはいかがでしょうか。 子育ては夫婦で協力してしていくものですが、夫の仕事上大変な時にサポートができないときなどそれぞれの家庭で妻のほうに負担が大きいことがまだまだあると思います。 そんなときに無理をするのではなくベビーシッターや託児所など頼れるところがあるんだ、頼っていいんだと思えるような支援体制が重要だと感じる。 また、子供はよく病気をするもので、親にもうつってしまうことがある。 そんな時に運転をして子供を病院に連れていくことのリスクや夫が車で会社に行っており移動手段がない場合に家から病院まで気軽にタクシーを利用できる状況があればとてもたすかる人は多いと考える。	30代	男性
45	本腰入れてやらないと、みんな子どもを産みながら世の中になってしまう。身近なところで思うのは、幼稚園教諭や保育士の賃金アップ。共働きが当たり前のこのご時世、いつまで経っても子育ての負担は女性にばかり偏っているように思う。まさに先日家庭内感染で一家でインフルエンザ罹患をした。当然勤め先には行けず、そして勤め始めて半年が経つ前なので、まだ有給ももらえず欠勤の状態が1週間続いている。子どもたちの看病をしながら、自分の療養にも努めなければならない。しかしながら職場へ連絡しても、まだ来れないのかと言った返答をされる。勤め先が中小企業であるため、大企業とちがいで代わりになる人材がないのは事実、ほんとは自分がやるべきだった業務がそのまま他の方の負担となる。代わりのいない中小企業では、子どもの看病、での休みはなかなか理解されにくい。ましてや、自身の病気の療養さえも休んではいけない風潮なのか？勤め出して日も浅いため、企業風土？がわからない。人によっては、こんな冷たく扱われるようなら退職してやる、といったような人も出てくるとは思う代わりのいない中小企業だからこそ、上に立つ人の意識も変えてほしいと思う。が、ここの土地柄的にやはりまだ男尊女卑の意識が根底には広がっているような気がしてはがゆい。昔ながらの男は〇〇だ、女は〇〇	30代	女性

	だ、の固定観念をバシッとお持ちの方が多くのように思える。このあたりの意識の変革も早急に取り組んでほしい議題だとは思う。		
46	「全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的」 男の孫2人が近くにいるので、サポートする機会が多い。 ひとり親の娘が働き育てているので、何かと応援したいが、私達老夫婦はあと何年生きられるかわからないので、娘の再婚を期待するし、子供たちを社会が支えてくれることを期待したい。どんな社会組織があるのか情報を知りたい。	70歳以上	男性
47	こどもファスト・トラック、聞いたことが無い。なんで横文字なのだ。子ども優先と勝手に解釈するが、甘やかしすぎと思う。子供の時にビシビシ鍛え上げないと、ろくな大人になれない。	70歳以上	男性
48	男性の育休取得は良いことだと思います（私も育休取得経験者です。）。 他方で、育休を取得すると、同僚に少なからず負担が生じると思います。お互い様であれば良いのですが、現状そうは言い難いと思います。 育休取得の推進のためには、既に一部の民間企業等では導入されていますが、育休取得者の同僚に対する手当の支給など、負担に報いる仕組みが必要だと思います。	30代	男性
49	SNS でわざわざ発信しなくても、魅力ある政策であれば広まるはずです。ニュースになるはずです。SNS で発信し、広めていかないと、広まっていかないと限りがああると思います。	20代以下	男性
50	今後の未来社会を担う子供を大事に育てることは大切です。私ら老人世代でも何かお役に立ちたいと思います。例えば、学校での教育に役立つ経験談等を話機会があればよいと思います。	70歳以上	男性
51	子育て経験があるので、こういった活動は大いに賛成です。やはりスーパーが1番大変で、でもスーパーでは妊婦や子連れの方にレジの方は荷物を運んでくださったりもともと良くしてくださってると思うのですが、やっぱりレジ待ちで大泣きしている子どもがいても皆知らん顔だし、冷たいなどは思います。でもこういったところから優先レーンがあるととても助かると思います。	40代	女性
52	施策の発信～進捗確認～状況確認～結果の公表～再検討・改善施策など、途切れの無い一連の活動・改善が見られるようにして頂ければと思います	60代	男性
53	対策が遅れている施策と思うのでスピード感を持って実態に即した支援を進めて欲しい。	60代	女性
54	普段生活していてもなかなか「こどもまんなか」を実感することは少なく、これからはもっと実現していくべきだと思う。	30代	女性

55	身近の問題ではないので、分からない。	60代	女性
56	『こどもまんなか応援サポーター』の取り組みは素晴らしいと思いますが、60代の私は SNS で情報発信は困難です。高齢者にも出来る支援としてはボランティア活動でしょうか。	60代	男性
57	こどもの声を騒音として訴える声を耳にすることがありますが、公園で元気に遊ぶ姿や、運動会、地域の祭りなど、こどもたちがのびのびと活動できる場所を守る事が大事だと思いました。	20代以下	女性
58	子供を真ん中に出来ない家庭は、親の問題解決が先。子供単体にアプローチするのはナンセンス。	50代	男性
59	3の広報は大事だと思うしやるべきだけど押しすぎるとうざいと感じる人もいると思う。そもそも子供がいないとか子供を育てていない人からすると関係ないしという感覚を持っている人も多いと思う。わかってくださいわかってくださいという広報なのではなく、××なので●●です、▽▽だとみんな幸せに円滑に暮らせますよねっていう合理性を加えた PR じゃないと「妊婦様」「子育て様」という悪い言葉を使う人も増えそう。そして子育て側もある程度マナーを持った方がいいんじゃないかなと思うような親も多いので、育て世帯の負担等についてより多くの方に理解していただくためっていうよりもまずは社会生活を紹介した上で子育ての負担を PR しないとバランス悪いと思う。	30代	女性
60	単なる SNS の情報発信ではなく、もっと具体的な支援策を作って欲しいです。	30代	女性
61	「こどもまんなか」を推奨するかは政策内容によります。 現に不登校児は年々増え 20 代以下の死亡理由の第 1 位は自殺です。 更に外国人留学生には無償で奨学金を出し日本人には有償という異常な現状で政府が子ども第一に考えてるとはとても思えません。 福岡県には日本で何処よりも早く地方国債(教育国債)の発行などを検討し大学までの学費無償化、給食のオーガニック化やフリースクールへの公的補助など、子どもにとって日本一住みやすい街を実現していただきたいと思います。 現役世代の移住が進めば自ずと税収も増えますので是非本当の意味での「こどもまんなか」日本一を目指してもらいたいです。	40代	男性
62	全ての施策において、こどもを権利の主体として位置付けて行う必要がある。しかし、子ども自身が発信できたり、子どもの声を施策に反映する仕組みを作ったり、子どもが自分たちの問題に関して決定に参加できる場を設定すべきと考えるが、まったくその発想が疎かになっていると強く感じる。	50代	男性
63	こどもに関する施策は以前から進めていますが、結果が出ていないと思う。こどもの権利を守ることと、こどもを生き育てやすい環境整備に力を入れて少子化を止めて欲しい。	60代	男性

64	国ではなく県手で実施するには限界があると思うが、税控除などの直接的な支援や子供を国地域全体で守り育てる意識を広めてほしい。	20代以下	男性
65	理念どころより、もっと具体的に迅速に問題を解決して頂ければと思います。児童手当、数十年前のオムツやミルク代を基準に額を決められているようですが、時代に応じて、検討が必要だと思います。保育園、全く足りていません。3才児の子供がいますが、実際、今年15箇所電話して確認しましたが、全く空きがありませんでした。病児保育、無料にするより前に、全く足りません。朝一番から、すぐに予約が埋まり、行っている小児科も少なすぎると思います。急患医療センター、百道浜にありますが、具合悪い中、2時間待ちなどザラです。福岡の人口は増える一方なのに、どこかに増設してほしいです。	30代	女性
66	保育料が高い。病児保育は、完全無償ではなく数百円程度はとるべき。	30代	男性
67	子供については、未来のある同じ子供たちへ向けて発信してほしい。そしてファストトラックを作るなら、それを利用しない人とのルートを分けて見えないようにしてほしい。心ない言葉や態度に傷つく方は多いので…	30代	女性
68	もっと予算を増やしてほしい。	70歳以上	女性
69	「こどもまんなか」なアクションをSNSで「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信することは非常に良いことだとは思いますが、こども達の顔写真や住んでいる地域が不特定多数に知られてしまう危険性に十分に配慮しなければならないかと思っています。私は教育業界に勤めていた経験があるのですが、上記の点に関してはかなり神経を使っておりました。また、現在教育業界を離れている私は、こども達にとってはただのおじさんであり、警戒の対象にもなり得ます。そこら辺の距離感であったり配慮等が難しい領域だと感じております。	30代	男性
70	子どもをまんなかとする施策には賛成です。が、妊婦や子連れを優先させることについては、ちょっと不安があります。私自身、子どもが1人いますが、産んでみて、子どもを育てることの難しさを痛感しました。難しい原因は、周りの目が冷ややかなことです。周りの方に助けていただいたこともありますが、多くの方は見て見ぬふりか、邪魔だと言わんばかりの冷たい視線や態度を送ってきます。これを子どもの数だけ耐えなければならないかと思うととてもできるものではないと思い、2人目を生むことができませんでした。世間は子連れに対してとても冷たいです。そんな中で、妊婦や子連れを優先させるような場面をそういう人たちが目にしたら、子連れや子どもたちがさらに嫌がらせをされる世界になってしまうのではないかと感じ、怖いです。	30代	女性
71	SNSで情報発信するためにうその投稿をしてもわからないところを懸念する。	40代	女性

72	<p>まだまだ核家族で夫婦、或いはワンオペ育児が主流だと感じます。</p> <p>私もその1人ですが、とにかく働く事にハードルが上がる(パート縛り)事や、夫の働き方改革がまだまだ進んでいないと感じます。この状況である以上、日々に追われ「こどもまんなか」を謳える余裕すら無く、また、養育費にお金がかとにかく掛かり、本当に育児世帯はとても苦しい状況下で必死で子育てをしています。私の周りにも日本や世界にこれから羽ばたき即戦力となる未来を担う子ども達ばかり育ち、父母はとても必死に育てています。</p> <p>どうか税対策や働き方改革など、身のある施策をどんどん推し進め、未来ある子どもを育て、いずれは日本に還元される事を忘れずに力を入れて頂きたいです。</p>	40代	女性
73	<p>お父さん一人が働けば、家族5人をゆっくり養えるくらいの社会にしない限り、少子化も止まりませんし、子どもたちが楽しいはずがありません。問題が起こったら、まず根本を見直すことが大事です。</p> <p>働くお母さんのために保育園を作るより、お母さんが働かなくても良い制度を作る。地域の子どもたちが、地域の伝統ある祭りなどを通じて、地元を愛する心を育てる。東京に行かなくても、福岡で充分働く場所があり、35年などのローンを組まなくても、安心できる地域に住むことができる。行政は、『何かをしてあげる』ということをやりますが、国民県民が何をしてほしいか問うていますか？行政が行うことは、全くの見間違いだと思うことばかりです。</p>	50代	女性
74	<p>男性育休についての現実も知りたい。良い循環にもなるかもしれないが、一方、育休を取得した夫のせいで妻がより大変になったという話もTV等で聞く。そのあたりの現実も知りたい。それを踏まえて講習会などもあれば受講してみたい。</p>	50代	男性
75	<p>少子化については経済的な問題は避けては通れないだろう。</p> <p>特に就職氷河期世代が子供を産んでないという点が大きいのではないかとその辺についても対応をして欲しい。</p>	40代	男性
76	<p>こども政策というものの内容をよく知らないので勉強しないといけないですが、こどもを取り巻く課題というのがどのようなものなのか知りたいです。家庭環境が整っていないこどもへの対策なのか、核家族化に伴ってこどもだけの時間が増えることへの対策なのか、犯罪から守る対策なのか、AIの普及等による変化の激しい社会の中でどのような道を選択するかをサポートすることなのか、貧困への対策か。国が?楽し暮らしを豊かにするには働き手の確保も必要だし、子供を守るためには社会全体でといってもやはり家庭の安定が必要だと思うし、対策が難しいと感じます。</p>	60代	女性
77	<p>各市区町村における婚姻率・出生率・女性就業率、子どもの貧困状況、子育てに関する意識、子どもの医療・学習等の環境の差異などさまざまであることを県として把握した上での施策策定・実施が重要だと思います。</p>	60代	男性

78	今までも、子供、妊婦は優遇されていたと思うが、更にどういうコンセプトのことをやろうとしているか、はつきり見えない。子供支援なら、子供に給付金を出したらどう？給付には、一切の条件を付けないこと。	70歳以上	男性
79	子どもと母親だけの孤立をしないよう、地域の行事に気軽に参加できるよう、周りの大人と子どもがつながっていけるように、ならればよい。 お買物する時、病院へ行く時、美容院へ行く時、ほんのちょっとした時間でも、気軽にみていてもらえる場所が、大きな商業施設にあれば助かったのになあと思います。	50代	女性
80	こども家庭庁を作るより末端の人材を確保する方が先なのでは？子育てで一番困ったのは、「今日・今、頼る人がいない！」事でした。給付金よりも出産したら、100時間のサポート券が配られると嬉しいです。病気や仕事・私用でもどんな理由でも利用できる券があると心身共に本当に助かります。結局は、サポートの受け皿が必要になるので、保育士の待遇改善やサポートメンバーの教育に力を注いで頂きたいです。また、虐待を防ぐためにも家庭訪問をする人材を増やしてほしいです。警察にも民事介入してほしいです。	50代	女性
81	こども家庭庁の存在意義自体がわからない。	50代	男性
82	●6ヵ月検診や1歳半検診について わたしの町では必ず午後13～15時くらいの間で行われています。しかし、この時間帯はお昼寝の時間であり、親としては「行きたくない」という気持ちが強いです。丸1日の時間を用意していただきたいです。そうすることで子どもの安眠は保てますし、機嫌のよい子どもを世話することになるため親の精神の安定にもつながります。 ●ベビーシッター補助券 ベビーシッター補助券が出回って、多くの方がこれを利用されているようです。県が追加で補助することで、利用がさらに促進され親御さんの保育力の向上や気分転換など、こどもをめぐる環境がより改善されるのではないかと思います。	30代	男性
83	こどもファストラックという言葉は初めて聞きました。私が子供がいないからかもしれませんが、どこまで妊婦や子供優先にするかは、疑問に思うところがあります。専用レーンを設けるなど振り分けることは、良いと思いますが、それによって順番が早くなるなどの優先はどうかかなと思いました。	20代以下	女性
84	「こどもまんなか」という言葉は知りませんでした・・・もっと啓蒙活動をしたらいいのにと思いました。	70歳以上	女性
85	十分理解していませんので、これから情報収集しなければと思います。	70歳以上	男性

86	LGBT の当事者は子どもを育てたくてもできないことが多いので、里親制度や養子縁組を異性の夫婦だけでなく広げてほしい。実親に虐待されるよりも、血縁でなくても愛をもって育ててくれる家族に迎えられた方が子どもも幸せだと思う。	20代以下	その他
87	法律の成立過程を考えると、家庭の無い子供もいる中、「子供家庭庁」の概念が狭いと感じていました。実際は家庭の無い子供も多く、知らない範囲で、潜在的に悩んでいる子供や親たちもいるはず。 余り業務の範囲を定めて狭く考えず、想定以外の子供たちをいることを考えながら、業務を進めて頂きたいと思います。	60代	男性
88	こども施策と一言でまとめられるが、それぞれのニーズにそったものを作るにはどうするべきか、もっと行政や国が考えてほしい。	30代	女性
89	こどもまんなか社会、おおいに賛成です。私は、子育ては卒業しましたが、最近の、メディアニュースで目にする、虐待、虐め、また、ジャニーズ問題、心が痛みます。こどもまんなか社会応援します。	60代	男性
90	ワンオペ育児にならないように、地域のかたに気安く聞ける場所を提供してほしい。父親がもっと気軽に育児に参加出来るように、企業にも協力してもらい、父親学級に行きやすい雰囲気を作ってほしい。	50代	女性
91	子供は未来の宝なので色々な事を体験させることが大事だと思う。	60代	女性
92	子育て現役世代、子育て卒業世代、おじいちゃんおばあちゃん世代など多くの情報が集まるイベントを開催し、全世代で悩み相談、実体験、子育て支援、買い物支援などに取り組む。	50代	男性
93	金銭給付のばらまき施策は反対です。 働きながら子どもを育てることができるための完全な施策が必要です。そのためには企業経営者や職場の責任者の真の理解が必要です。現在の我が国の状況は、まだまだ真の理解がないからだと考えています。	70歳以上	男性
94	こども（乳幼児）施策で、一番に取り組んでいただきたいことは、「行政窓口の一本化」です。「学校法人」「社会福祉法人」で管轄が変わること、こども家庭庁が取り組んでいる新制度こども園に関する対応が幼稚園と保育所で大きく異なること、これが大きな障壁だと思います。でなければ、「こどもまんなか」なんて絵に描いた餅に過ぎません。	40代	男性
95	子ども手当の拡充	40代	男性
96	保育園を増やしていただくか、幼稚園に入れる3歳まで育児手当を延長してほしいです。	20代以下	女性

97	本来なら国がやるべきことですが、福岡は県が率先して子供達を守っていただきたい。	60代	男性
98	現在は発達障害を疑われる子供が増えています。そのような現状がありますが、現在の福岡市では、乳幼児の親が子供の発達を心配し療育を開始させたいと希望した際、実際に療育を開始できるまでに時間が数か月もかかったり、希望する児童発達支援施設に通えなかったり（選択肢が少なく自分で選択もできない）という現状があります。子供の発達促進と親自身の子育てを精神・身体的にサポートするという意味でも、乳幼児期の早期の療育はとても大切になってくるため、希望する親にはなるべく早期に療育につなげてあげられる環境や、児童発達支援施設そのものの増加を望みます。	60代	女性
99	そもそも少子化を止めなければこどもの取り組みが生かせないと思う。子育て環境の改善はもちろんだが、最近特に取りだたされる児童虐待をなくしたいので、子ども自身に命や年少者を大切にすることを育むために幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学等すべての教育機関で年少者と触れ合う機会を増やすと良いと思う。触れ合うことで年少者との接し方が分かり、きょうだいのいない子どももいままで経験したことのない感情が生まれ、大切にしようという意識が根付けられると思う。その経験や感情がいずれ子どもの接し方が分からない、虐待してしまう、ということを生ませないことにつながると思う。また、（可能ならば）子どもを授かりたいという考えになるのではないかなと思う。少子化対策にもなるし、健やかに子育てできる環境を築いていくことに繋がると思う。	40代	女性
100	具体的にどんなの取り組みをしているのか分からない。	30代	女性
101	こどもの最善の利益を第一に考える事は大切。だが当人や保護者がそれを当たり前だと感謝の気持ちもなく過度に要求する事があってはならないと思います。	40代	女性
102	保母さんの給与を上げるようにして欲しい。国家資格なのに、コンビニと同レベルの給与というのはどう考えてもおかしい。	60代	男性
103	人口減社会から子供を安心して産める社会にヨーロッパのうまくいった政策を参考に実行したらよい。	70歳以上	男性
104	1人親や働きにでている親も多いと思うので、親に代わって第三者がこのようにサポートしてくれるととても助かると思います。	30代	女性
105	ネグレクト対策の推進強化	20代以下	男性
106	子供や子育て世帯の方々に優しい福岡県であって欲しい	60代	女性

107	<p>子供施策に関しては国には全く期待していない。福岡の取り組みには、正直あやふやな面も否定できないが、何が効果的なのか分かりにくいことを思えば、手当たり次第に、あらゆる手段を講じてほしい。もうすぐ子育てを終えるシニアである私のような経験者を、利用してもらおう施策があってもおもしろいのでは？</p>	50代	男性
108	<p>こども真ん中というが、子どもに関する補助や助成金はすべて親の年収で決定しており、その時点でこどもが真ん中ではなく、親が真ん中である。大学の奨学金に関しても従来の規定から理系のみを幅を広げるなど偏った政策で、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し・・・という理念からかけはなれていると感じる。</p> <p>こどもファスト・トラックがあれば便利であるだろうが、従来も妊婦さんや小さな子供連れへの優先や授乳室、プレイルームの設置は行われているし、そもそも子ども連れで行く商業施設などはほとんどが子ども連れであるため、今さらにこどもファスト・トラックをしたところであまり意味がないように思う。こどもというと乳児から小学生までの取り組みに集中し、中高生への取り組みが少ないと感じる。ヤングケアラーや進学の問題等、中高生の育児に関する問題は深刻であり、より手厚い支援が必要ではなかろうか。ぜひ福岡県が全国を中心、先駆けとなりすべてのこどもが自分の将来、人生に希望をもてるように政策を考えていただきたい。</p>	40代	女性
109	<p>社会全体で子供は見守らなくてはいけない。身勝手な大人が多すぎる。</p>	40代	男性
110	<p>「こどもまんなか」であれば、まず「子どもは大人より下。まだ若僧なんだから言う通りにしなさい」みたいな風潮をなくしてほしい。</p> <p>学校でいえば、校則もそうだけど、「一人一人の個性に応じた」と言っておきながら、夏休みに全員同じ、意味があるのかなのか分からない大量の宿題が出される等。その宿題がちょうどいい子どもって、一体どれだけいる???</p> <p>コロナ禍で「子どもたちが楽しみにしていた運動会がなくなってかわいそう」みたいな意見があったけど、運動会が楽しくない子どももそこそこいる。運動会=楽しいは、大人の勝手な妄想かも。</p> <p>この辺りを改善したら、不登校も減ると思うけどなあ。</p>	50代	女性
111	<p>私は九州内の他県で育ちました。結婚し、子供が生まれ、福岡で暮らし感じた事は「福岡県民は子供に寛容」「福岡県の子供は自由で、のびのびしている」という事でした。福岡県は子供をのびのび育てるというベースは出来ていると感じています。あとはそれを雰囲気だけでなく、形としてどう残すのか、だと思えます。こどもファストトラック、いいと思います。</p>	30代	男性
112	<p>子供を取り巻く問題は多岐にわたります。学校の事や家庭のこと、病気や怪我、犯罪など。どこまでを子供として扱うのか、またどの範囲まで関わるのかなど具体的なルールや制度が必要だと感じる。</p>	30代	男性

113	<p>公共交通機関の優先席に座り、席を譲る気持ちがない方を多く見かけます。アナウンスによる声掛けはありますが、一度座ると優先席である事が分かりづらくなる事が多いので、声掛けしやすいようにより分かりやすい表記が必要かと思えます。また、高齢の方は見た目で分かりやすいのですが、妊娠中の方は分かりづらい事もあるので、マタニティマークのサイズをいくつかから選べる（大きいものも選択可）といいと思えます。</p> <p>また、1人目を出産後、保育施設や学校に預けながらだと親のどちらかは短時間勤務にせざるを得ない事も多いと思えます。給料が減った状態で2人目、3人目となると、育児休業給付金の金額が減る為、妊娠意欲低下に繋がると感じます。時短勤務前を基準にする等してもらえるといいと思えます。</p>	30代	男性
114	<p>予算が取られているのであれば、それが本当にこどものためになることに対し、費やして欲しい。</p>	30代	男性
115	<p>行政の施策は、後日必ず費用対効果と結果責任を検証できるようなものを行うべきと思えます。</p>	60代	男性
116	<p>子供を産み育てることが楽しいと思える社会にしていきたいです</p>	60代	男性
117	<p>こどもが健やかに育ち、社会に出て働くことの意義を、こどものうちからしっかりと教育する必要があります。日本の国、住んでいる地域に愛着や誇りが無いと、人は力を発揮できません。まずは、家族や先祖に感謝し、正しい歴史教育を行い、こどもたち（若者）自らが世の中をよくしていくという気持ちをいただくことが重要です。間違った歴史観を含め「現在の教育」を見直していただきたいです。（国政にも訴えていただきたいです。）</p>	50代	男性
118	<p>高齢化社会の現実において様々な課題は未来の子供たちが解決していかなければならない。そのことを念頭に今の大人たち(高齢者含む)がもっと就労意欲を高め、財政の余裕を作り子供たちが安心して住める街作りや教育の充実を図っていくことが必要だと思う。</p>	50代	女性
119	<p>子供対策は大事だが、設問に具体策がなく分かりづらい。</p>	40代	女性
120	<p>市町村で取り組み内容の差が大きい。福岡市は財政が大きく市長も積極的だが、他の市町村はどうか？。そもそも一方で「食育」と言いながら、学校給食さえ行っていない自治体もあることが疑問。</p> <p>こども施策でお金が配るだけならしない方がよいと思う。</p>	50代	男性
121	<p>時間はかかると思いますが、目に見えるよう、施設作りから始めるのがいいと思えます。</p>	40代	男性
122	<p>教育に関する予算は、とにかく少なすぎる。議員、公務員の給料、天下りへの補助金、視察への予算等々は大幅にカットしても良いので、その分回して欲しい。</p>	50代	男性

123	70代ですが、知り合いにも孫のいない人が多いです。ということは、子どもの世代で子育ての人が少ないということでしょう。自分のこととして考えられないのは社会にマイナスです。机上の空論では効果は見込めない。発信に触れるのが近道かと。	70歳以上	女性
124	趣旨には賛同するが、SNS を利用しないので参加できかねる。	60代	男性
125	具体的な施策がまったく見えません。	40代	男性
126	地道に薦めていく以外ないですが、まずは、子どもを生み育てやすい環境を整えて行く。家庭を育みやすい地域をそだてる。教育の場で、ひとりひとりが未来を期待しワクワクする環境を整えていきたいです。官民産学一体です。	60代	女性
127	全ての子どもに最善の利益というならば思い切った施策ではないといけません。目前にある高齢化社会を支えなければならない子どもたちです。すぐにでも投資をしなければならないと思います。豊かな教育や環境を整えてあげることが必要だと思います。	30代	女性
128	こどもまんなかの施策について国がやっている事例をいくつか目にしましたが、「これじゃない感」を覚えるものもあり、実際の子育て世帯のリアルな声や要望を拾えていないように思いました。また、中途半端な支援は子育て世代の中でも新たな分断・余計な分断も生みかねないため、年齢や属性等で制限を設けず平等に受けられる施策を進めてほしいです。	40代	女性
129	こどもまんなかを実現するには強制力が必要。いろんな機関が責任を押し付けてる現状を変えることを公共機関が示すべき。	60代	男性
130	困っている様子では声かけたいが 気になり親切心でも不審者扱いされそうで 些細なことでも、通報されたくないの 怪我した 命に関わる以外では極力関わりたくないのがあります。今の時代は難しい。	40代	女性
131	子育て支援は昔に比べたら充実して生きていると思うが上手く利用できていないような気がする。ベビーカーで動きやすい駅のマップや授乳マップもあると助かる	70歳以上	女性
132	こどもの最善の利益とはなんのでしょうか。「こどもまんなか」とはどういう意味なのでしょう。言葉だけ立派で内容がない気がします。こども家庭庁でなければできなかったことはどんなことなのでしょう。こどもの最善の利益というなら親の所得格差などによる教育の格差をなくすべきでしょうし、「こども食堂」など本来ならない方が良いものなのに国が関わろうとするのはどうしてでしょう。	60代	女性

133	現在2歳育児中ですが、こどもに対する補助などはありがたいが、公園などの整備がおろそかではないかと思うことが多い。幼児の背丈ほどの草が生えっぱなしで、近づくことも危ないと思うこともあり、虫も増える。タバコや缶のゴミが放置されていて（放置する人が悪いのは間違いないが）子どもが触ろうとしたり、口に入れたりするのではと思うこともある。子どもを連れて行く場所に困っているという話は聞くが、公園で頻繁に遊ばせている親が意外に少ない。夏は紫外線も熱射も強く、日陰になるものがない公園には行きづらい。	40代	女性
134	こども施策として、高校・大学の無償化を一刻も早く実現すべきだと考える。優秀なこどもが家庭環境の差で十分な教育を受けられない環境になりつつあるのが平等性に欠けると感じる。	40代	男性
135	子どもを育てている立場としてはどんどん発展してほしい。専属エレベーターもありがたく利用しています。	20代以下	女性
136	こども施策について、少子化対策として必要だとは思っているものの、例えば幼児保育無償化には収入制限がないのに、高校の学費補助には収入制限があるなど、ちぐはぐだと感じる。あまり今まで支援を受けられなかったのが残念。	50代	女性
137	こどもを持つと経済的な負担がとても大きいので、こども手当など様々な手当がありますが、夫婦共働きして世帯収入を増やしたが、高校の授業料の助成が今年からもらえなくなってしまった。子供の数で上限額を調整してもらいたい。1人っ子家庭と3人兄弟過程では負担が全く違うので。	40代	男性
138	未来を担う子供たちのための施策だとは感じられるが、子供のいない世帯にとってあまり身近に感じられず、現在の生活状況の中で苦にも感じる。介護は削り、子どもに力を入れるあからさまなバランスの差に疑問もある。	30代	女性
139	取り組み自体はとても良いことだと思うが、SNSなどで発信することによりそれができていないと自分がダメな親だと感じる人も出てきそうで怖い。SNSはリアルを発信するというより、どちらかと言うと、良い部分だけを切り取って発信する方が多いので。	30代	女性
140	私は、幅広く、子ども食堂の情報発信などをしております。	30代	男性
141	埼玉県？のこども虐待条例取り下げのニュースを聞いて、やはりと思った。こどもを大切にするという考え自体には大賛成だが、それはこどもを甘やかすこと、過保護にすることではない。チャイルド・ファーストとは大人が、社会が、こどもの将来的な幸せを考えて、こどもをじっくり育てていこうというコンセプトでなければならない。埼玉？のみならず、政府もこどものために税金をばらまいて、有権者の機嫌を取ろうとしているとしか思えない。他県の議会でも、高齢者の祝い金を廃止するかどうかの議論で、若手議員が「今からはチャイルド・ファーストの時代。お年寄りにお金を使っている場合ではない。」と言っているのをニュースで見た。世も末だと思った。現役世代は金が稼げるが、年寄りにはもう年金以外に生きる術がないのだ。そんな風潮が蔓延すれば、日本は	60代	女性

	どうなるのだろう、そうやって育ったこどもはどんな大人になるのだろうと背筋が寒くなる。		
142	問5-3の2と5。こう言うのって意味がないと思います。実際そこで働いてるわけじゃないし。企業の宣伝としか思えない。	50代	女性
143	いずれは子供食堂などをお手伝いしたいです	20代以下	女性
144	親子の人権を尊重し意見を聞いて、それを第一に考える。一方、公共を中心に展開する取り組みに不都合が起きぬよう進めることが大切です。	70歳以上	男性
145	子供をもつ親としての意見ですが、優先案内や専用レーンの設置は必要ないと思います。各種施設で子連れで並ばないといけない状況ということは、もともとそういう家庭が集まる場所であったり、そういうイベントなはずなので、なくてもいいです。もっと困っていることは他にたくさんあるので、この取り組みに人やお金を回すのは賛成できないので正直な気持ちです。 こういう取組を始める前に、実際に子育て中の当事者にアンケートを取る等行ってから、本当に必要な内容に対して対応していただくのが一番ありがたいです。	40代	女性
146	子育て経験は無いですが、学童のパートをしています。 そういう人は、どこまで権限があるのかが気になります。	60代	女性
147	今現在稼働している幼稚園や保育所、認定こども園、無認可保育園などすべて含めた専門において、賃金の処遇や、子どもたちの人数に対しての配置がまだまだきちんと整備されていないと、いろんなところで耳にします。関東のニュースでもこのことが取り上げられているのを直視しました。こどもの最善の利益を第一に考え、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組み「こどもまんなか」を推奨するのであれば、まずは専門施設の改善点の見直しが重要で、そこから枝分かれし、市町村の子育て支援センターなど、気軽に相談できる場所をつくり、いろんなところから広げていったらいいと思う。	40代	男性
148	これも知らなかった。今の若者達は子供を産みたいと思える経済状況、育児制度、世の中じゃないので、そこも改善してくれたらいいな	20代以下	女性
149	今まであまりにも興味、関心がなく、これから勉強します。	60代	男性
150	明石市のような取り組みができる財政希望	20代以下	女性
151	真に出生率増加させるには、子供手当は1人目から増加するべきだ。 3人目からとは…本気だと思えない。	50代	女性

152	SNS 見るだけで、発信することはできないが若者に伝わるという意味では良いと思う	50代	女性
153	多様性の時代でファストトラックも優先順位が昔の価値観と今の価値観では違うと思います。その価値観の差を少なくする取り組みも必要だと感じます。	40代	男性
154	子供と関わりのない高齢の方などにも、情報発信することで、子供ファーストトラックを利用しやすい空気感が、社会全体にできると嬉しいです。	30代	女性
155	多くの方がまだ実際に行っていないと思う。まだ他人事この妊婦の方をファーストに考えた動きは企業サイドがどんどん取り組むべき	20代以下	男性
156	こども施策は必要だが、実際効果があるのかよく検証して取り組んで欲しいと思う。	40代	男性
157	少子化の問題があると思いますがその前に子供が出産して安心して働ける環境作りをして欲しいと思います。	60代	女性
158	具体的な施策、取り組みが分からない。本当に子どものためになる取り組みをお願いしたいです。	40代	女性
159	今の子供たちの取り巻く環境は、とてもストレスの多いものである。心のケアをもっと進めないといけないのでは？私達年寄りよりももっと若者に目を向けるべきではないか。ストレスによる薬依存で緊急入院したという若者の情報を聞くと、アメリカにこんなところで近づいてきたなと思う。カウンセラーや電話相談員は不足していると思う。	60代	女性
160	sns の発信は様々な人に見てもらえるが、一方で子供を使ってバズり目的に使われそうとも思うのでどちらとも言えない	20代以下	男性
161	政治家が心の底から「こどもまんなか」と思わない限り(現時点では到底難しいことだと思うが)、SNS 等で発信してもあまり効果はないと思う。	30代	男性
162	子供時代の経験には、大人になった時、これから先の自分が、自身の力となるものを沢山習得する時間です。まわりの大人から与えるサポートではなくて、子供たち自身が成長する為に、自ら発見し、体験していく事、嬉しい思いも悔しい思いも、我慢する事も、時には立ち向かう勇氣など、強い心と体を築くことや自立心を養う事が大切だと思います。 大人になった時のいろんな荒波をどう対処してゆけるかの術を習得する基礎訓練として、サポート内容を今一度見直して欲しいと考えております。	50代	女性
163	高齢者が多くなっている現在、将来の働き手を大切にしていくことは国をとまず一番重要なことであると思います。	60代	男性

164	<p>少子高齢化が進む中で、これからも未来を考えれば子供を大切にすることは非常に重要なことではありますが、福岡県青少年団体連絡協議会や青少年育成県民会議が長年にわたり取り組んできた活動にもっと光を当て、子供（親になっていない大人）が子供を育てている状況の中で、親に対する教育の重要性にも取り組んでもらいたい。例えば、亀井県政で行われていた、「福岡県青年の船」や「福岡県少年の船」などのこれから親になっていく世代への施策が今、再び必要になっているのではないかと懸念している。掛け声だけではなくて。</p>	70歳以上	男性
165	<p>はじめて聞く言葉だったので、＃こどもまんなかやってみたをXで検索してみました。主に自治体や事業施設が発信していました。個人の利用はほとんどありませんでしたので、個人の周知はあまりないのかなと思いました。自分も子育て世代なので子どもと遊べるイベントや事業に興味があり、自治体のLINEなどで情報を確認しているので、便利かなとは思いました。ただ、全国からの情報になるので振るいわけが大変そう。結局いつも通りの検索になりそうなので、もっと利用しやすい方法があればなと思いました。</p>	40代	女性
166	<p>児童虐待の事件が全国的に多発している。何人犠牲になればいいのか？児相の対応を検証して何をどう生かしているのか。耳障りのよい情報ばかり発信しても意味はない。子を持つ親として犠牲者を出さない強気の対策を求めます。</p>	40代	男性
167	<p>どんどん広めて欲しい。</p>	40代	女性
168	<p>なぜ子供が真ん中で、老人は外なのか理解できない。</p>	40代	女性
169	<p>これまで数々の施策が実施されていると思います。その施策後の効果がどうであったかの検証結果を公表することで、一般からの意見やアイデアがたくさん集まると思います。</p>	60代	男性
170	<p>若い世代はSNSでの情報は多いかもしれないが、私のようにあまり自分から発信しない人も多いと思った！それよりも福岡全体として子供の保育園問題や、学校の無償化など足並みを揃えてほしい。福岡市はやっていて小郡はやっていないとか本当に残念。</p>	30代	その他

<食育・地産地消の推進について>

【調査の目的】

県では、食の重要性や農林水産業の果たす役割と意義などについて理解を深める「食育」(※1)や、県内の豊かな農林水産物を県民の皆さんに食べていただく「地産地消」(※2)を県民運動として展開しています。食育や地産地消に関する皆さんの御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

※1 食育とは

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

※2 地産地消とは

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。

<1> 「食育」は、どのような点で重要だと考えますか。

(n=366 選択は3つまで 回答件数=1,047件)

子どもの心身の健全な発育に必要	65.3%	239名
食生活の改善につながる	44.8%	164名
生活習慣病(がん、糖尿病等)、肥満ややせすぎの予防につながる	41.8%	153名
食育を通して、自然の恩恵や食に対する感謝の気持ちを持つことができる	35.8%	131名
食品の安全・安心を確保するために重要	29.8%	109名
大量の食べ残しなど食品廃棄の問題の解消につながる	27.9%	102名
地域の食文化を守るために重要	23.2%	85名
消費者と生産者間の交流の機会や、信頼関係の構築が期待できる	10.9%	40名
有機農業など自然環境と調和した食料生産の発展につながる	6.0%	22名
その他(具体的に)	0.5%	2名
食育に関心がないのでわからない	0%	0名

[その他(抜粋)]

・食料の安全保障の観点から、国内産食料の安定供給を図る必要があり、地産地消の理解を推進する必要がある。そうした食育の推進をしっかりと進めていく必要があると考える。

<2> 「地産地消」は、どのような点で重要だと考えますか。

(n=366 選択は2つまで 回答件数=706)

身近な場所から、新鮮で、より安価な農産物を得ることができる	72.1%	264名
生産者の情報が分かり、安心感が得られる	26.8%	98名
輸送距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる	25.4%	93名
地域の食材を活用した伝統的な食文化の継承につながる	24.9%	91名
流通経費が削減され、生産者の収入増が期待できる	24.0%	88名

地域の消費者のニーズをとらえた効率的な生産、品質改善、サービスの向上が期待できる	18.6%	68名
その他	0.8%	3名
地産地消に関心がないのでわからない	0.3%	1名

[その他（抜粋）]

- ・地元のモノを食す事が身体に一番良いと考えていますし地元の食料自給率をあげる事は県民の生活を守ることであり更に地域の発展にも繋がると考えるからです。

< 3 > 農林水産物を購入する際に価格以外で重視することは何ですか。

(n=366 選択は2つまで 回答件数=685)

新鮮であること	78.1%	286名
国産であること	61.7%	226名
地元産、福岡県産であること	27.9%	102名
環境に配慮したものであること	9.8%	36名
銘柄（例：「夢つくし」、「はかた一番どり」など）	7.7%	28名
その他	1.9%	7名

[その他（抜粋）]

- ・有機やオーガニックを取り入れている。安心安全な食品への取り組みが見えること（商品説明やSNSの発信等）。
- ・自分がちゃんと大切においしく食べられるか

< 4 > どのような環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいきますか。

(n=366 選択は3つまで 回答件数=841)

国産のもの	77.6%	284名
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量のもの	48.9%	179名
近隣の地域で生産・加工されたもの	47.3%	173名
過剰包装でないもの	28.1%	103名
環境に配慮していることに関する表示（有機JAS、ふくおかエコ農産物等）のあるもの	24.9%	91名
環境に配慮した農林水産物・食品をあまり選ばない、まったく選んでいない	1.6%	6名
その他	1.4%	5名

[その他（抜粋）]

- ・冷凍しても保存できる農林水産物・食品を中心に考える。

< 4-2 > (< 4 >で「環境に配慮した農林水産物・食品をあまり選ばない、まったく選んでいない」を選択された方にお尋ねします。)環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいない理由は何ですか。

(n=6 選択は2つまで 回答件数=8)

価格が高い	83.3%	5名
興味・関心がない	50.0%	3名
本当に環境に配慮した農林水産物・食品かわからない	0%	0名
どれが環境に配慮した農林水産物・食品か判断する情報がない	0%	0名
身近に環境に配慮した農林水産物・食品を購入する場所がない	0%	0名
その他	0%	0名

<5>どのような農林漁業体験をしたことがありますか。

(n=366 複数選択 回答件数=716)

実家、親戚、知人の農作業の手伝い	46.7%	171名
学校での農業体験学習	41.8%	153名
観光農園での収穫体験等	41.5%	152名
行政や地域が行う農林業体験イベント	24.3%	89名
市民農園や体験農園での農作業	17.2%	63名
体験をしたことがない	16.7%	61名
農家民宿での宿泊による体験	4.4%	16名
その他	3.0%	11名

[その他 (抜粋)]

- ・職場内で企画した地引網体験
- ・アルバイトで八女市立花町にてキウイやミカンの栽培・収穫を行なった
- ・レンタル菜園で野菜作り

<6>県が実施している食育・地産地消の取組みについて、知っているものはありますか。

(n=366 複数回答 回答件数=586)

いずれも知らない	54.1%	198名
「ふくおか地産地消応援の店」認定制度	22.7%	83名
食育・地産地消月間	16.7%	61名
「ふくおか地産地消応援ファミリー」登録制度	15.6%	57名
ふくおかエコ農産物	15.0%	55名
福岡県ワンヘルス認証制度	13.1%	48名
ホームページ「いただきます！福岡の美味しい幸せ」での情報発信	9.0%	33名
ふくおか農林漁業応援団体	7.9%	29名
InstagramなどSNSでの「いただきます！福岡の美味しい幸せ！」での情報発信	6.0%	22名

<7>食育・地産地消の推進について、これまでの設問以外に意見がありますか。(n=114 抜粋)

- ・この政策について何も知らなかった。食育には興味があるので今後はもっと情報を得ていきたいと思うので、情報発信を積極的に行って欲しい。
- ・地産地消をすることが、福岡県民にとってなぜ良いのか、メリットがあるのか、といった点を強く発信 (SNS, TV, 県民だより、スーパーなどで) して頂ければと思います。
- ・私が通勤で利用している駅では、隔週金曜日に野菜や惣菜の販売をしています。駅はどんどん食育の場として利用して欲しいです。
- ・福岡の取り組みやイベントを手軽に知りたい。こちらからアクションしなければ得られない方法だけでなく、地下鉄掲示板など公共の場で掲示してほしい。
- ・とにかく食品の値上がりが激しく、家計を圧迫している。地元産の野菜は輸送費が抑えられるので、多少は安価に購入できると思うが、色や形の悪い物や不揃いの物などがもっと流通してくれると助かる。今まで廃棄していたような野菜でも、包装などしなくていいから安価で売ってほしい。
- ・学校の課外活動に農業体験・販売体験を増やす。生産・流通・販売と一連の流れを知ることで安心して食べることの大切さを身につける。
- ・物流・運送業界の2024年問題によりドライバーの時間外労働時間が制限されるため、地産地消の取り組みは環境面の配慮だけでなく、社会の物流問題そのものを考えていく上で必要な取り組みだと思う。



買って応援！ 食べて応援 ふくおか農林漁業応援団

福岡県産の美味しい農林水産物を愛用して、福岡の農林水産業をもっと応援しよう！という取組です。

ふくおか地産地消応援ファミリー

県産の農林水産物を積極的に購入して、福岡の農林水産業を応援するご家庭です。
応援ファミリーを対象に、野菜・果物の植付けや収穫、椎茸の駒打ち等の林業、酪農、漁業等を実際に体験する「ふくおか農林漁業体験ツアー」を実施しています。

《体験ツアー参加者の声》

- ・現地を訪れて、生産者の顔を見ることによって、より農産物への愛着と安心を感じ、地産地消の大切さを実感しました。
- ・田植えをしたことがなかったので、本当にいい体験でした。子どもがごはんを残したときにこの体験のことを話したら、きっと残さなくなると思います。

登録は
こちら！



柿の収穫体験



調理体験



海苔の手すき体験

ふくおか地産地消応援の店

年間を通じて、県産の農林水産物を使用する飲食店、惣菜店等です。

HPで
検索！



ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる取組や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業・団体です。



詳しくは

福岡の美味しい幸せ

検索

<http://f-ouen.com>

SNSでも
情報発信中！



お問合せ先：福岡県農林水産部食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575

令和5年度県政モニターアンケート調査

テーマ:労働委員会について

労働委員会事務局調整課

1 調査の目的

福岡県労働委員会は、労働組合と使用者（雇用主）間の紛争を円満に解決するため、労働組合法に基づき設置された行政機関です。具体的には、労働組合、使用者のそれぞれの主張を聴取して、歩み寄りを促す「あっせん」、労働者の団結権が使用者が侵害する行為（不当労働行為）があった場合に、これを排除し、公正な労使関係を形成する「不当労働行為の救済」等を行っています。

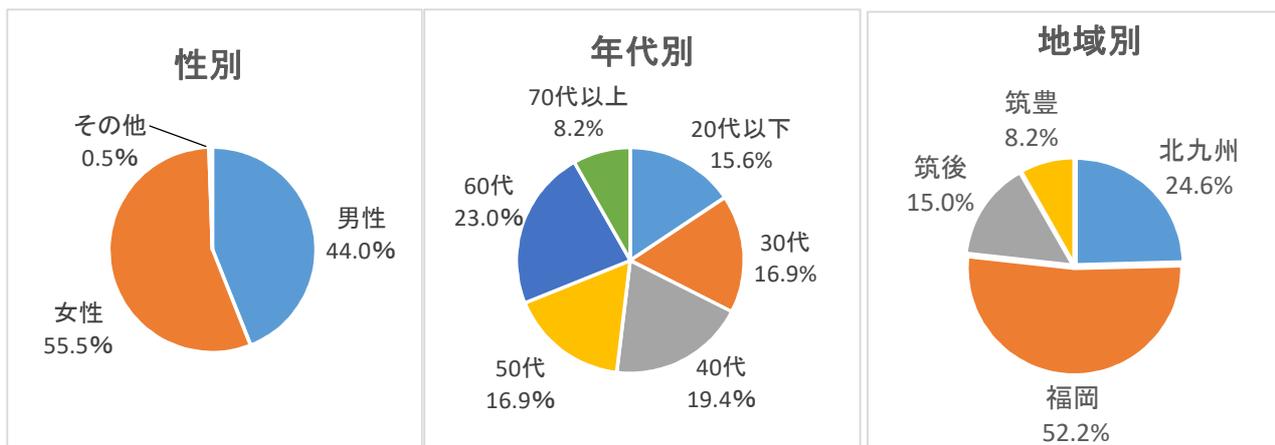
今回の調査は、労働委員会が県民の皆さんに広く知られ、必要となったときに利用しやすい機関となるよう、皆さんの御意見をお聴かせいただき、効果的な広報活動、利用しやすい手続きの検討を図るための参考とさせていただきます。実施するものです。

2 調査期間

令和5年10月17日(火)から11月9日(木)まで

3 回答者の構成

回答者数:366名

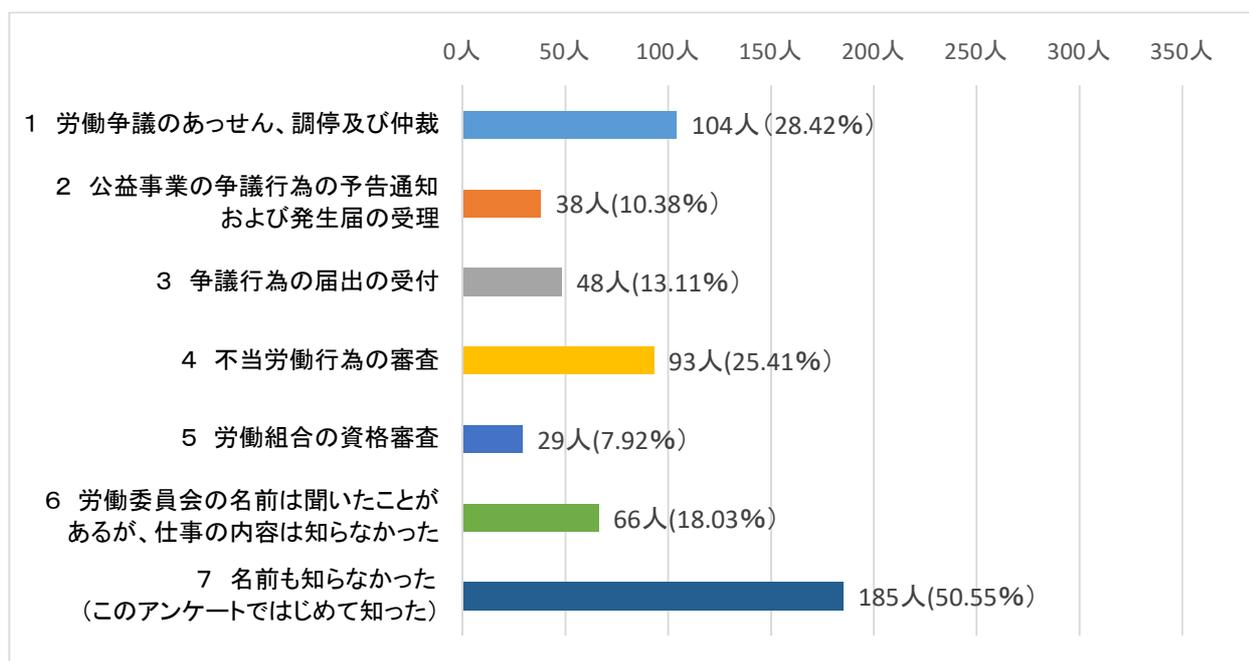


4 回答結果

【問1】労働委員会が次の業務を行っていることを知っていますか。次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数366名複数回答)

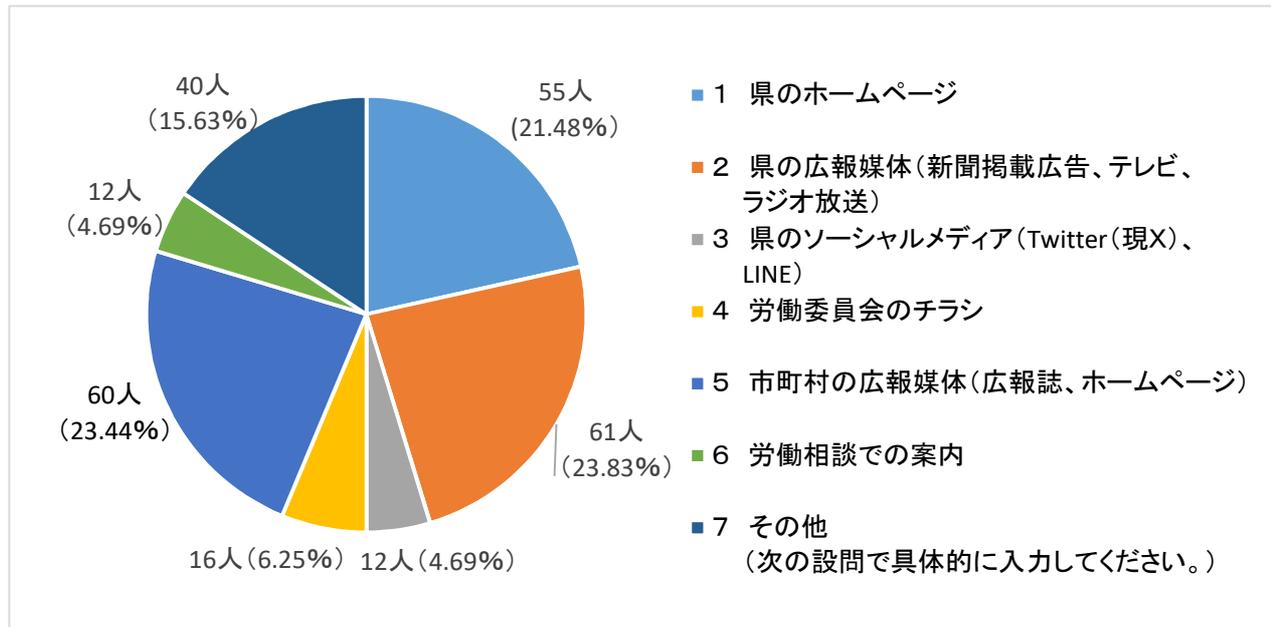
1 労働争議のあっせん、調停及び仲裁	104人	28.42%
2 公益事業の争議行為の予告通知および発生届の受理	38人	10.38%
3 争議行為の届出の受付	48人	13.11%
4 不当労働行為の審査	93人	25.41%
5 労働組合の資格審査	29人	7.92%
6 労働委員会の名前は聞いたことがあるが、仕事の内容は知らなかった。	66人	18.03%
7 名前も知らなかった(このアンケートではじめて知った)	185人	50.55%



【問1-2】(問1で、1～6を選択した方にお聞きします。)どのようにして労働委員会の名前、仕事をお知りになりましたか。当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答者数181名複数回答、回答数256)

1 県のホームページ	55人	21.48%
2 県の広報媒体(新聞掲載広告、テレビ、ラジオ放送)	61人	23.83%
3 県のソーシャルメディア(Twitter(現X)、LINE)	12人	4.69%
4 労働委員会のチラシ	16人	6.25%
5 市町村の広報媒体(広報誌、ホームページ)	60人	23.44%
6 労働相談での案内	12人	4.69%
7 その他(次の設問で具体的に入力してください。)	40人	15.63%



【問1-2-2】問1-2で「7」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

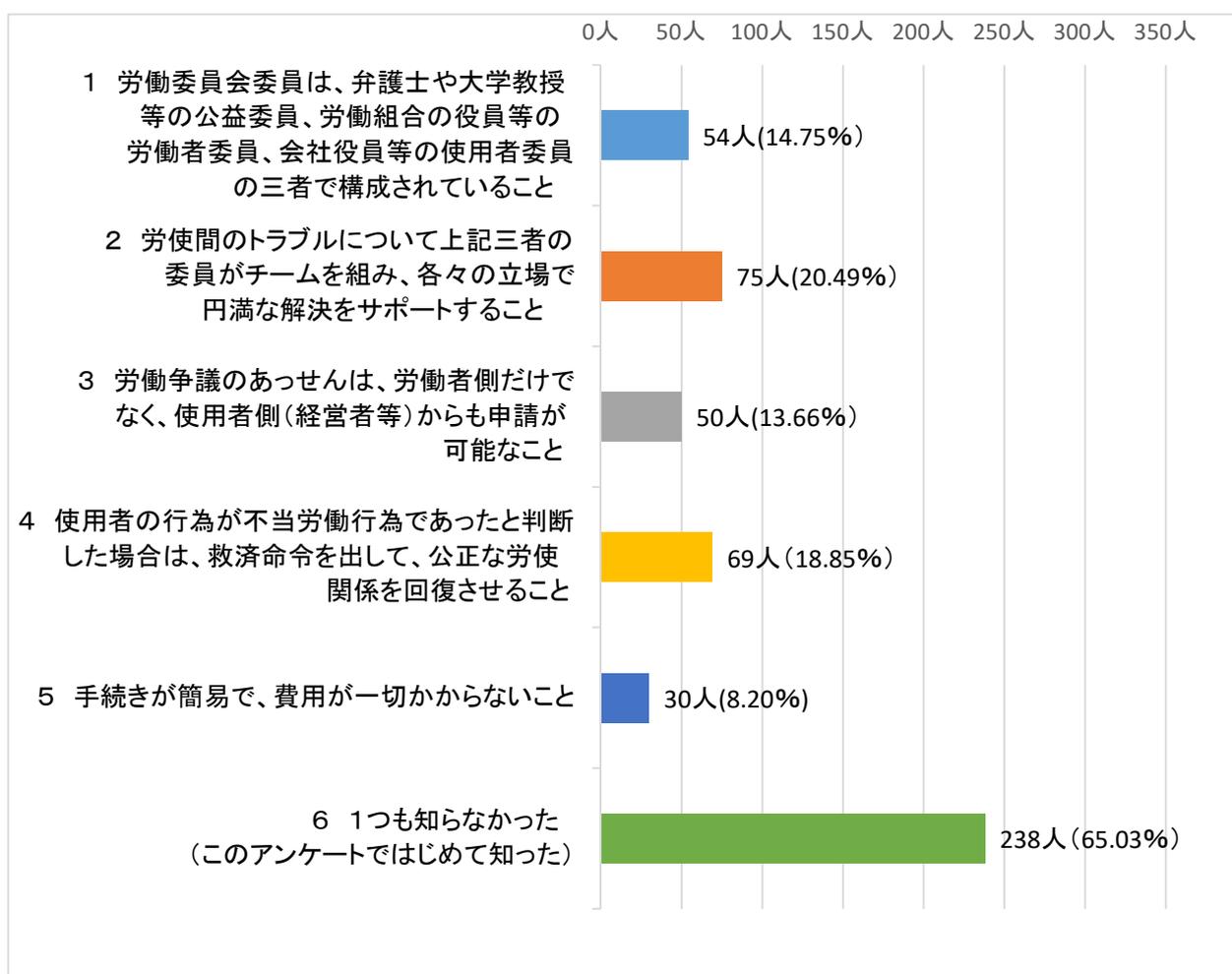
一部抜粋(回答数39)

- ・組合活動を通じて
- ・人事労務関係の仕事を通じて
- ・学校の授業、独学で労働問題を勉強して
- ・インターネット、新聞、ニュースなどのテレビから
- ・家族や知人から教えられた

【問2】労働委員会の業務には以下の特色がありますが、次の中からあなたが知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数366名複数回答)

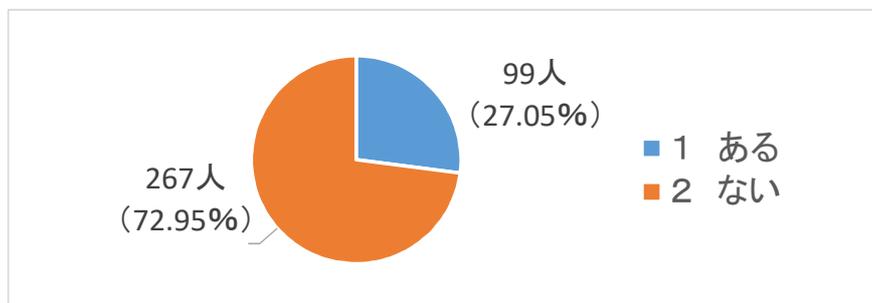
1 労働委員会委員は、弁護士や大学教授等の公益委員、労働組合の役員等の労働者委員、会社役員等の使用者委員の三者で構成されていること	54人	14.75%
2 労使間のトラブルについて上記三者の委員がチームを組み、各々の立場で円満な解決をサポートすること	75人	20.49%
3 労働争議のあっせんは、労働者側だけでなく、使用者側(経営者等)からも申請が可能なこと	50人	13.66%
4 使用者の行為が不当労働行為であったと判断した場合は、救済命令を出して、公正な労使関係を回復させること	69人	18.85%
5 手続きが簡易で、費用が一切かからないこと	30人	8.20%
6 一つも知らなかった(このアンケートではじめて知った)	238人	65.03%



【問3】これまでに、あなたや御家族、知人等において、労使間のトラブルが発生したことがありますか。どちらか【1つを】選んでください。

(回答者数366名)

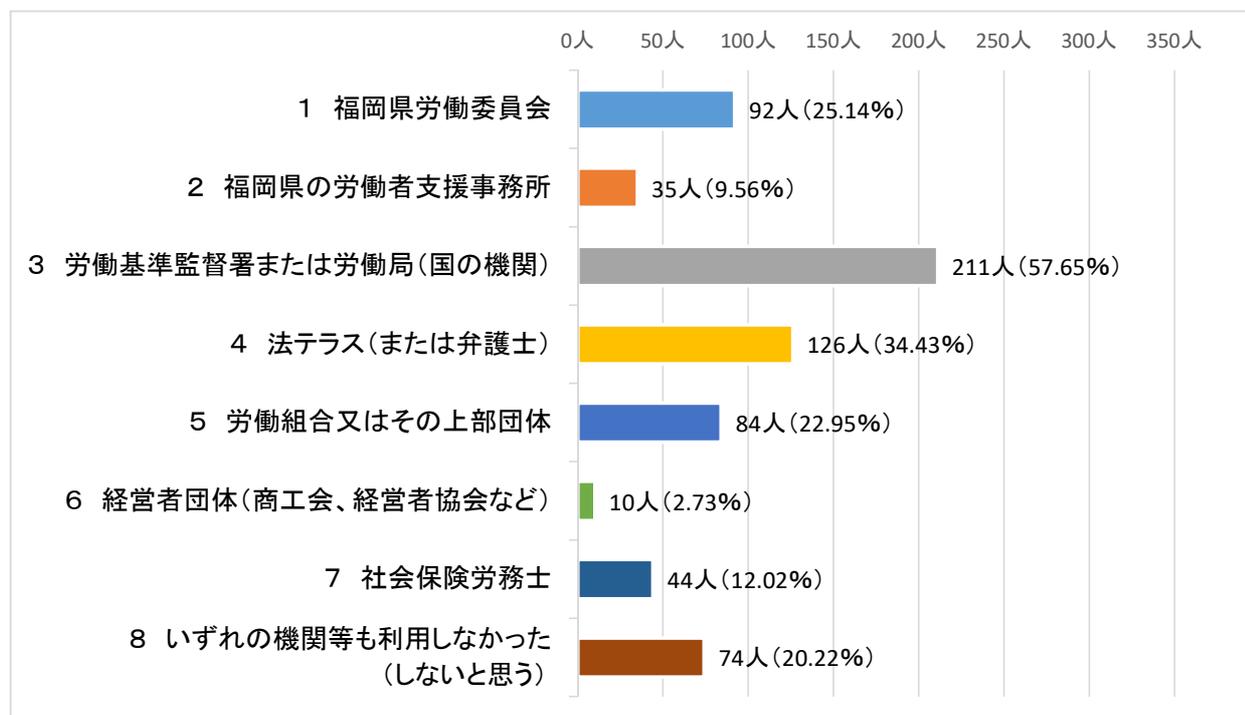
1 ある	99人	27.05%
2 ない	267人	72.95%



【問4】労使間のトラブルが発生した場合、以下の相談機関等がありますが、どこに相談しましたか。また、しようと思いますか。考えるもの【全てを】選んでください。

(回答者数366名複数回答)

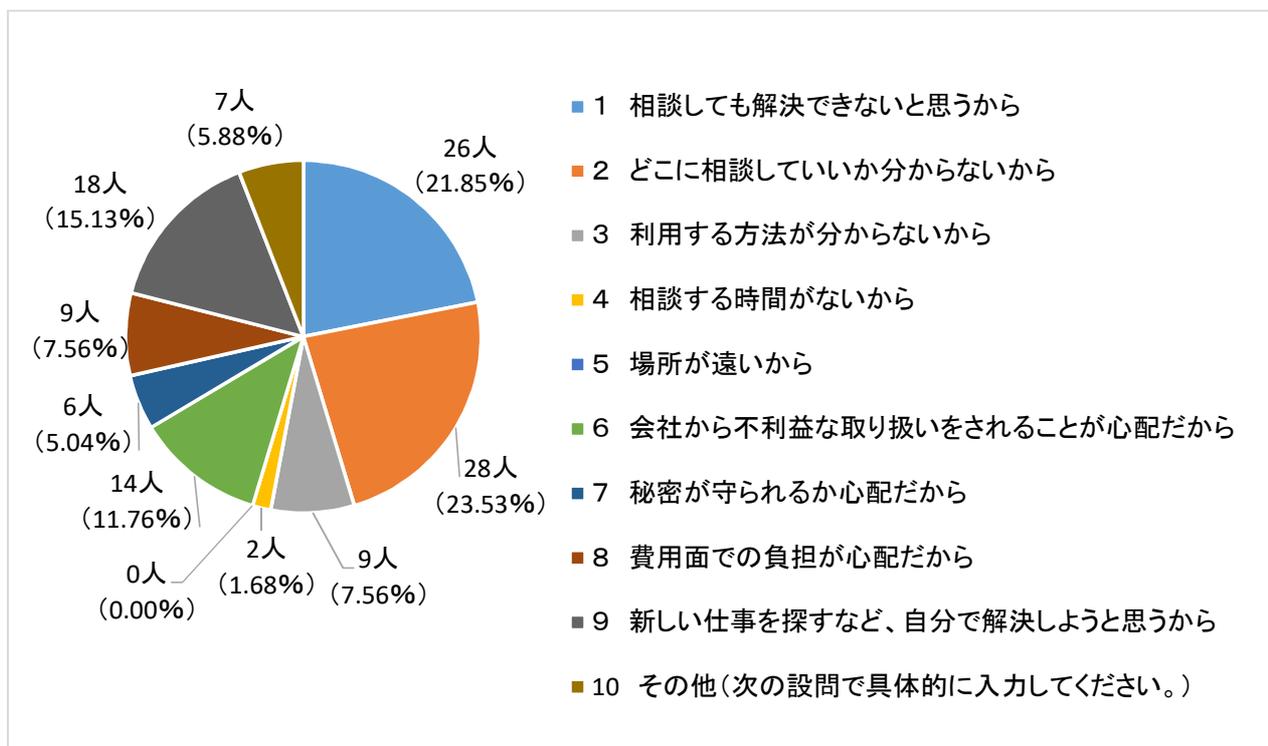
1 福岡県労働委員会	92人	25.14%
2 福岡県の労働者支援事務所	35人	9.56%
3 労働基準監督署または労働局(国の機関)	211人	57.65%
4 法テラス(または弁護士)	126人	34.43%
5 労働組合又はその上部団体	84人	22.95%
6 経営者団体(商工会、経営者協会など)	10人	2.73%
7 社会保険労務士	44人	12.02%
8 いずれの機関等も利用しなかった(しないと思う)	74人	20.22%



【問4-2】(問4で、「8」を選択された方にお尋ねします。)利用しなかった(しないと思う)理由は何ですか。当てはまるものを【2つまで】選んでください。

(回答者数74名複数回答、回答数119)

1 相談しても解決できないと思うから	26人	21.85%
2 どこに相談していいか分からないから	28人	23.53%
3 利用する方法が分からないから	9人	7.56%
4 相談する時間がないから	2人	1.68%
5 場所が遠いから	0人	0.00%
6 会社から不利益な取り扱いをされることが心配だから	14人	11.76%
7 秘密が守られるか心配だから	6人	5.04%
8 費用面での負担が心配だから	9人	7.56%
9 新しい仕事を探すなど、自分で解決しようと思うから	18人	15.13%
10 その他(次の設問で具体的に入力してください。)	7人	5.88%



【問4-2-2】問4-2で「10」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

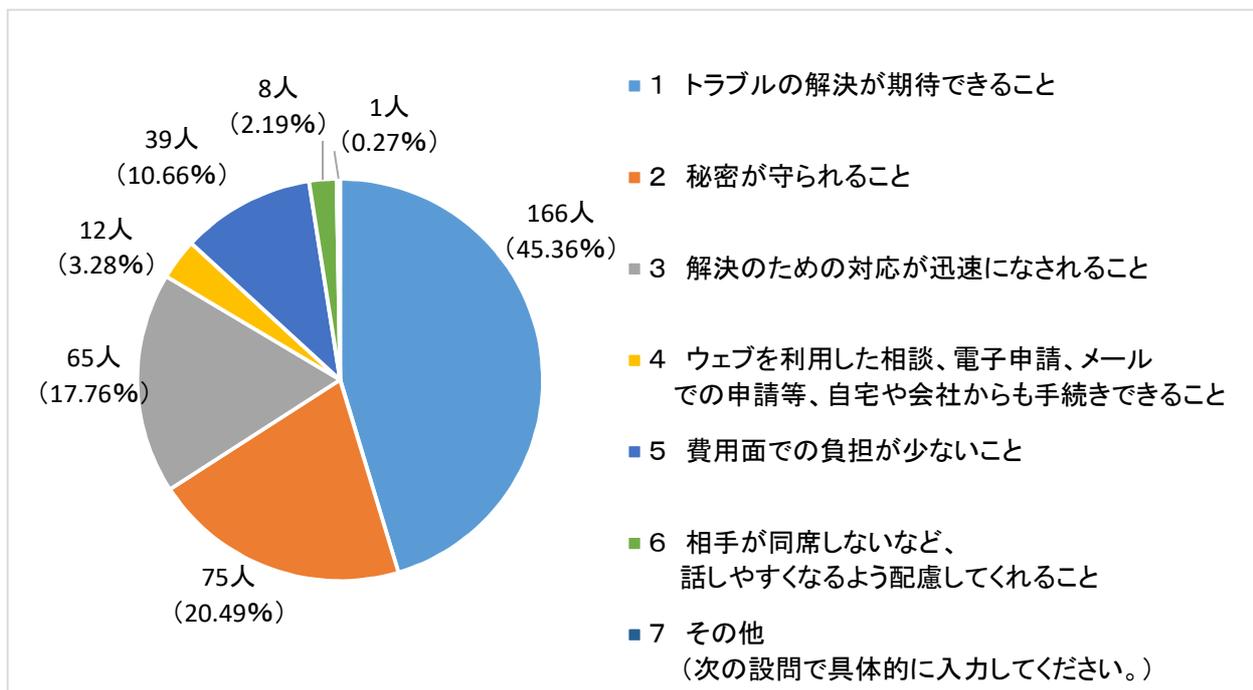
一部抜粋(回答数7)

- ・仲間内で相談していた
- ・社内に相談窓口があり、そちらで解決してもらったから
- ・以前行政機関に相談したとき、他人事のように対応されたことがあり、しっかりと対応してくれないと思うから
- ・トラブルの経験がないため、分からない

【問5】労使間のトラブルを解決するために相談機関等を利用する場合、最も重視することを【1つだけ】選んでください。

(回答者数366名)

1	トラブルの解決が期待できること	166人	45.36%
2	秘密が守られること	75人	20.49%
3	解決のための対応が迅速になされること	65人	17.76%
4	ウェブを利用した相談、電子申請、メールでの申請等、自宅や会社からも手続きできること	12人	3.28%
5	費用面での負担が少ないこと	39人	10.66%
6	相手が同席しないなど、話しやすくなるよう配慮してくれること	8人	2.19%
7	その他(次の設問で具体的に入力してください。)	1人	0.27%



【問5-2】問5で「7」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

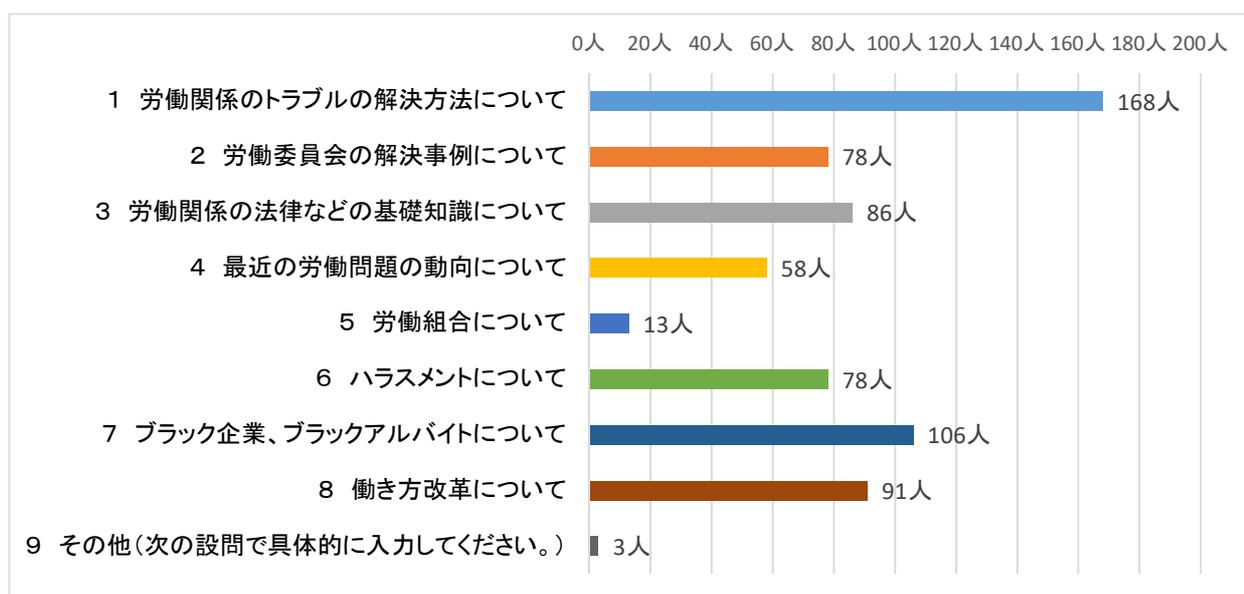
(回答者数1名)

・自分のこととして、親身になって土日早朝夜間関係なく親身に対応してくれること。

【問6】労働関係について、興味があるテーマを【2つまで】選んでください。(2個まで選択可能)

(回答者数366名複数回答)

1 労働関係のトラブルの解決方法について	168人
2 労働委員会の解決事例について	78人
3 労働関係の法律などの基礎知識について	86人
4 最近の労働問題の動向について	58人
5 労働組合について	13人
6 ハラスメントについて	78人
7 ブラック企業、ブラックアルバイトについて	106人
8 働き方改革について	91人
9 その他(次の設問で具体的に入力してください。)	3人



【問6-2】問6で「9」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

一部抜粋(回答数3)

<ul style="list-style-type: none"> ・過労死問題への取り組みと現状について。 ・サービス残業の実態と解決方法について

【問7】労働委員会の業務全般について、これまでの設問以外に何か意見がありましたら記載してください。

一部抜粋(回答数97)

- ・今回のアンケートを機に社会人としてある程度詳しく知っておくべき内容だと改めて考えさせられた。学生のうちから労働委員会について知る機会があると就職してから役に立つのではないかと思った。
- ・こういう身近な相談を無料でできるなら、ぜひ利用したい。その際は丁寧に対応してもらいたい。
- ・どうすればもっと活用しやすいのか意見を聞いてもいいと思う。
- ・労働者側は、自分が働いている場所でトラブルが起きると、辞めれば終わりという泣き寝入りになりかねないので、第三者の機関があるととても助かると思う。労働者と使用者、双方のために必要な機関だと思う。労働基準監督署などでは大事になり過ぎるように感じるので、双方が歩み寄れる形で解決に導いていただける県の機関があることは心強いと思う。
- ・以前は、トラブルがあっても労働組合が関与してそれなりに解決していたと思う。しかし現代では問題も広範囲かつ多様化しており、このような機関がある事は広く認知され活用されるべきだと思う。
- ・大企業など、相談窓口の周知等ある会社はよいが、小さい事業所等では解決しにくい案件があると思う。是非活用していただきたい。
- ・このような委員会があるのを知らなかった。県民だより、ホームページ、SNS、パンフレット等あらゆる広報媒体を使い、身近に相談できる情報発信が必要だと思う。特にテレビで紹介して欲しい。
- ・労働委員会の人たちが困っている人を助けるための存在価値を見出せているのか、毎月問題解決件数を公表し、解決事例をもっとPRした方がよいと思う。
- ・労働基準監督署との違いがよく分からない。役割の違いを周知するべきだと思う。
- ・労使間のトラブルが発生した時に何処に相談に行けば良いか。ハッキリ手順を示してほしいと思う。
- ・調整や審査の手続きが複雑で、時間もかかるかと思うので、これらを簡素化や迅速化し、アルバイトやパートといった立場が弱い労働者が相談しやすい機関にしてほしい。
- ・守秘義務はどこまであるのか。小さい会社から個人が相談した場合、特定されたりしないか不安がある。
- ・一般的に労働者は弱い立場であることが多いと思うが、公正中立の立場で紛争解決を進めて欲しい。
- ・こういう分野も、AIで対応出来るように、ネット処理に費用をかけて欲しい。9割以上は、AI判断させて、残りを人が判断する等。
- ・労働争議のあっせんは、力が弱く、相手が応じない又は拒否する、争議を認めないことが多くて、意味がない。
- ・かつて相談を受けた折には労働基準監督署を勧めたけれど、ここ何年か効果的な活動を聞いたことがない。県に窓口があるのは労働者の後押しになると思う。複雑化しているので、相談の敷居は低くあるべき。
- ・最近、労働者側の組織が、弱体化しているので、第三者の適切な方で迅速に解決してほしい。
- ・労使においてトラブルはつきもの。考え方を同じにすることはできないが、歩み寄ることはできると思う。
- ・相談できるところが複雑なので、国、県、市などの機関をまとめて一つにした方が経費削減にもなり効率もよくなり利用しやすいと思う。またデジタル化も進んでいるので、ネット等を活用し気軽に相談できる体制に力を入れて欲しい。
- ・何が会社として違反にあたるかわからないので相談しづらい。
- ・中々相談するには勇気がいるので泣き寝入りすることが多い。相談しやすい工夫はないだろうかと思う。
- ・弁護士に依頼したほうがよいと思う。
- ・以前、会社とのトラブルを労働基準監督署に電話で相談したことがあったが、福岡県労働委員会の案内などは一切なかった。
- ・公務員の労働トラブルも対応してもらいたい。門前払いではなく、適当な機関につなぐ等だけでもしてもらえたらと思う。
- ・土日や夜間等に相談できる機会がほしい。
- ・業務が多過ぎて回って無いなどのことが無い様に、人員配置、予算は付けて欲しい。
- ・労働問題は、極めて大切な分野だと感じている。働き方改革や生産性の向上など、今後の方向を意識しながら、活動を進めていかないと、日本の発展につながらない。そこに使用者と労働者、双方の立場で参加できるように、行政や労働委員会の方が取り組んで頂きたいと思う。
- ・労働問題は、結局相談しても、解決してくれない機関が多く期待できないように思う。相談せず辞めていく人も多いと思う。

- ・特に中小企業の労働環境は改善されていない。中小企業あつての日本、また大企業であるため積極的な対策をお願いしたい。
- ・求人内容と労働内容が全く違う企業についての処罰的な対応をしてほしい。会社に入ってみると仕事内容が全く違うなどザラがあるので困る。(求人内容や面接ではその案内がないことが多い。)
- ・ブラック企業、パワハラ、サービス残業、たくさん存在していると思う。従業員が共通して持つトラブルの解決を推進して欲しい。
- ・ハラスメントとのことで匿名告発など見られるが、真実を調査するのは難しい。結局はコミュニケーション不足で意識のずれ違いが原因のケースが多いように感じる。
- ・最近の働く人が短期で辞めていくということは、労働環境を変えようとか使用者に訴えることをしていない、できていないということだと思う。もっと相談しやすい窓口をしていただきたい。
- ・経営に携わっているが、労働者は過剰に守られていて、経営側は無防備。一部大手企業やブラック企業の基準を全てに押し付けられるのは困る。
- ・働きやすい会社に勤められるという安心感があれば、プライベートではもっとチャレンジングなことができるように思う。また、相談後も会社と円満な関係が継続していくようフォローしてもらう必要がある。
- ・労働に関して気軽に匿名で質問回答ができる仕組みがあると利用してみたい。
- ・以前は労働組合の活動が活発だったが、最近は労働状況が落ち着いているのか活動が縮小しているようだ。
- ・最近はフリーランスと呼ばれる職業が増え、それゆえの労働者が泣き寝入りをする事案が増えていると聞く。若い人が労働者としての権利をきちんと実行できるように支援していく体制が必要だと思う。
- ・働き方改革はおおいに取り組み、教職員の負担を減らすべき。県の組織なら、足元の課題からなんとかしてほしい。
- ・派遣労働は、企業が安い賃金で労働力を獲得する手段として使われている。正社員と同じような労働環境と賃金でないと、多くの労働者の生活は改善できない。
- ・労働問題に関しては、違法労働条件の会社に勤めていても「これが当たり前だ」といった錯覚に陥りがちだと思う。「その働き方は、違法労働させられてるんですよ」、といった事例を多く周知していくべき。
- ・雇用主が昨今の状況を知り、労働環境が適正であるか分かるような指導を受ける機会を与えて欲しい。最低賃金が上がるタイミング時や定期的に事業主あてに文書等で知らせ、労働者が働きやすい環境をつくって欲しい。
- ・労働関係のトラブルは、どうしても使用者側が強く、労働者は生活があるため泣き寝入りするしかない。もし第三者等に相談して解決したとしても、トラブルがあった事実は消えず、その会社に籍を置く限り使用者やトラブルの相手との良好な関係を築くことは難しいのではないかと。トラブルが発生し相談を受けた際は使用者への厳しい罰則(実名公表での報道等)が無いと、繰り返される可能性の方が高い。
- ・福岡県は最低賃金もまだまだ低いと思われる。シニアの再雇用などはとても厳しい。
- ・労働問題を抱えて社員が声を上げることができない会社は多々あると思うので、抜き打ちでの訪問や社員へのヒアリングを行うべき。
- ・労働委員会については、まだまだ一般市民との距離を感じている。身近に相談できる情報発信が必要だと思う。
- ・何かあったときに辞める、が最善の解決だと思う。
- ・労働委員会はよく知らないが、労働者が困ったら助ける機関が必要だ。
- ・仕事をしているときに相談したかった。
- ・年配者でも理解ができるような、説明や啓蒙をして頂きたい。
- ・一般的に労働者の声が届くのか?という懸念がある。
- ・労働環境の改善手段になる可能性を強く感じる。世間にその存在をより広く認知してもらい、有意義な労使関係を構築する手助けをしてほしい。

令和5年度第5回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	363		93	188	54	28
	構成比		100.0%	25.6%	51.8%	14.9%	7.7%
性別	女性	202	55.6%	57	101	27	17
	男性	159	43.8%	36	86	26	11
	その他	2	0.6%	0	1	0	1
年代別	20代以下	57	15.7%	14	27	11	5
	30代	58	16.0%	14	31	9	4
	40代	70	19.3%	17	38	11	4
	50代	63	17.4%	17	32	10	4
	60代	85	23.4%	24	41	12	8
	70代以上	30	8.3%	7	19	1	3

モニター数 398人

回答数 363人

回収率 91.21%

実施期間 R5.11.17～R5.12.7

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

令和5年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ:九州ロゴマークについて

福岡県 総務部 県民情報広報課

1. 調査目的

九州・山口各県と九州の経済4団体で構成する「九州地域戦略会議」では、観光のPRや農林水産物の輸出などに、県境を超え、九州一体となって取り組んでいます。

九州ロゴマークは、このような九州の連携する姿を国内外にPRするために、平成30年5月に作成したものです。

本アンケートは、九州ロゴマークがどの程度認知されているか調査を行ったものです。

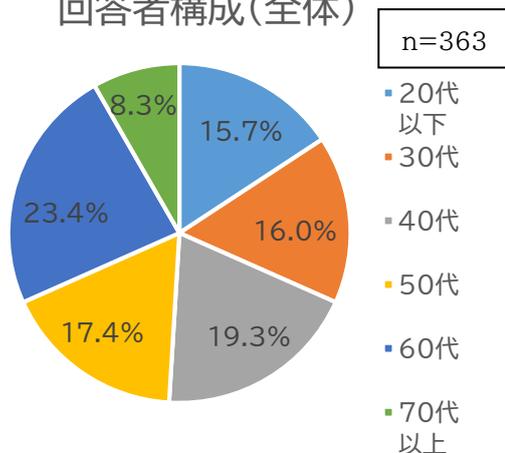
調査結果は、九州ロゴマークの今後の活用方法の検討材料とさせていただきます。

2. 調査時期

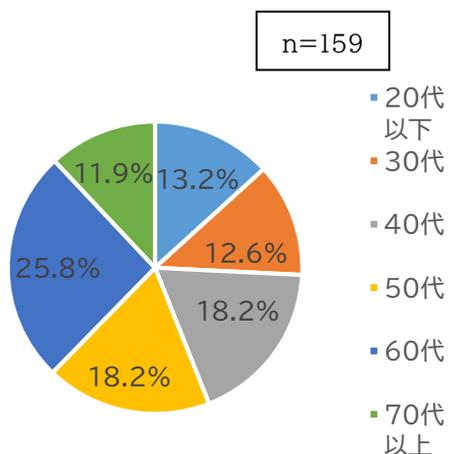
令和5年11月17日～令和5年12月7日(第5回)

3. 回答者の構成

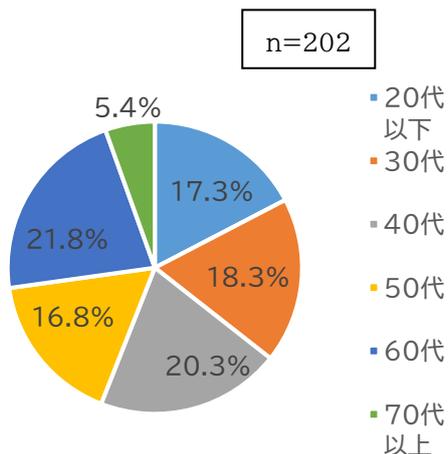
回答者構成(全体)



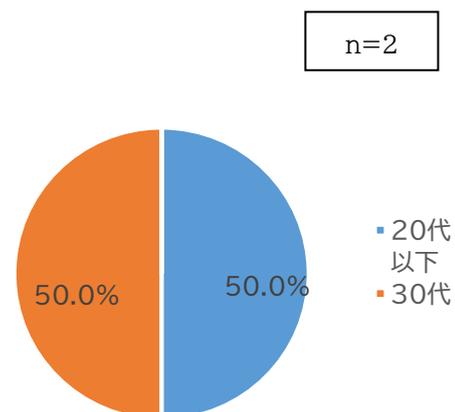
回答者構成(男性)



回答者構成(女性)



回答者構成(その他)



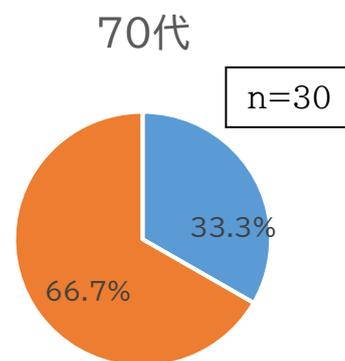
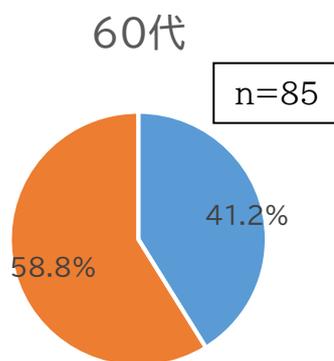
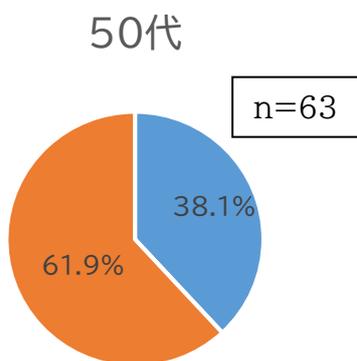
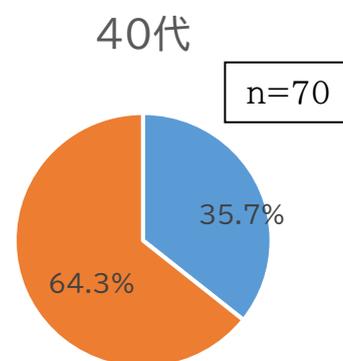
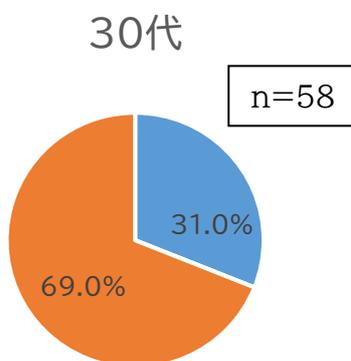
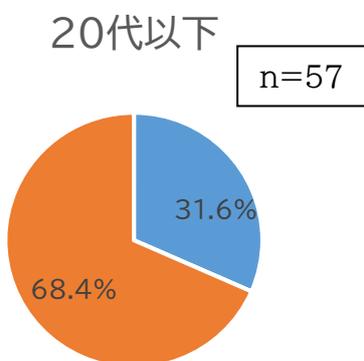
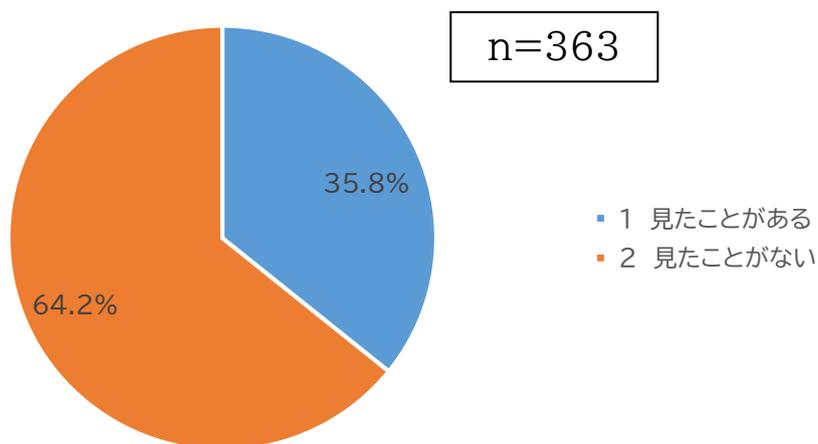
項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	363	93	188	54	28
	構成比		25.6%	51.8%	14.9%	7.7%
性別	女性	202	57	101	27	17
	男性	159	36	86	26	11
	その他	2	0	1	0	1
年代別	20代以下	57	14	27	11	5
	30代	58	14	31	9	4
	40代	70	17	38	11	4
	50代	63	17	32	10	4
	60代	85	24	41	12	8
	70代以上	30	7	19	1	3

4. 回答結果

問1 あなたは、「九州ロゴマーク」を見たことがありますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 見たことがある	130	18	18	25	24	35	10
2 見たことがない	233	39	40	45	39	50	20
計	363	57	58	70	63	85	30

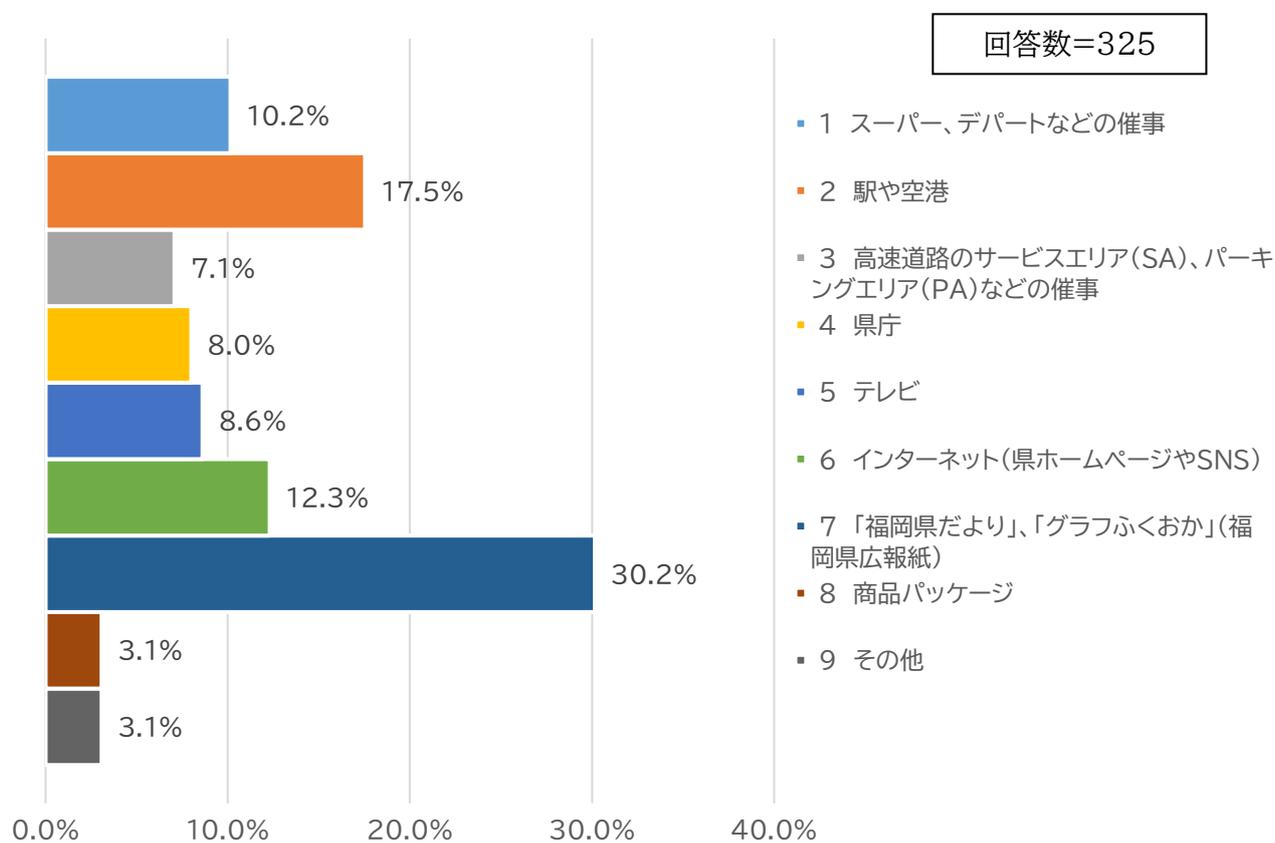
「九州ロゴマーク」の認知度(全世代)



問1-2 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)
九州ロゴマークをどこで見ましたか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	(人)
1 スーパー、デパートなどの催事	33	5	5	6	8	7	2	
2 駅や空港	57	9	10	10	8	17	3	
3 高速道路のサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)などの催事	23	5	4	7	3	3	1	
4 県庁	26	2	4	6	2	7	5	
5 テレビ	28	3	4	9	5	5	2	
6 インターネット(県ホームページやSNS)	40	5	4	9	4	13	5	
7 「福岡県だより」、「グラフふくおか」(福岡県広報紙)	98	13	12	19	18	26	10	
8 商品パッケージ	10	1	2	3	1	3	0	
9 その他	10	1	2	2	1	4	0	
計	325	44	47	71	50	85	28	

「九州ロゴマーク」を見た場所(全世代)



問1-2-2 問1-2で「9」を選んだ場合は、その内容を入力してください。

1	知事や県議がバッジで着けている
2	カルビーのキャンペーンでポテトチップスにあの九州ロゴマークが付いていた
3	県知事の胸元のバッジで。
4	見たか、見ないかだけで無く、見たような気がする的な回答も用意してほしい。 なので私は見たような気がする。
5	覚えていません

問1-3 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

意味や経緯など九州ロゴマークのことについてどの程度知っていますか。

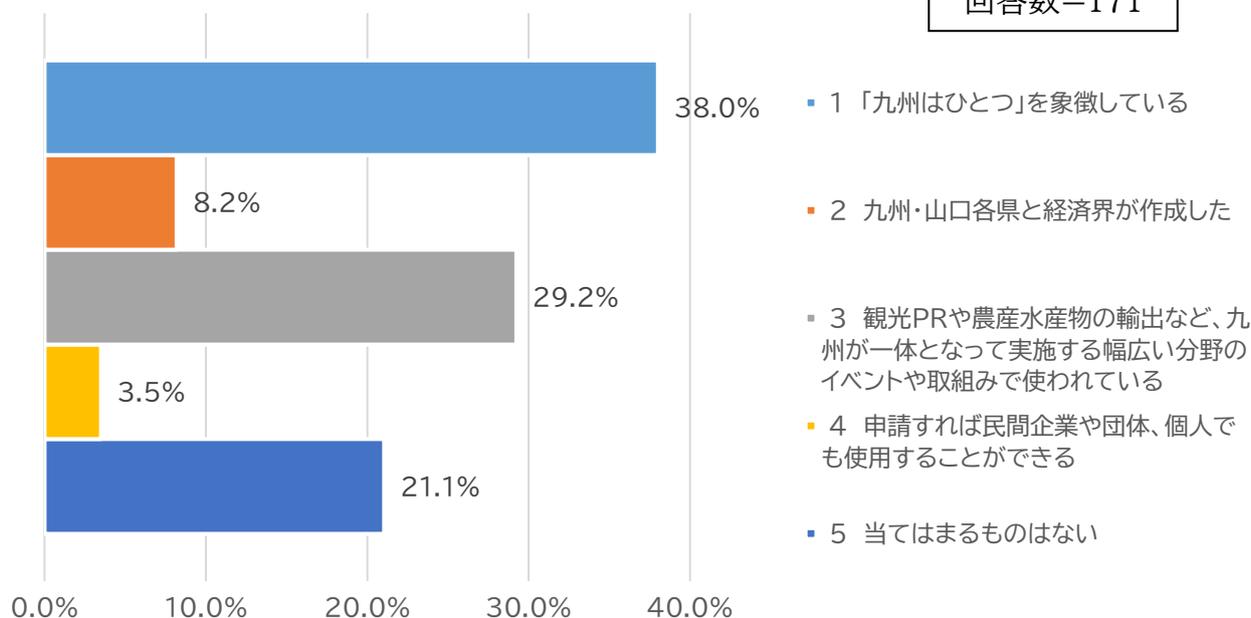
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(人)

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 「九州はひとつ」を象徴している	65	9	10	11	9	19	7
2 九州・山口各県と経済界が作成した	14	3	2	2	1	5	1
3 観光PRや農産水産物の輸出など、九州が一体となって実施する幅広い分野のイベントや取組みで使われている	50	5	6	8	9	15	7
4 申請すれば民間企業や団体、個人でも使用することができる	6	0	2	3	1	0	0
5 当てはまるものはない	36	8	4	8	8	8	0
計	171	25	24	32	28	47	15

「九州ロゴマーク」の認識度(全世代)

回答数=171



問2 九州ロゴマークについて、これまでの設問以外に意見がありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

1	KYUSYU の文字がないと何かわからない
2	何の意味があるのか良く分からない。
3	オシャレで想いも込められた良いロゴだと感じました。これからこのロゴが使われているものを気をつけて見てみます。
4	とてもいいデザインでコンセプトもいいと思いますが、恥ずかしながら初めて拝見しました。どう言う場面で使われているのでしょうか？もっと広まって目にするのが多くなるといいなと思います。
5	このロゴマークまだあまり浸透してないと思う。もっと広く浸透させるためにはもう少し一般市民が見える場所に添付なり広報誌に掲載したらどうかと思う。
6	電車にたまに乗る事が有りますが、駅のポスターなどに使われているのを、あまり見たことがない気がするので、どんどん使うとよいと思います。
7	あまり関心を持っていませんでした。
8	どういう経緯でできて、どのように活用されているのか知らなかった。
9	<p>コンセプトや経緯・目的などは、各地方公共団体が連携してみんなで成長する事には大いに賛同し応援したいと思います。</p> <p>ただ、このロゴや名称「九州ロゴマーク」と実際に手を取り合っている県の範囲がマッチしていない事が大いに気になるし、浸透しにくい要因の一つではないかと思う。</p> <p>山口県、沖縄県の県民の方には、まったく響かないのではないかと危惧しますし、九州 7 県サイドで利活用する時も、山口県、沖縄県もです。という事も何かしっくりこないのではと思いました。</p> <p>少し設問と異なりますが、インバウンドが活況となっているが、海外の方々の回遊ルートは、「東京—大阪—奈良—京都—富士山—日光—広島」が人気の地域、二番目に出るのが「北海道、沖縄」であり95%以上占めている。九州 7 県がツアーや個人旅行に選択されるようなインバウンド対策を強化してほしい。海外の方は、YouTube や口コミを一番参考にし、次に旅行ツアーのおすすめからである。そこらを攻略する戦略を計画実施してほしい</p>
10	マークがあることも団体があることも知りませんでした。県境を越え一体となる前に存在のアピールが必要なのかなと思います。
11	赤色は目立つので良いと思う。
12	ロゴマークを見たことはあったが、ロゴマークの本来の趣旨までは知らなかったので、もっとアピールして良いと思う。
13	ロゴマークとしてはわかりにくいイメージがわからない。もっとわかりやすいロゴにしたほうが良い
14	ロゴマークは、まだ特定の場所しか見かけないので、SNS で広く発信した方がよいと思います。

15	印象として、分かりにくいと思いました。
16	なんとなく見たことがある程度なので、どんどんPRして下さい。
17	ロゴがダサイ。
18	残念ながらまだ街などで拝見した事は無いのですが、とても素敵なロゴだと思いますので、もっとたくさん活用されることを願います。
19	九州ロゴマークの認知度は、高くはないと思われます。 特産品を販売するイベント等ではあると思いますが、ロゴマーク自体が、一般の人々に浸透しておらず、認知度は低いのではないのでしょうか。 暖簾は、日本全国に有り、また、シンボル化した漢字は、かえって意味や読み方が分かりにくくなっていて、国内外の人々に理解されていないと思います。
20	九州産のお肉やお魚にもこのロゴが、包装されたラップ部分に、シールで貼られていたら、そちらの商品を選ぶかもしれない
21	少し判り難いマークに感じます。
22	面白い取り組みだと思います
23	初めて拝見しましたが今一の感がします。
24	このロゴマークをきっかけに九州が一体となって盛り上がったらと思う。山口県が含まれているのならもう少しそれを強調したら良いと思う。
25	とても良いマークだと思います。もっとたくさんの方の目にとまるよう普及して欲しいと思いました。
26	まったくしらなかった ロゴはとてもかわいと思います 町中で探してみたいです
27	コンセプトが良く、デザインも良いのに見たことがないので、もっと普及したらいいなと思います。
28	どこかで見た記憶はあるのですが、どこで見たとはっきり言えるほどの記憶はないです。 ロゴはわかりやすくとてもいいと思います。
29	初めてみました。どこに出てるかわかりません
30	次々とロゴマークを作るのも紛らわしくてあまり賛成ではありません。
31	見たことがある人はどこで見たか質問があってもよいのではないか？
32	九州というブランドが生まれそうで素敵だと思います！
33	服部知事が胸元に付けておられるロゴマークをTVで拝見します。私も欲しい。
34	初めて見ました。 もっとアピールしてほしいですね。 色んな所にあると嬉しいです。 街中にはあるかもしれませんが、私が行く場所にはありません。
35	平成 30 年に制作されたマークですが、広告や宣伝で気がついたことはなかったです。

36	山口県が九州と同じ経済圏であるのに懐疑的です。下関、宇部、山口までは経済圏と捉えていいですが、萩や下松、徳山、岩国は山陰経済圏や広島経済圏の一部ではないでしょうか？
37	見たことがないことにびっくり。どこにあるのだろう。さがしてみたい。
38	印象として、火山の島、特に阿蘇山・桜島を感じます。衰えない、若く元気なイメージを抱き好感しています。
39	初めて見ました。
40	シンプルでありながら色々な意味の込められた、素晴らしいデザインだと思います。もっと普及すればよいなと思います。
41	マークの使用について、申請すれば使用できることが出来る旨の PR が足りていないと思います。もっとキャンペーンを通して PR を強化すべきではないでしょうか。
42	ロゴは見たことがありますが、意味するところは知りませんでした。まだ、認知度は低いのではと思います。メディアなど通じて、アピールをしてほしいと思います。九州山口以外の人々にも、メリット、連携した強みなどアピールしてほしいと思います。
43	知事がつけているバッジ
44	今までなんのロゴか知らなかった。
45	とても良いロゴマークと思います。 最近の出来事で秋田県知事の『じゃこ天』失言をきっかけに四国 4 県と秋田県が合同物産展を開き、テレビやネットで話題になりました。 何かの機会を捉えて(または作って)イベント開催などで集中的にロゴマークをアピールすると良いのではないのでしょうか。
46	ロゴマークは見た事あるが、九州が一体となるという意味が込められていることには気が付かなかった。
47	今まで意識して見ていなかったですが、九州ロゴマークの意味を知る事が出来ました。
48	KYUSHU の表示が無いと九州とは理解出来ない。 インパクトが無い！！
49	もっと SNS 等を使い広報すべき
50	ロゴマークとしては目を引くものなので、見たことはあるなあと思っていたが、内容についてはよく知らなかった。九州に関連があるということはよくわかる。
51	九州ロゴマークには山口県の要素(デザインの中に「山口」が入っている等)は含まれていないのでしょうか。素敵なデザインだとは思いますが、このロゴマークからでは山口県が含まれているということまでの認識は難しいと感じました。説明文が添えられている場合は問題ないかと思います。
52	このマーク1つで九州と読めるようになっているのがすごいなと思いました。これから増えてくるのかなと期待しています。
53	すみません 見たことはあるのですが、全く意識したことはありませんでした

54	素晴らしい取り組みだと思うので、今後も続けて欲しい。
55	分かりやすくすっきりとしたいいデザインだと思いますが、山口県が表現されていないのが気になります。
56	現在、どのような取組がなされており、これまでどのような成果・効果があり、どのような課題が確認されており、今後どのように改善する予定であるとかいった具体的な内容が県民に伝わっていないのではないかと思います。
57	あまり見かけないので、知名度が低いような気がする。 例えば、市役所等人が多く出入りするような所に掲示する等、至る所に掲示する。
58	意味を知ったら、より素敵なマークに見えました。もっとたくさんの場所に九州以外の方が、九州にしかないものや場所についてますって事が分かれば旅が楽しくなりそうに思った。
59	とっても格好が良いです。 チーム九州ですね。 応援しています。もっと九州の知名度やクオリティが評価されるように、みんなで発信できればと思います。
60	わかりやすく良いと思う
61	ロゴマークはじめて見ました。「九州」という漢字になっているところに、「なるほど！」となり、暖簾モチーフに「さすが食の街！」とよく出来ているのに知られてない。勿体ないです。 一度しっかり見る機会があれば記憶に残るロゴマークにも関わらず全く知らない。いったい何処に使われているのでしょうか。ホント勿体ないです。
62	どこかの社用車に掲げられていたのを見た記憶があります。
63	このアンケートで知るまではまったく分からなかった。おそらく目にしているも、意識していないがために気づかなかっただろう。ここで知るきっかけとなってよかったと思う。ただ、なぜ今まで知りえなかったのか、不思議にはある。
64	このロゴマークを見ただけでは、何のロゴマークなのかわかりません…。
65	九州ロゴマークは知識がなく、残念で申し訳なく思っています。 今後気を付けます。
66	知らない人がみて九州とは読めないと思う。
67	基本的には、良い取組みだと思いますが、発想に目新しさは感じません。例えば、農産品のブランド化と言えば、県単位の方が印象度が深いと思います。九州 7 県の共通の商品があれば、ロゴと対応するのでしょうか。
68	どこにロゴマークがありますか？
69	九州の州をイメージして良いと思います。
70	ロゴマークの効果を積極的に広報すべきだと思う。
71	シンプルでわかりやすいと思います。
72	地域テレビや新聞記事はよく読んでいますつもりですが九州ロゴマークは見たことがなかったです。
73	福岡県だより等で、もっともっと PR してください。

74	とても良いと思います。民間企業や団体、個人が使用できることは知らなかったの で、もっとアピールする場があってもよいかと思いました。
75	全く見たことがなかったです。認知を深めたいならばもっとメディアにだしてみ てはどうかと思う。
76	九州はひとつ、という表現に山口は入っているというのは少し違和感を感じます。
77	私は何でも興味が有りますがこのマークは見たことありません。ちなみに夫にもこ の画像を見せましたがやはり見たこと無いそうです。
78	ロゴマークの意味合いもデザインもとても温かみがあるし、素晴らしいと思いま す。
79	素敵なロゴなので、沢山の方に使って頂きたいですね。
80	山口の要素は何もないことに少し疑問を抱きました。
81	あまり知られていないような気がします、せっかくよいマークなのでもっと PR して ほしいです。
82	ロゴ自体は象徴的で好感が持てる。 経済団体が作成されたロゴとのことだが、さっぱりお見掛けしない。 経済関連のあらゆるシーン、また経済関連以外での露出をお願いしたい。 様々な団体が独自ロゴを持ち続ければ、残念ながら認知度に偏りがでる。
83	いまいち知られていない。
84	山口がかawaiiそう
85	九州の人々が一体感を持つことのメリットを説明していくことが行政には求められ ると思う。なんとなく一体であるといいと言うのではなく、具体的に「○○の場面で 力を発揮する必要性が高い」「○○について一致協力することで△△のメリットが ある」などあらゆる場面で説明をしていくと、人々の連帯意識が高まると思う。こ うした説明は、九州のリーダー的立場である福岡県や福岡市が先頭に立ってやるべ きだと思う。
86	スーパーなどで見かけたことはありましたが、行政の取り組みだとは思いません でした。
87	もっと広く周知されてもいいと思うが、目にする機会が少ないと思う。
88	九州出身者は、九州内の他県であってもスポーツや有名な出身者を応援する文 化があり、これは本州などではあまり無い事だと聞いたことがあります。こういった 県を超えた取り組みによって、スポーツだけでなく経済や観光など良い効果が生 まれると思うので、素晴らしいと考えます。
89	とても良いロゴだと思う。
90	独特な文字で面白いと思いました。あまり暖簾の感じが出ていないとは感じた。 素人なので恐縮ですが、赤い文字だけにこだわる必要はなくて、暖簾の雰囲気 をもう少し出した配色と、九州の形を模した何かを取り入れると、九州の取組みとい うのがもっと分かるかな？というのが感想です。 ロゴの文字が赤いため、JR 九州のロゴと重なって、JR 九州の取組みかなと思 う方もいるかもしれませんね。

91	ロゴについて説明があり、なるほどと思いますが、そもそもパッと見て考えてみなければわからない様なロゴ自体どうなのかなあとと思いますが…？
92	日常的に見るものではない。
93	さらにロゴを広められると良いと思います。
94	九州ロゴマークは、どこに掲示されているのでしょうか？見たことがないように思います。これからは意識して確認するようにいたします。
95	安易なロゴ、インパクトに欠ける。
96	アジア圏他、海外へも PR してほしいです。
97	TV、SNS 等で告知されてますか？ 街中で表示されているのを観た記憶が有りません。 告知不足と思います
98	コンセプトは素晴らしいと思う。キャラクターはないのでしょうか？子供にも親しみが持てる活動で、将来に繋げてほしい。
99	個人的に、あまりよく思いません。九州のイメージが湧きません。
100	九州だけでなく、山口県も入っていることは今回初めて知りました。
101	ぱっと見てわかりづらい
102	見た覚えがない、もしくは印象が薄くて気づかない。 デザインが中途半端過ぎる。これならアルファベットの Q を使ったほうがいい。
103	知らなかった
104	もしかしたら見たことがあるかもしれませんが印象に残っていません
105	由来を見るとなるほど！と思いました。パッと見はよくわかりませんでした。
106	九州を単位とした取組は、これからももっと可能性があると思うので積極的に実施してほしい。 関東の人など、よくも悪くも福岡といえば九州と一括りにしているところがあるので、逆に利用する価値があると考える。
107	このロゴマークを作るのにいくら使ったのかも公表すべき。
108	山口の経済団体も本マークにかかわりがある事を初めて知りました。山口県がかかわっている理由がよくわかりませんが。
109	目にも記憶にも留まらない。
110	九州経済の再活性化を期待します
111	九州ロゴマークを初めて目にしました。平成30年作成と知り、驚いています。どんなところに使われているのか知りたいです。知られていないと、意味がないし、もったいないです。
112	九州・山口各県と経済界が作成したのに山口の要素がどこにもないのはなぜ？

113	何処にこのマークは掲示されていますか？あいいくお目にかかったことはありません
114	説明を受ければ「九州」という文字が暖簾風にデザインされていると分かるが、ぱっと見は分かりにくい。
115	海外の人の認知度のために漢字ではなくアルファベットの方が良かったのではないですか？
116	pr不足でしょう。全県的に啓蒙が必要と思います。
117	もっとメディアで何度も詳しく紹介してほしいです。
118	デザインが作られた原点が、九州をのれんにしたイメージがあると知って納得のロゴになっていると感じた。このロゴは九州だとすぐにわかりやすくてとてもいいと思う。
119	福岡県民ですが、どこでどのような場面で掲示されていたのかさえも知らなかった。
120	阿蘇山のイメージもあって良いと思います。
121	見たような気はするが、何のマークなのか何で見たのか全く覚えていない
122	一目で九州とわかるものではない。下の文字を読んで「あー」とわかる感じ。ロゴとしては弱い気がします。
123	せっかくなので もっと周知して ロゴ申請された方には 特典などを設けたらどうでしょうか
124	山口も入っているのはデザインを見てもピンとこなかった。九州の州だなどは見た時思ったがメッセージ性は特に感じなかった。
125	九州という字から作成されたものだと思いますが、何用のロゴなのかが見て分からない。
126	「九州」がよく表現されて、わかりやすく好感が持てる。
127	かわいいデザインで、わかりやすいと思います
128	色目が赤でインパクトがあって可愛いと思いますが、マークを丸か四角枠で囲むともっと目を引く感じがします。
129	目にしたことがあるかもしれませんが、意識していないので記憶に残っていません。すみません。 天神や博多駅の目につくところにあったら、覚えるかも。
130	半年前に移住してきましたが知りませんでした。
131	ホームページを見たところ、民間での使用なら自分も目にする可能性があるのかなと思いますが、今まで気づいたことはありませんでした。
132	見たら九州の州とイメージがつきやすくて良かった
133	東京在住の友人は九州ロゴを知らませんでした。東北とか北海道がイメージしやすいのか 九州は「ひとつ」というより、各県でイメージされていると思います。福岡＝博多ラーメンなど。九州の地図を背景にして、このロゴを載せたら「九州はひとつ」のPRになると思います。

134	そういえばみたことあるなというだけで、よく理解していなかった もう少し積極的にアピールしてほしい
135	いいロゴだと思います 己の無知さに恥じ入る所です
136	もっと認知度アップできるような事を考えるべきだと思います。
137	五島列島や天草、沖縄など離島をイメージする「さんずい」をつけるべきだ。
138	個人的にはロゴマークを良く知っているのですが、認知度はまだまだだと思うため、より一層のPR活動をお願いします。
139	まだまだ認知度が低いと思われるので、催事や県庁だけでなくスポーツの分野でも幅広く使用されると良いと思う。
140	九州ロゴマークは、どこに掲載してあるのか気になった

<自転車の安全利用について>

【調査の目的】

自転車は、通学、通勤、買い物などの身近な交通手段として、子供から高齢者まで幅広い年齢層に利用されています。しかし、自転車が加害者となる対歩行者事故も起きており、自転車利用者の交通ルール違反やマナーの悪さが問題となっています。

このため、本県では、全国的に自転車利用者が加害者となる高額賠償事例が発生していること及び自転車活用推進法の施行等を踏まえ、「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の促進に関する条例」(以下「自転車条例」という※)に改正しました。その後、令和2年10月1日からは、自転車利用者、自転車を業務で利用する事業者、自転車貸付業者について、自転車損害賠償保険等(以下「自転車保険」という。)への加入が義務となりました。

また、不幸にして、自転車乗車中に事故に遭い、亡くなられた方の約6割は頭部に致命傷を負っていたというデータがあります。

このような中、令和5年4月1日より改正道路交通法が施行されたことにより、全ての自転車利用者について、乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。これに伴い、本県においても、自転車条例を一部改正したところです。

つきましては、道路交通法や自転車条例の改正後の自転車保険加入状況、ヘルメット着用状況についてお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

- ・自転車保険への加入促進を始め、福岡県自転車条例の内容を広く県民に周知するための参考資料として活用。
- ・自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するための参考資料として活用。
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(人づくり・県民生活部生活安全課)

※ 福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の促進に関する条例とは
県民が安心して暮らし、活力ある地域社会の実現に寄与するため、以下の事項等を規定している条例

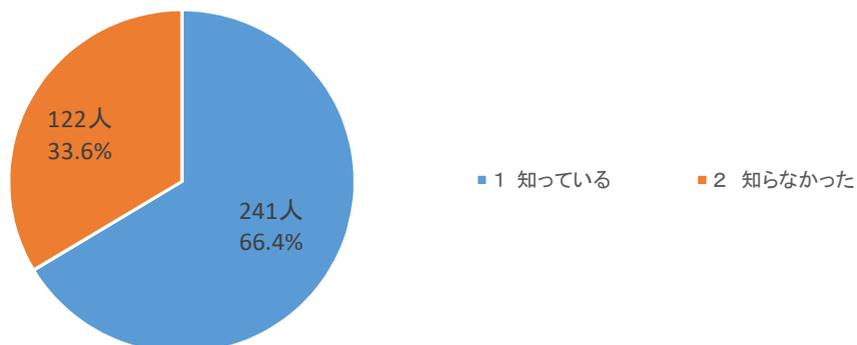
- (1)自転車の安全利用の促進
- (2)交通安全教育の充実
- (3)自転車損害賠償保険への加入義務化
- (4)事故の際の負傷者の救護・警察への報告義務

問1 あなたは令和2年10月より、福岡県の自転車条例において、自転車保険への加入が義務化されていることを知っていますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=363 選択は1つのみ)

1 条例があることも、その内容も知っている	66.4%	(241人)
2 条例があることは知っているが、内容はよく知らない	33.6%	(122人)

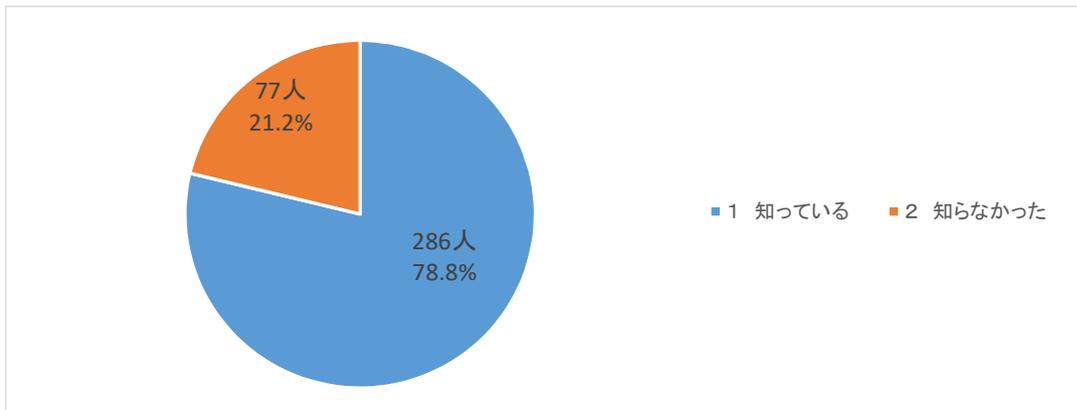


問2 自転車利用中の事故について、他人や他人の物に損害を与えた場合の被害者への賠償責任を補償する自転車保険には、「自転車保険」という名称が付いているものや、自動車保険や火災保険、傷害保険などに付帯しているものがあります。あなたは、こういった自転車保険があることをご存知ですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=363 選択は1つのみ)

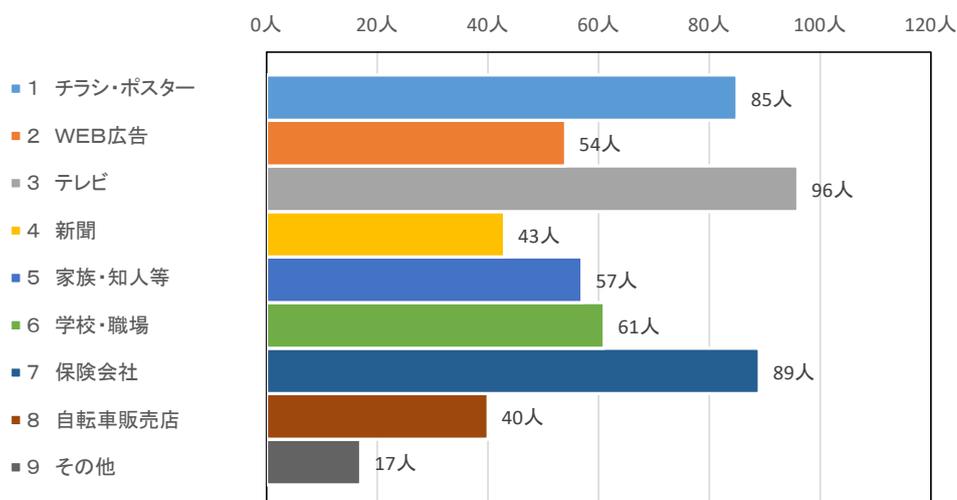
1 知っている	78.8%	(286人)
2 知らなかった	21.2%	(77人)



問2-2 問2で「1」を選択された方にお聞きします。
あなたは自転車保険があることをどのようにして知りましたか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答件数542件、複数選択可)

1 チラシ・ポスターを見た	15.7%	(85人)
2 WEB広告を見た	10.0%	(54人)
3 テレビで見た	17.7%	(96人)
4 新聞で見た	7.9%	(43人)
5 家族・知人等から聞いた	10.5%	(57人)
6 学校・職場で聞いた	11.3%	(61人)
7 保険会社から聞いた	16.4%	(89人)
8 自転車販売店で聞いた	7.4%	(40人)
9 その他	3.1%	(17人)

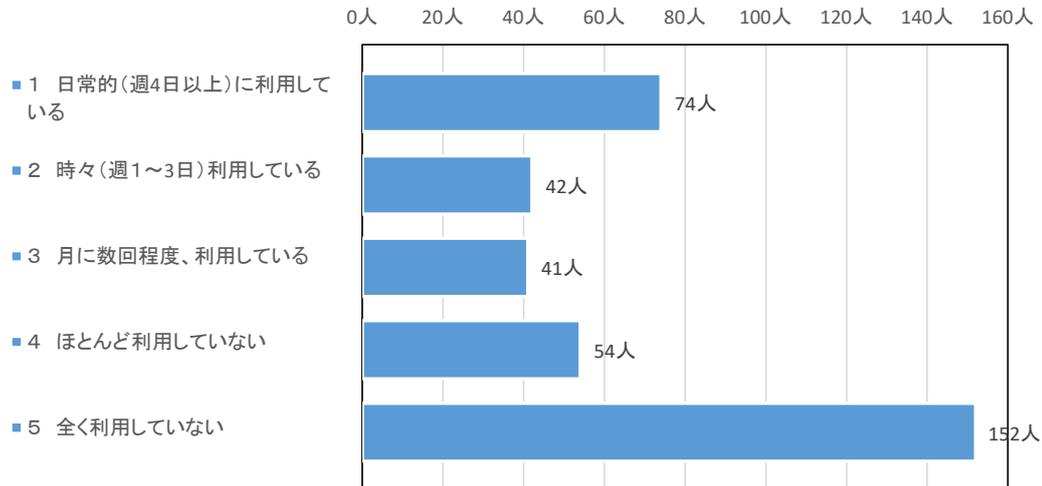


問3 あなた(同居家族を含む。)は、自転車を利用しますか。同居家族がいる場合は最も利用している方を基準にお答えください。

次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=363 選択は1つのみ)

1 日常的(週4日以上)に利用している	20.4%	(74人)
2 時々(週1~3日)利用している	11.6%	(42人)
3 月に数回程度、利用している	11.3%	(41人)
4 ほとんど利用していない	14.9%	(54人)
5 全く利用していない	41.9%	(152人)



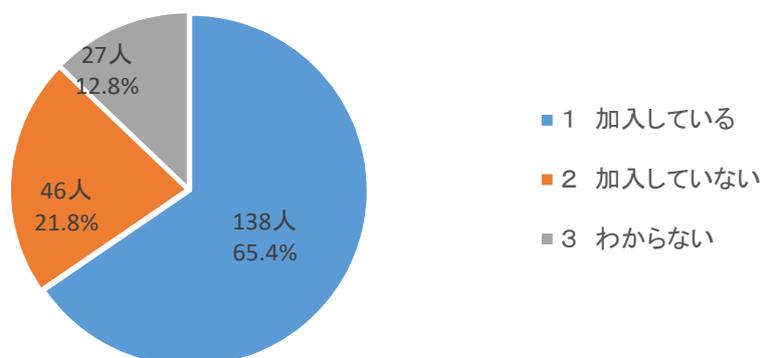
問4 (問3で「1」~「4」を選んだ方にお聞きます。)

あなた(同居家族を含む。)は、自動車保険や火災保険、傷害保険などに付帯しているものも含め、自転車保険に加入していますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=211 選択は1つのみ)

1 加入している	65.4%	(138人)
2 加入していない	21.8%	(46人)
3 わからない	12.8%	(27人)

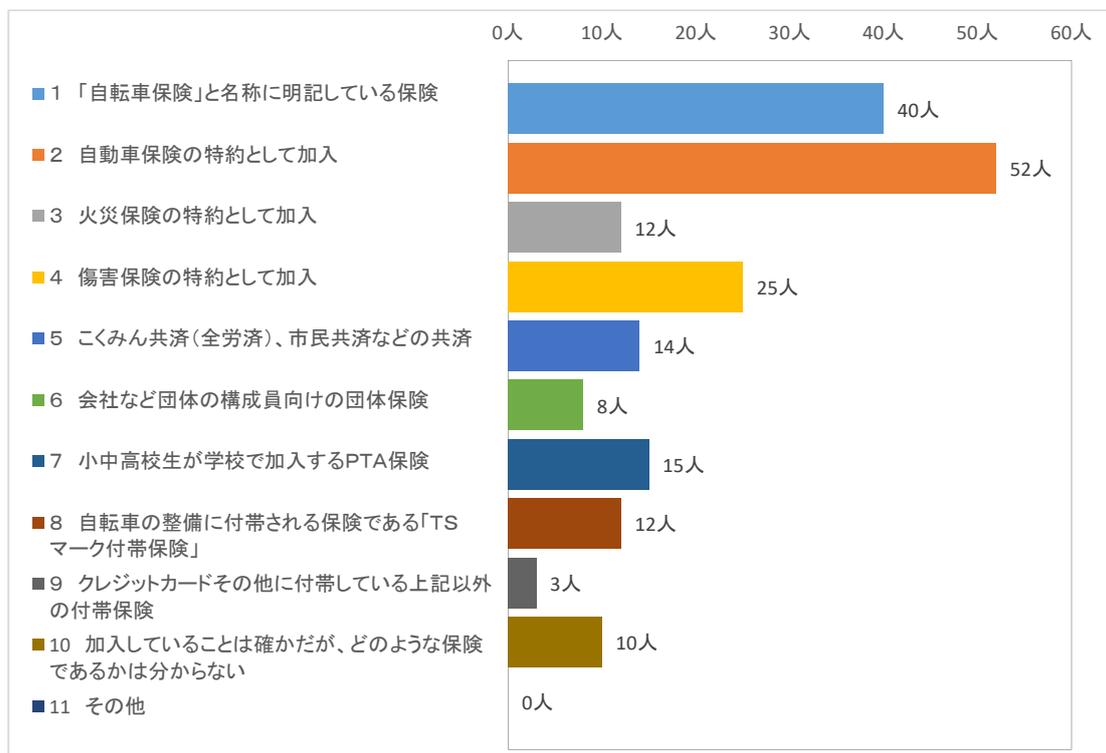


問5（問4で「1」を選んだ方にお聞きします。）

加入している保険の種類について、次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

（回答件数191件、複数選択可）

1 「自転車保険」と名称に明記している保険	20.9%	(40人)
2 自動車保険の特約として加入	27.2%	(52人)
3 火災保険の特約として加入	6.3%	(12人)
4 傷害保険の特約として加入	13.1%	(25人)
5 こくみん共済(全労済)、市民共済などの共済	7.3%	(14人)
6 会社など団体の構成員向けの団体保険	4.2%	(8人)
7 小中高校生が学校で加入するPTA保険	7.9%	(15人)
8 自転車の整備に付帯される保険である「TSマーク付帯保険」	6.3%	(12人)
9 クレジットカードその他に付帯している上記以外の付帯保険	1.6%	(3人)
10 加入していることは確かだが、どのような保険であるかは分からない	5.2%	(10人)
11 その他	0.0%	(0人)

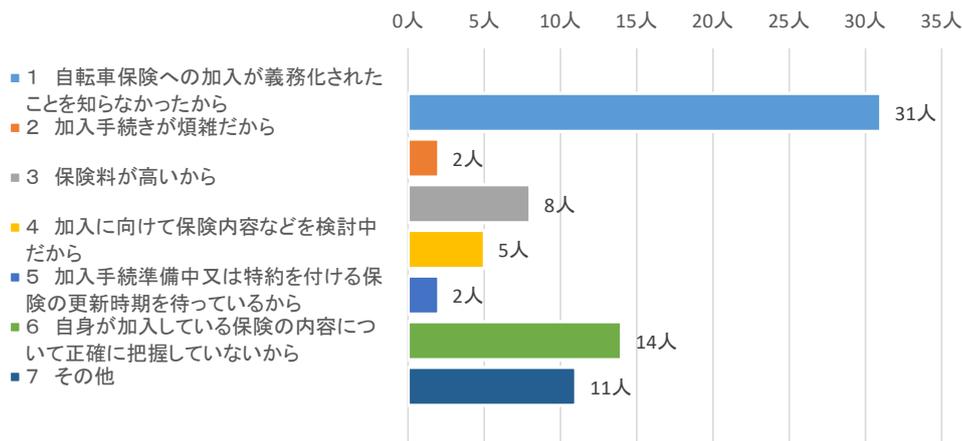


問6（問4で「2」又は「3」を選んだ方に聞きします。）

自転車保険加入に加入していない、または加入しているかどうか分からない理由について次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=73 選択は1つのみ)

1 自転車保険への加入が義務化されたことを知らなかったから	42.5%	(31人)
2 加入手続きが煩雑だから	2.7%	(2人)
3 保険料が高いから	11.0%	(8人)
4 加入に向けて保険内容などを検討中だから	6.8%	(5人)
5 加入手続準備中又は特約を付ける保険の更新時期を待っているから	2.7%	(2人)
6 自身が加入している保険の内容について正確に把握していないから	19.2%	(14人)
7 その他	15.1%	(11人)

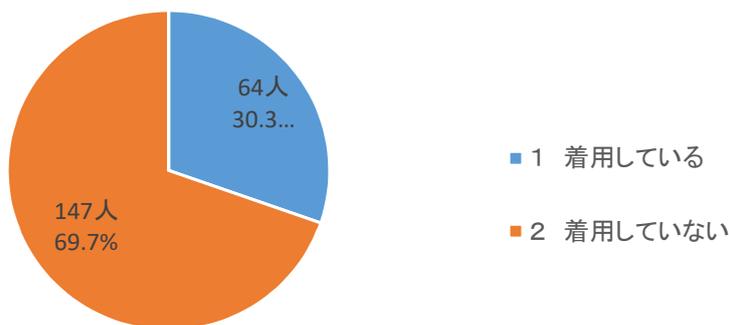


問7（問3で「1」～「4」を選んだ方にお尋ねします。）

令和5年4月の道路交通法改正により全ての自転車利用者の乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されましたが、あなた(同居家族を含む。)は、自転車利用の際にヘルメットを着用していますか。

(n=211 選択は1つのみ)

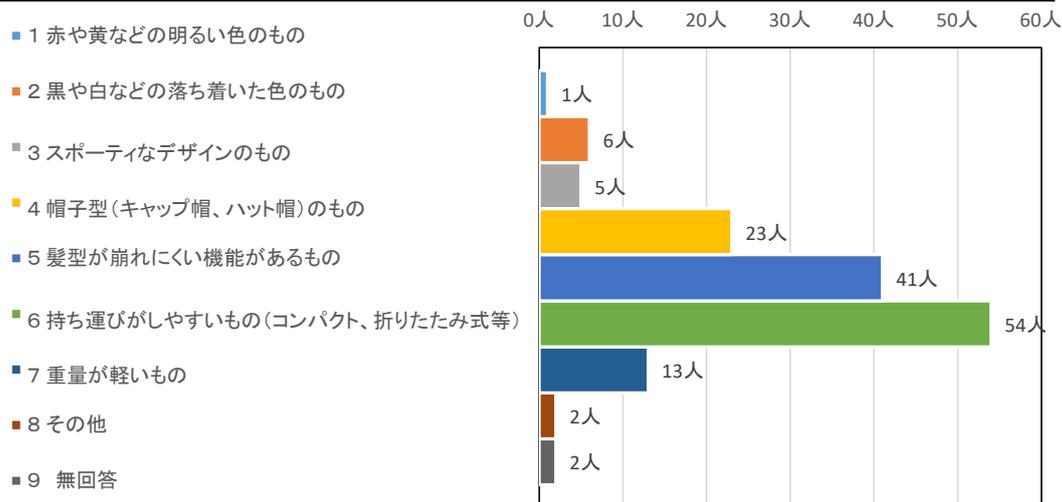
1 着用している	30.3%	(64人)
2 着用していない	69.7%	(147人)



問8（問7で「2」を選んだ方にお聞きします。）
 どのようなヘルメットであれば、着用したくなりますか。
 次の中から最優先と考えるものを【1つだけ】選んでください。

（回答件数145件、複数選択可）

1 赤や黄などの明るい色のもの	0.7%	(1人)
2 黒や白などの落ち着いた色のもの	4.1%	(6人)
3 スポーティなデザインのもの	3.4%	(5人)
4 帽子型(キャップ帽、ハット帽)のもの	15.6%	(23人)
5 髪型が崩れにくい機能があるもの	27.9%	(41人)
6 持ち運びがしやすいもの(コンパクト、折りたたみ式等)	36.7%	(54人)
7 重量が軽いもの	8.8%	(13人)
8 その他	1.4%	(2人)



問9 自転車の安全利用や自転車保険への加入促進について、これまでの設問以外に意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

主な意見(抜粋)

○自転車乗車用ヘルメットについて

<p>装着しやすいヘルメットの開発は、急いでほしいです。 またヘルメット装着は、義務化すべきだと思います。</p>
<p>ヘルメット着用については、かなり浸透していると思います。 継続した、周知、PR活動が必要だと思います。</p>
<p>自転車販売店に、自転車を新規購入する際は、自転車保険の加入の有無及びヘルメットの有無を確認する義務を課すよう条例で定めてはいかがでしょうか。</p>
<p>福岡ではシェアサイクルがよく見られるが、シェアサイクルに対してのヘルメット着用努力義務や保険についての対応はどうなっているのか気になった。</p>
<p>今後子供が自転車を利用するようになる際には必ずヘルメットを着用させるつもりだが、ヘルメット=カッコ悪いもの→被りたくないという認識にならないように充分気をつけたいと考えている。そのためには、まずは普段自転車を利用している大人がヘルメット着用が当たり前というような環境になってもらいたい。</p>
<p>自転車通勤をするには自転車保険に加入する事が必須な会社に勤務しているので、保険には加入済みです。 毎日そこそこの距離を運転するのでヘルメット購入も考えてはいるのですが、髪型が崩れる、持ち運びが面倒等のマイナス面と、事故にあった場合を考えたらすぐにでも購入すべき…という気持ちで揺れているのが現状です。 購入に向けて背中を押してくれる何か欲しい。 都道府県によってはヘルメット購入に助成金が出ると聞きます。 期間限定で構わないので福岡県も是非お願いしたいです。</p>
<p>ヘルメットがださいというイメージがあることがネック。カッコいい自転車やこだわって自転車選んだのに。中学生などが装着するヘルメットも変えて欲しい。</p>
<p>ヘルメットの着用を強制化してほしい。 任意であれば、被りたくなる様なヘルメットを上市してほしい。 現在街中でみかけるものは画一的で、工夫がない。 自転車降車時を想定した機能的商品の登場を期待する。</p>
<p>ヘルメットはカッコ悪いものではなく、むしろカッコいいデザインのものも多々あり、努力義務化するだけではなく、着用することでカッコいいというように誘導すれば着用する人も増えてくるのではないかと思う。</p>

○自転車の安全利用について

今のところ危険なので我が子に自転車に乗せていませんが、近所の学生さんなど通学で違っているのをよく見ます。被害者にも加害者にもなりうるので怖いと思いました。家の周りの坂をすごいスピードで降りている子供もみえます。もし接触してしまったら大事故に繋がるのでよく見て気をつけて運転したいとも思います。

普段自転車を全く利用せず、車を利用しています。車道にいる自転車が怖くていつもびくびくしています。歩行者への安全は確保されるかもしれませんが、急に飛び出してくるなど安全利用ができていない自転車が車道を走ることには不安を感じます。

自転車の利用は交通ルールをしっかりと守るように注意喚起してほしい。特に車道の逆走が多く車の運転する側からすると本当に危ないです。

無灯火やスマホ操作、道交法違反(信号無視、突然の道路横断、路肩ではなく車線を堂々と走る、特に中学生の並走走行)などを、通学時間帯に道路上に立っている交通案内の方々と協力して注意喚起できないものか？

自転車が加害者にも被害者にもなる事を感じています。自転車に乗りながらのスマホ操作がとても多いです。それは、車にも言える事です。

自転車利用者の交通ルール違反が多く危険な状況だと思います。福岡市内で自転車の信号無視は当たり前で毎日見ます。歩行者は信号を守っているのに自転車は信号無視します。また、車道の右側走行等も見られません。自転車も交通ルールを守るよう、警察と協力して対応して下さい。

夜間での無灯火が多く、ヒヤリハットを何回も経験しました。外国の方が多く見受けられます。

左側通行の徹底で少しは事故が減るのではないのでしょうか。

自転車マナーが悪い人が多いと普段から感じる場合があります。安全に走行してもらう意識をもってもらうためにも促進していくことが大事だと思います。

○自転車専用レーン等について

自転車専用道路の拡充をお願いします。

自転車が通る道が完全に整備されていないので車も歩行者も戸惑っていることが多いです。自転車の保険よりも道の整備が必要と感じます。中学生になると自転車が必須になる人も多くなるので、自転車に乗らない生活の人ばかりではないと思います。

自転車は車道を走る方が危ない気がします。よろめいて倒れたら車に轢かれて死亡する確率が、歩道より高いと思います。普段、車を運転する側からすれば、邪魔で怖い存在です。福岡城跡前や、香椎浜前など、一部の歩道にあるように、自転車レーンと歩行者レーンがあればベストですね。

個人への対策以外にも、自転車専用道を整備したりは出来ないのでしょうか？時間はかかるかもしれませんが、例えば線路の高架下は自転車と歩行者の道路にしてしまうとか。ハード面での対策は必要だと考えます。

道路を設置したり改修時には、道路に自転車専用レーンの表示を義務付けるようにするなどの条例を定める必要が求められると感じます。

○自転車安全利用教育、講習について

今後、子どもに自転車を購入する予定なのでヘルメットは着用させようと思う。また学校で自転車講習は小学3年生の一回だけで、それだけでは忘れてしまうのももう少し回数を増やして欲しい。

自転車の安全利用に関して、自転車教室や講習なども必要ではないかと思えます。ただ高齢者が、歩くのが大変で使われている人もいるので、その方たちの負担にならないよう暮らしやすさを考えて、色々考えていただきたいです。

自転車の安全利用については小学生の頃からの教育が重要と思われるので、小学校で警察官の方からのデモンストレーションを徹底すると効果的だと思います。高齢者の教育は公民館などでビデオ講習会などは参加しやすいと思います。交通安全教育が各世代で充実していくと、自転車保険の加入や事故の際の救護や警察への報告義務を守られると思います。

外国人への対応はどうなっているのでしょうか？
近所では日本の交通ルールを知らない外国人が自転車を利用していると思います。世代や国籍を問わず安全講習を定期的に行うべきだと思います。

○自転車保険について

加入義務化されていることをもう少し広めた方がいいと思う。何かあった時に知らなかったでは済まされないと思うので。また、加入率なども知りたいので後で調べてみようと思います。

民間の長期損害保険に特約で賠償責任保険を追加出来ますので参考にしてみたら良いと思えます

自転車に乗る高齢の方について。
歩くよりも便利、車より手軽とのことでご利用の年輩の方が、身の回りに多いです。
危ないことも沢山見受けれます。
保険には未加入です。
公民館や自治会レベルで周知活動いかがでしょう。

自転車保険について、加入者ステッカー等を自転車等に貼付するなど、もっと加入の意識を高める必要があると思います。

自転車に乗らないので、自転車保険についてのことが良く分からない。自転車を利用しない人にも情報が伝わるとありがたい。

○その他

自転車事故は本人・相手方双方の生命に危険がおよび、また事故で多額の損害賠償などを生ずる旨をメディアから何度も情報発信していく必要がある

長い歴史の中で、自転車の乗車は車やバイクと違い軽んじられてきたと思う。しっかりと法律で義務付けて、自転車講習で合格したもの以外は自転車に乗ってはいけないなど、自転車に乗ることは車やバイクに乗るのと同じという感覚を自転車に乗る側に持たせるべきだと思う。

無保険運転者には、厳しい罰則を設けて欲しい。
私は自転車に乗ることがなく、徒歩移動が殆どですが、後ろから音も無く猛スピードで走り抜ける自転車が多過ぎると感じます。
ヘルメットを被らない自転車の運転者が、負傷するのは自己責任ですが、歩道を歩く歩行者の安全を確保するのが先ではないでしょうか。
歩道と自転車が通る道を完全に分離しなければ、歩行者は安心して歩道を歩くことができません。また、交通違反する自転車を厳しく取り締まっていただきたい。

田舎町の広い歩道なのでここは通っていいとか、歩行者が多い時間は自転車は押すなど、そこそこに合わせた規定を作るようにしたいと思います。作成委員会等を作り、それを仕事として賃金を発生させればいいと思います。

自転車の安全に関する事柄ですが、交通インフラ全体の構想や、生活しやすい街作りの構想の一部として検討すべき内容と考えます。
単体で考えても浸透はしないし、訴える力も弱いと思います。

もっと電子媒体等を利用して広報に力を入れていただきたい。

事故の事例など、広報誌やTVで流した方がいい。

ワンヘルスについて

【調査目的】

今、地球上では、人口増加、森林開発や農地化などの土地利用の変化によって、自然環境の悪化や地球温暖化などの気候変動が生じています。また、人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増え、新型コロナウイルス感染症をはじめとする人と動物の双方に感染する「人獣共通感染症」が増えています。

こうした問題に対応するためには、人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス (One Health)」の考え方が重要です。この考え方は、世界的に広がっており、「G7 サミット」など国際間の枠組みでも合意されています。

県では、みやま市に全国初のワンヘルスの実践拠点となる「ワンヘルスセンター」の整備に向けて準備を進めるなど、全国に先駆け、ワンヘルスの推進に取り組んでいます。

今後、より一層の取組を進めるにあたり、「ワンヘルス」について皆様の御意見をお聴かせいただき、事業及びその評価などの参考とさせていただきたいと思っております。

(保健医療介護部保健医療介護総務課ワンヘルス総合推進室)

1 令和5年度第5回県政モニターアンケート調査

(概要)

モニター数： 398 人

回答数： 363 人

回収率： 91.21%

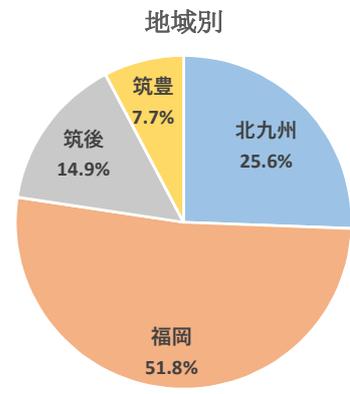
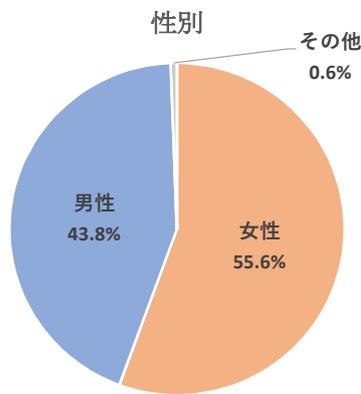
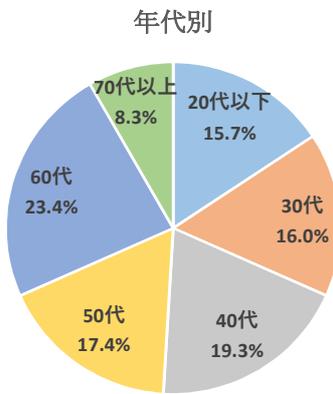
実施期間： 令和5年11月17日～令和5年12月7日

(回答者構成)

(n=363)

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	363	93	188	54	28
	構成比		25.6%	51.8%	14.9%	7.7%
性別	女性	202	57	101	27	17
	男性	159	36	86	26	11
	その他	2	0	1	0	1
年代別	20代以下	57	14	27	11	5
	30代	58	14	31	9	4
	40代	70	17	38	11	4
	50代	63	17	32	10	4
	60代	85	24	41	12	8
	70代以上	30	8.3%	7	19	1

回答者構成



n=363

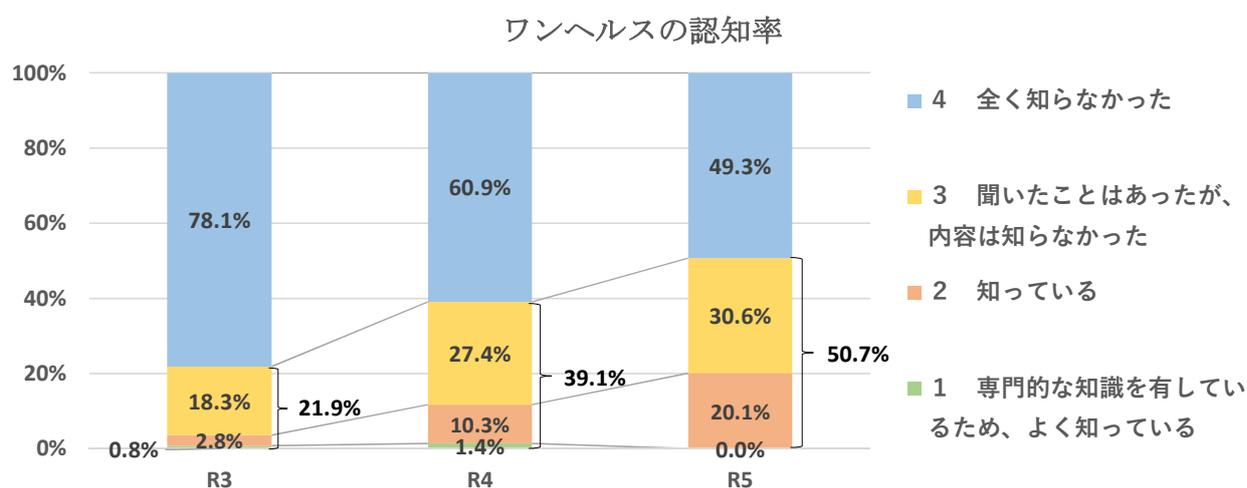
2 調査結果

問1 あなたは、「ワンヘルス」とは何か知っていましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

【全体】

(n=363)

選択肢	R3		R4		R5	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	3	0.8%	5	1.4%	0	0.0%
2 知っている	10	2.8%	36	10.3%	73	20.1%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	66	18.3%	96	27.4%	111	30.6%
4 全く知らなかった	281	78.1%	213	60.9%	179	49.3%
合計	360	100.0%	350	100.0%	363	100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1~3と回答した方)	79	21.9%	137	39.1%	184	50.7%



- ・調査を開始した令和3年度以降、「ワンヘルス」という言葉を知っている方の割合（認知率）は増加傾向にあり、今回の調査では前年に比べ11.6%増加し、50%を超えた。

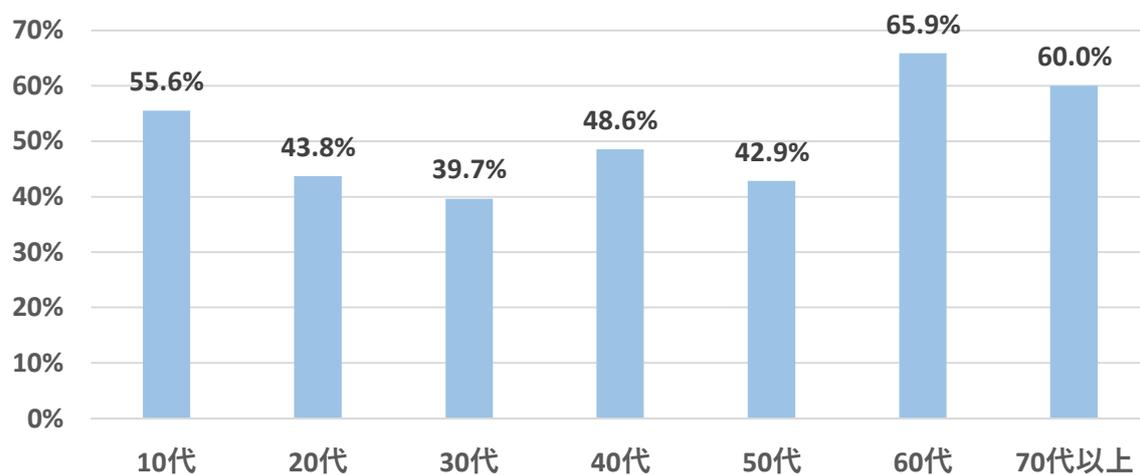
(R4:39.1% → R5:50.7%)

【年代別】

(n=363)

選択肢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2 知っている	1 11.1%	10 20.8%	6 10.3%	7 10.0%	19 30.2%	20 23.5%	10 33.3%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	4 44.4%	11 22.9%	17 29.3%	27 38.6%	8 12.7%	36 42.4%	8 26.7%
4 全く知らなかった	4 44.4%	27 56.3%	35 60.3%	36 51.4%	36 57.1%	29 34.1%	12 40.0%
合計	9 100.0%	48 100.0%	58 100.0%	70 100.0%	63 100.0%	85 100.0%	30 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	5 55.6%	21 43.8%	23 39.7%	34 48.6%	27 42.9%	56 65.9%	18 60.0%

年代別の認知率



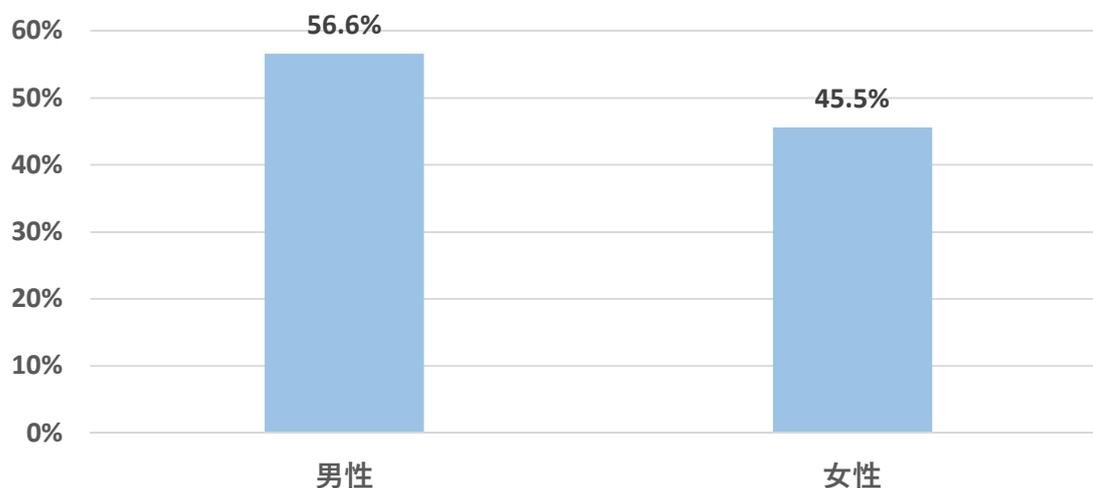
- ・年代別のワンヘルスの認知率は、60歳以上で60%を超えているのに対し、20代～50代では50%を下回っている。

【男女別】

(n=363)

選択肢	男性		女性		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 知っている	38	23.9%	33	16.3%	2	100.0%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	52	32.7%	59	29.2%	0	0.0%
4 全く知らなかった	69	43.4%	110	54.5%	0	0.0%
合計	159	100.0%	202	100.0%	2	100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	90	56.6%	92	45.5%	2	100.0%

男女別の認知率



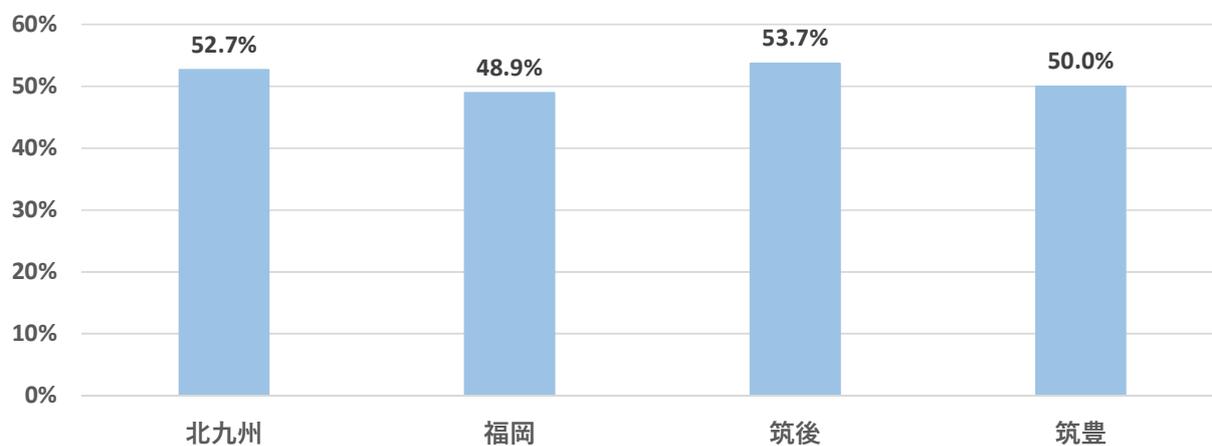
- ・男女別のワンヘルスの認知率は、男性 56.6%、女性 45.5%であり、男性の方が認知率が高い。

【地域別】

(n=363)

選択肢	北九州	福岡	筑後	筑豊
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2 知っている	18 19.4%	39 20.7%	10 18.5%	6 21.4%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	31 33.3%	53 28.2%	19 35.2%	8 28.6%
4 全く知らなかった	44 47.3%	96 51.1%	25 46.3%	14 50.0%
合計	93 100.0%	188 100.0%	54 100.0%	28 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	49 52.7%	92 48.9%	29 53.7%	14 50.0%

地域別の認知率



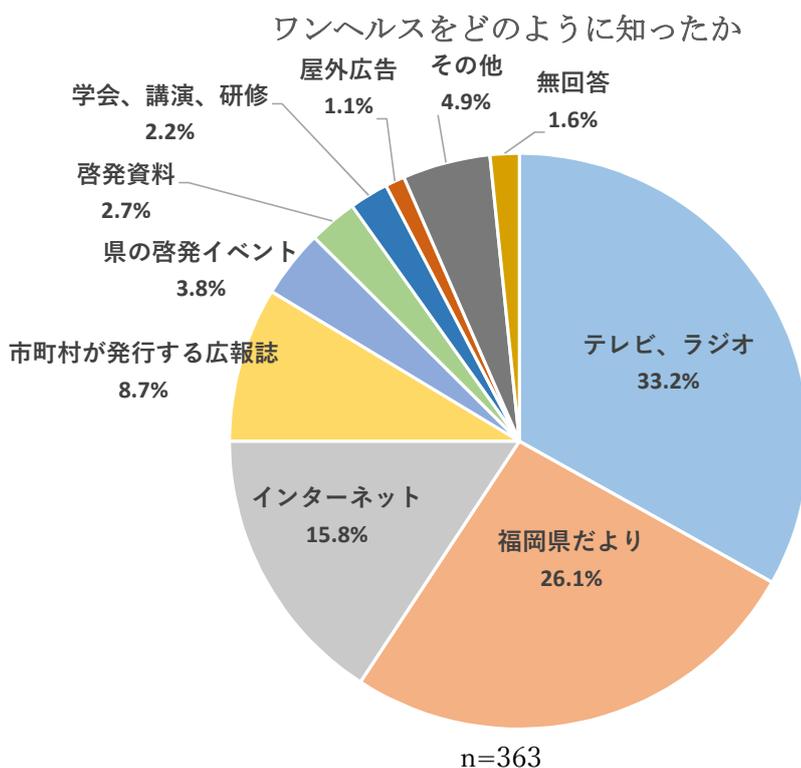
- 地域別のワンヘルスの認知率は、最も高かったのが筑後地域の53.7%、最も低かったのが福岡地域の48.9%であり、地域ごとに大きな差は見受けられない。

問2 (問1で「1～3」を選択された方にお尋ねします。)

「ワンヘルス」という言葉をどのように知りましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=184)

選択肢	R4		R5	
	回答数	割合	割合	割合
1 福岡県だより	34	24.8%	48	26.1%
2 県の啓発イベント	7	5.1%	7	3.8%
3 市町村が発行する広報誌	11	8.0%	16	8.7%
4 インターネット (県 HP、ワンヘルス推進ポータルサイト、広告など)	22	16.1%	29	15.8%
5 テレビ、ラジオ	44	32.1%	61	33.2%
6 啓発資料 (ワンヘルス推進冊子、ワンヘルス教育啓発資料、チラシなど)	3	2.2%	5	2.7%
7 屋外広告	0	0.0%	2	1.1%
8 学会、講演、研修	4	2.9%	4	2.2%
9 その他	10	7.3%	9	4.9%
無回答	2	1.5%	3	1.6%
計	137	100.0%	184	100.0%



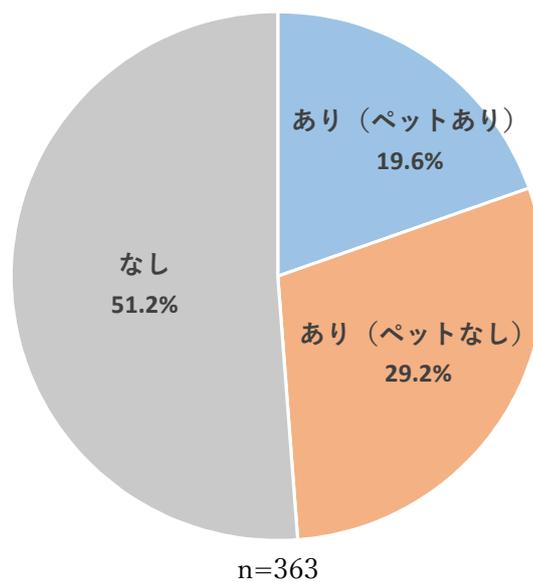
- ワンヘルスについて知っている人が、どのようにワンヘルスを知ったかについて、最も多かったのが「テレビ、ラジオ」、続いて、「福岡県だより」「インターネット」「市町村が発行する広報誌」の順で、これらを合わせると8割以上を占めており、日常生活で触れることの多い媒体で知ったことが伺える。
- このうち、「テレビ、ラジオ」については、10月・11月に開催したワンヘルスフェスタのPRのため、テレビやラジオでイベントの紹介やワンヘルスの啓発を行ったこと、また10月からワンヘルス認証のテレビCMが放映されたことによるものと考えられる。

問3 あなたは日常生活の中で、動物とふれ合う機会がありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=363)

選択肢	R4		R5	
	回答数	割合	回答数	割合
1 現在、ペットを飼っており、日常的にふれ合う機会がある	82	23.4%	71	19.6%
2 ペットは飼っていないが、動物とふれ合う機会がある（ふれあい動物園やイベントなど）	110	31.4%	106	29.2%
3 動物とふれ合う機会はない（アレルギーがある、動物に興味がないなど）	158	45.1%	186	51.2%
合計	350	100.0%	363	100.0%
動物とふれ合う機会がある方 （1～2と回答した方）	192	54.9%	177	48.8%

動物とふれ合う機会



・動物とふれ合う機会がある方は48.8%と、およそ2人に1人に当たる。

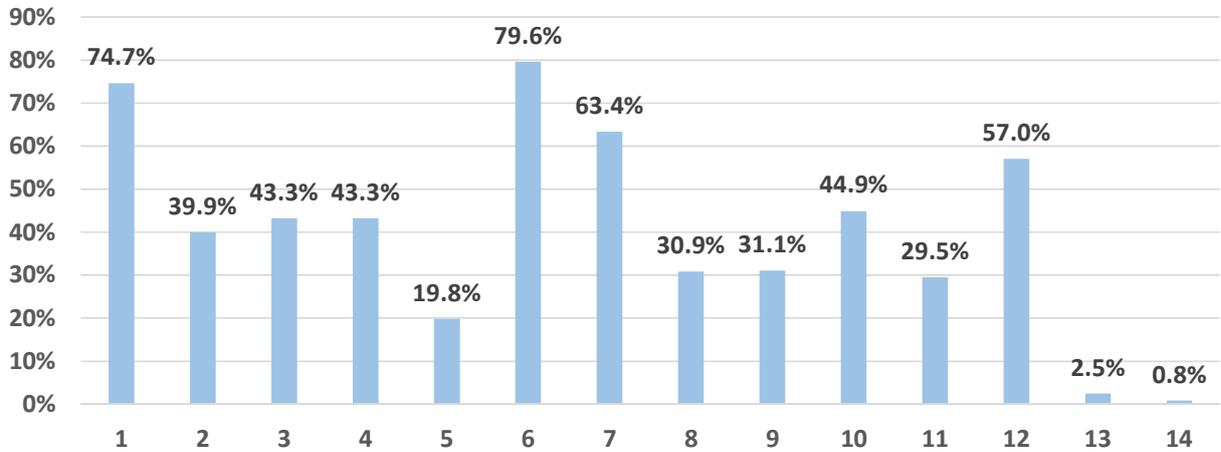
問4 県では、ワンヘルスの課題に対し、「人獣共通感染症対策」、「薬剤耐性菌（抗生物質などが効かない、または効きにくくなった細菌）対策」、「環境保護」、「人と動物の共生社会づくり」、自然や動物とのふれ合いを通じた「健康づくり」、「環境と人と動物のより良い関係づくり」を進めています。これらに関して、あなたが、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。次の中から該当するものを【全て】選んでください。

(複数選択可) (n=363)

選択肢	R4		R5	
	回答数	割合	回答数	割合
1 動物に触れた後は、手洗いをし、清潔に保つ（人獣共通感染症対策）	252	72.0%	271	74.7%
2 ペットに口移しで食事を与えるなど、過剰な接触を避け、人と動物の共通感染症にかかることを防止する（人獣共通感染症対策）	146	41.7%	145	39.9%
3 登山や里山など野生動物が多く生息するような環境に出かける際は、マダニなどに咬まれないようにするため、長袖、長ズボンなどを着用し、感染防止に努めている（人獣共通感染症対策）	146	41.7%	157	43.3%
4 病院や薬局で処方された抗生物質は、途中でやめないなど、用法用量を守り、薬剤耐性菌を生む要因の発生防止に貢献する（薬剤耐性菌対策）	142	40.6%	157	43.3%
5 移動の際は自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献する（環境保護）	55	15.7%	72	19.8%
6 買い物際にはレジ袋をもらわず、エコバッグを持参し、プラスチックごみの削減に貢献する（環境保護）	253	72.3%	289	79.6%
7 野生動物にはむやみに近づかない、餌付けをしないなど、適正な距離を保つことを理解している（人と動物の共生社会づくり）	202	57.7%	230	63.4%
8 ペットを飼う場合は、その健康管理を行うとともに、飼育環境を清潔にする、散歩中の糞は持ち帰るなど、適切に管理している（人と動物の共生社会づくり）	97	27.7%	112	30.9%
9 ハイキングや森林浴などにより、自然とふれ合うことで、身近な自然への理解を深めている（健康づくり）	100	28.6%	113	31.1%
10 食材を購入する際は、できる限り地元で生産された農産物を選び、地産地消に取り組んでいる（環境と人と動物のより良い関係づくり）	150	42.9%	163	44.9%
11 食材を購入する際は、低農薬など、環境負荷の少ない農産物を選ぶようにしている（環境と人と動物のより良い関係づくり）	106	30.3%	107	29.5%
12 買いすぎない、作りすぎない、注文しすぎない、食べきるなどを心がけ、食品ロスの削減に取り組んでいる。（環境と人と動物のより良い関係づくり）	201	57.4%	207	57.0%

13 取り組んでいることはない	11	3.1%	9	2.5%
14 その他（次の設問で具体的に記入してください。）	2	0.6%	3	0.8%

日常生活の中で取り組んでいること



- ・ ワンヘルスの各課題に対し日常生活で取り組んでいる方の割合は、エコバッグ持参による環境保護、動物に触れた後の手洗いによる人獣共通感染症対策が7割以上と、高い割合を占めている。
- ・ 人獣共通感染症対策に係る取組を行っている方の割合はどの設問も約4割以上を占めており、多くの方が取り組んでいる。
- ・ 一方で自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献することについては、19.8%と低くなっており、自家用車が生活において不可欠であることが伺える。

問5 問4で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に記入してください。

- ・ コンポスト利用で生ゴミを減らしている。【60代 男性（北九州）】
- ・ コンポストを利用して野菜くずを出さず、ごみ減量に貢献し、かつたい肥を作成、家庭菜園している【60代 女性（北九州）】
- ・ 動物系とは接触しない【50代 男性（筑後）】

問6 今後、県のワンヘルスの取組について、求めることがありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・ 動物との触れ合いからフードロスまでワンヘルスとは幅広いものなのだと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ 具体的にペットの種類ごとに罹る病気などが分かっていたら、テレビや新聞などで広報して欲しい【60代 女性（北九州）】
- ・ ワンヘルス事業の啓発のために、無駄な広告宣伝やエネルギー消費がないようにしてほしい。【60代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスという取り組みの背景と概念や施策を県民に判るようにするイベントや活動を期待するし、やはり概念が広いので、問11のように身近な行動レベルで示して理解を促す活動が重要だと思う。総論賛成だが行動レベルに繋がっていないケースが多いと思うので。【60代 男性（北九州）】
- ・ 最近、物価高で飼い犬の狂犬病などのワクチン接種をしない飼い主がいると聞きます。迷惑なので罰則を設けて欲しいです。【50代 女性（北九州）】
- ・ もっと具体的内容をテレビラジオで広報が必要と思う。【60代 男性（北九州）】
- ・ 今回、ワンヘルスという言葉は初めて聞いたので、もっと普及活動をした方がよいのではないかと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ 福岡県だよりやホームページでさらにピーアールする必要がある。知らない人が多いと思う。【60代 男性（北九州）】
- ・ 野生動物保護のため山野を切り開く太陽光パネルを規制して欲しい【50代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスというフレーズを聞いただけでは意味がわかりにくいので、一言聞いただけで趣旨がわかるようなフレーズに変えた方がいいと思います。【50代 男性（北九州）】
- ・ 野生の動物が人間の生活圏に近づかないように、ゴミステーションの整備をして欲しい。【50代 女性（北九州）】
- ・ 人間、動物、環境の各分野に関し、一体的な調査や研究が出来れば、生態系の変化を把握でき、感染症や薬剤耐性菌等の課題に対応し、その対策にも重要な役割を果たすものと思料します。また、専門人材の育成にも繋がりますので、福岡県の先進的な取組みは、大変喜ばしいことと思います。【60代 男性（北九州）】
- ・ 地方の野生動物被害とそれに対する取り組みへの支援や協力や理解を進めること。【20代 女性（北九州）】
- ・ 環境保護は重要と思います。国内の水源地など国や県で管理するなど施策が必要と思います。【60代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスフェスタなるものが地元で開催されていたのを今回調べて初めて知った。私のように言葉の存在自体を知らない人もかなり多くいると思うので、イベントやポスターなどもっと活発な普及活動が必要だと思う【40代 女性（北九州）】
- ・ たまたま行った先でワンヘルスのイベントがあって、このことを知りました。主に犬猫の保護や支援する方たちのマルシェで、このことを知るのに良い機会でした。でも、事前には知らなかったなので、具体的な取り組みなど知る機会が増えると良いと思いました。【60代 女性（北九州）】
- ・ 当地では野良が多く病気を患った猫も見受けられる。一方、野山・河川の除草、放置が見受けられ環境悪化と共に猪・ハクビシン・アライグマが見受けられるので自治会で除草活動に努力しています。【70代以上 男性（北九州）】

- ・あまり偽善にならないよう、個々の意識改革を促していければ良いと思います。自己中心的な考えの方が増え平気でゴミを捨てたりその姿を見た子供達の将来が心配になります。【40代 女性（北九州）】
- ・みやま市の取り組みを市外の興味ある人にも参加できるようにしていただけたらうれしいです（バイオマス工場の見学を土日でもできるように、とか、講習会に市外の人も参加できるようにとか・・・）【50代 女性（北九州）】
- ・一般の方に広く認識されるような啓発活動【50代 女性（北九州）】
- ・ワンヘルスを知らなかったので周知を増やす必要があると感じました。【30代 女性（北九州）】
- ・ワンヘルスという名前自体が非常にわかりにくいと思います。もう少し具体的なテーマ名をワンヘルスという名前の後につけて内容が分かるようにしてはどうでしょうか。【60代 女性（北九州）】
- ・もっと地産地消奨励し、学校給食には地元の食材を積極的に利用し、生産者には農薬や除草剤の使用の削減を求めているほしい【60代 女性（北九州）】
- ・動物が排便を公共施設などで行なっているのがたまに目につく。おむつを習慣的に履かせるようにするなどして欲しい。【20代 女性（福岡）】
- ・ワンヘルスの定義は広いため一つ一つ身近な所から進めていくよう旗を振って欲しいものです。【70代以上 男性（福岡）】
- ・言葉がカタカナなので覚えられない。もっとわかりやすい簡単な言葉にしてほしい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・福岡県は自然豊かで森林浴、山登りなど自然を楽しめる場所が沢山あると思います。これからも沢山の広報活動等で素敵な場所を教えてください。生まれも育ちも福岡県ですが、まだまだ知らない場所が沢山あります。また新しい自然スポットもできていると思うので、情報発信をよろしくお願い致します。【50代 女性（福岡）】
- ・みやま市に建てるワンヘルスセンターではどのようなことをするのか説明する場を設けてほしい。【30代 男性（福岡）】
- ・地元のJAを利用して、地産地消を行っている。家庭菜園・草花の栽培を通して、自然に接する機会を作っている。【70代以上 男性（福岡）】
- ・県がどんな取り組みをしているのか、知らない。【70代以上 男性（福岡）】
- ・新型コロナウイルス感染症などもあったため、ワンヘルスの理念の浸透や課題解決に向けた取り組みの推進自体は意義のあることだと思います。しかし、感染症対策というのは国家規模の話であるため、福岡県が独自に多額の予算を組んで、先駆けて諸々の取り組みを推進することの必要性やメリットが十分に理解できません。（私が知らないだけかも知れませんが、）そうした点に特化した県民に対しての説明が欲しいなと思います。【30代 男性（福岡）】
- ・活動内容が周知されていないので、まずはそこからかなと。求める以前の問題のような気がする。【20代 男性（福岡）】
- ・マクロ（運命共同体＝地球全体を守る）、ミクロ（身近なところからの取り組み）の両面からの取り組み、アピールが出来ればと思います。【60代 男性（福岡）】
- ・まだ、理解できていないところもあり、今はないです。【50代 女性（福岡）】
- ・必要の有無がよくわかりません。【50代 男性（福岡）】
- ・地域ネコを推進してほしい。無農薬・低農薬・有機肥料を実践している農家を様々な面で支援して、そうした農業を行う方が利益が高くなるように仕向け、従事者を早急に増やしてほしい。【50代 男性（福岡）】
- ・県民が取り組みやすくなるような様々な情報発信をお願いします。【60代 男性（福岡）】

岡)】

- ・ 動物愛護にもっと力をいれてほしいです。野良猫のトイレや餌、避妊の管理、殺処分への厳密化など【30代 女性(福岡)】
- ・ ゴミの分別、リサイクルの推奨【30代 男性(福岡)】
- ・ 福岡市に住んでいるが、県内でもさる、いのしし、ハクビシン、たぬき、しかの被害を聞く。対策が必要だと感じる。【70代以上 女性(福岡)】
- ・ ハイキングや森林浴などにより、自然とふれ合うことで、身近な自然への理解を深める健康づくりのための情報発信をたくさんお願いします。【60代 男性(福岡)】
- ・ 私はもともと自然科学や環境問題に関心があるためワンヘルスを知っていましたが、まだまだ一般の認知は低いかわかれます。まずは「ワンヘルス」という言葉を広めることを目的に各種媒体を活用するのはいかがでしょうか。【30代 男性(福岡)】
- ・ 捨猫を見つけても子ども達には手を出さない様に注意をしています。子供食堂をもっと地域を交えた交流の場を設けて頂きたい。【70代以上 男性(福岡)】
- ・ ワンヘルスが大事だということは今回の設問を読んで理解できました。具体的にどのようなアクションができるのかをもっと知りたいと思いますので、チラシやHP、掲示などで教えていただくと助かります。【30代 女性(福岡)】
- ・ とても良いことだと思うので、出来ることからコツコツと実践したいと思います【20代 男性(福岡)】
- ・ 今ある産業、農業/林業/漁業、それに携わっている人を助けてください。そういった活動を県で行ってほしい。【50代 女性(福岡)】
- ・ 取り組み自体をまったく聞いたことがなかった。詳しく知りたい。【50代 男性(福岡)】
- ・ 市町村が発行する広報誌等により認知度の向上が必要だと思います。【60代 女性(福岡)】
- ・ 今ひとつ、概念が良く解りません。分かりやすく啓蒙活動する必要が有ります。【70代以上 男性(福岡)】
- ・ カラスなどの鳥がゴミをあらさないよう、生ごみを堆肥に変えられるステーションのような場所がたくさん増えてほしい。【50代 女性(福岡)】
- ・ 里山の保護や害獣の対策は急務だと思います。こんな簡単な話ではないのですが、山頂に美味しい栗の木や柿の木の植樹など。【50代 女性(福岡)】
- ・ 野生動物への正しい理解を啓蒙していく必要性を感じる。今、頻繁にニュースで見るクマ被害関連で、クマの駆除に対する誤った思い込みで自治体や協力者であるハンターへの非難が殺到しているとのこと。野生動物の危険を広くアナウンスすると共に、法令を変更する必要性を強く求める。【60代 女性(福岡)】
- ・ 知名度のアップを期待します。【70代以上 女性(福岡)】
- ・ 各人の理解と意識づけを進める事。気長に取り組む事。【70代以上 男性(福岡)】
- ・ 野良猫の対策を進めてほしい。【20代 その他(福岡)】
- ・ ワンヘルスのイベントが舞鶴公園などでありましたがまだまだ少ない、もっとたくさん行って欲しいです。小規模の公園やペットグッズ屋などでも。【40代 女性(福岡)】
- ・ 基本的には良い考えだと思いますが、一方で、今熊対策などで、駆除の方針も出ています。駆除という考え方と「ワンヘルス」との関係性を説明するという方針を出した方が良いと思います。このような矛盾性が浸透を妨げるのだと思います。【60代 男性(福岡)】

- ・ ワンヘルスをどんどん広報してほしい。【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの内容を詳しく知らない人もいるから、保存できる冊子を作り配布して欲しいです。【50代 女性（福岡）】
- ・ あまり認知されていない気がするので、啓発活動をする必要があると思う。【50代 男性（福岡）】
- ・ 体験ツアーに参加して農業を勉強している。【60代 女性（福岡）】
- ・ 動物に罪は無いので、人間のモラルへの規制を強化してほしいです。密漁や乱獲など。【50代 男性（福岡）】
- ・ 近所の飼い猫による被害の訴え場所がなく、深く静かに不満が鬱積していることを、理解してほしい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ デパートの関係者から聞いた話ですが、デパ地下にある、食品ですが、売れ残りは時間帯により値下げして出来る限りフードロスを無くように頑張っているようですが、それでも売れ残った食品については廃棄処分するとの事です。デパートの思惑とか契約等、色々あるとは思いますが世間では今日食べれない人が多いと聞きます。【60代 男性（福岡）】
- ・ 舞鶴公園など、福岡市内ではイベントなどを開催しているようですが、郊外の方でもしてほしいです。【50代 女性（福岡）】
- ・ 野生動物が人間の生活圏に出没し、生活に危害が加えられた場合の住民保護の対策【40代 女性（福岡）】
- ・ あまり優先順位が高い課題ではないと思います。【60代 男性（福岡）】
- ・ 薬剤耐性に関してですが、いまだに MRSA に対してバンコマイシンを処方する医師などもあります。病院などでも容易に抗生剤を処方しないようにできるといいと思いました。人と動物が共生できるよう動物が生きやすい環境づくりをしていただきたいです。すぐに保健所で殺処分などせず、保護犬などを取り扱う施設を増やしてほしいです。【30代 女性（福岡）】
- ・ 特に環境と人と動物の良い関係作りに力を入れて頂きたい【60代 女性（福岡）】
- ・ 何を取り組んでいるのかが知られていないと感じる。取り組みをもっと PR してほしい。ワンヘルスセンターがあるのも知らなかった。【40代 女性（福岡）】
- ・ 現在、頻出するサル出没が話題になっている。今事例を防げる事が望ましいが、対策や再発防止への今取り組みに役立ってないか？【50代 男性（福岡）】
- ・ ほとんど知らない。広報活動が少ない。【40代 男性（福岡）】
- ・ 最近、猪や猿といった野生動物が、今まで出現しなかったところに出現していることについて、根本的な対策を検討して欲しい。そもそも、どうしてそのような事態になったかの分析をして、次の対策につながるベースを作ってほしい。【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスについて研究している内容やその途中経過などを公開できる範囲で発信して欲しいです。【20代 男性（福岡）】
- ・ 野生動物による人間への影響は、多くなっていると思う。海外からの侵入もあるので、今後気をつけるべき情報があれば欲しいです。【30代 男性（福岡）】
- ・ 大学や研究機関ともっと連携し、アカデミックな県「福岡」をもっと発展させていって欲しいと思います。【30代 男性（福岡）】
- ・ 県は「みやま市に全国初のワンヘルスの実践拠点となる「ワンヘルスセンター」の整備に向けて準備を進める」となっていますが具体的にはどんなものなのでしょう。また、これだけですか？【60代 男性（福岡）】
- ・ カラスが多く、生活するのが怖いので駆除してほしい。その他害獣、外来生物（ミシシippアカミミガメを含む）を積極的に駆除して、有効活用してほしい。【20

代 男性（福岡）】

- ・ 放し飼いの犬猫の対策、野生の猿や渡り鳥への対応を考えて欲しい。【60代 男性（福岡）】
- ・ 一次産業の振興を支え、農薬や食品添加物を抑えた、食による健康維持を推進していただきたい【50代 男性（福岡）】
- ・ 食品でいえば、県指定の地産や有機などを購入するとキャンペーンがあるとか、ポイントが付くとか、企画を組めば購入につながると思います。【40代 男性（福岡）】
- ・ 社会教育施設などでワンヘルスの事業を、もっと数多く実施して欲しい【50代 男性（福岡）】
- ・ 熊が絶滅した九州においては猪…近頃は猿も…との共存についての構築が課題だろう。島では日常に出会うとかだし、被害も多いよう。予防グッズを開発している企業や人物を応援する体制を強化して欲しい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ 自己免疫が大切だと思います。【40代 男性（福岡）】
- ・ 猫が増えています。猫への取り組みも対象ですか。【50代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの概念は結構幅広くて捉えにくい、という印象があります。人間と動物の共生に関するところが「ワンヘルス」という言葉と結びつきにくい、紐づいていない感じもします。取組自体は良いものと思うので、呼称やアプローチの仕方を再考するとより広く行き渡るのではないかと思います。【40代 女性（福岡）】
- ・ マダニ等の情報を詳しく公開する【60代 男性（福岡）】
- ・ お祭り騒ぎし過ぎて電気エネルギー使いすぎ。言ってることとすることの乖離がひどい。ワンヘルスなどと言ってるが中身は一般的で意義が薄い。1番の問題は人口過多で、インドと中国のやりっぱなしを問題視すべき。地球が許容できる総エネルギー量を管理してくれ！開発途上国がやりっぱなし。【60代 男性（福岡）】
- ・ 休眠農地が見受けられるが、そこで小麦の生産など地産地消はできないのですか？【40代 女性（福岡）】
- ・ もっと啓発活動をしてほしい。イベントなど【70代以上 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスと言う分かりにくい言葉ではなくこどもや高齢者でも分かりやすくイメージしやすい言葉に変える事はできないでしょうか【60代 女性（福岡）】
- ・ コロナウイルスのように、獣を通じて人間にも感染、流行したレイクビューもあるので、積極的に取り組んでほしい。【50代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの「ワン」が犬を連想してしまいますので、違う言い方のほうがいいのではないか。【40代 男性（筑豊）】
- ・ ワンヘルスとは何なのか、もっと住民への周知を広げる機会をつくってほしい。【30代 女性（筑豊）】
- ・ 県のワンヘルスの取組をよく知らないなので、しっかり知っていききたい【60代 女性（筑豊）】
- ・ そもそも、ワンヘルスという言葉あまり聞いたことがない。【30代 女性（筑豊）】
- ・ 地域猫活動の推進無責任な餌やりなどの注意喚起【50代 女性（筑豊）】
- ・ ワンヘルスの精神を守り地域自治会で啓蒙活動に取り組む。【70代以上 男性（筑豊）】
- ・ 先ずは野生動物と人間との生活のバランスを保つため、雑木林を増やして欲しいです。人工杉が多すぎます。【60代 女性（筑豊）】
- ・ インターネットでワンヘルスを調べると、以前からのフォーラムやフェスティバルなどいろんなイベントのポスターが出てきた。今年のポスターを初めて見たが、

- もっといろんなところで周知する必要があると思う。【40代 男性（筑豊）】
- ・ お年寄りやペットに人間のご飯をあげがちなので、テレビとかで防止するよう呼びかけてほしい【20代 女性（筑豊）】
 - ・ ワンヘルスは内容が多岐にわたっているの、上手に広報しないとわかりにくいと思う【60代 男性（筑後）】
 - ・ 動物愛護イベントってあまり開催されていないように感じます。告知不足なだけでしょうか。【50代 女性（筑後）】
 - ・ 福岡県でいうと色々な地方があるので、そこに分散してワンヘルスとはという活動を改めて示して欲しい。【40代 男性（筑後）】
 - ・ 国内の森林保全のために林業に重点的な補助を与えて、皆が入りたくなるように斡旋する【20代 男性（筑後）】
 - ・ 誰でもが気軽に参加できるように環境整備がされ、より取組が増えたらよいと思う。【40代 男性（筑後）】
 - ・ より沢山のイベントがあると、子供と参加できて良いと思います【40代 女性（筑後）】
 - ・ ペットを飼っている人がいても、飼い方のルールを知らない人もいるので、市などでペットの飼い方の教室を行って欲しいと思います。【60代 女性（筑後）】
 - ・ みんなが気軽に出来ることから始められるように、具体的な提案をたくさん発信したら良いと思う。発信する場合は、目的と理由とアドバイス、そして取り組むことで「こんな効果が期待出来る」とか、「こんなことを目指そう」とかは必須ですね。【50代 女性（筑後）】
 - ・ もっとアピールをしてほしい【50代 男性（筑後）】
 - ・ 小郡市では11月に入ってからサルを目撃情報が寄せられています。住宅地での目撃例と数匹存在することですが未だ捕獲に至っていません。野生動物が人間の生活圏に入ってきたときにどう対処するか。県の指針を示していただきたい。【40代 男性（筑後）】
 - ・ これからも積極的に進めていただきたい。【40代 女性（筑後）】
 - ・ 素晴らしいことだと思うので、積極的にアピールしてください！【40代 女性（筑後）】
 - ・ 飼い犬や猫など、放し飼いをやめて欲しい 近所周辺で排泄トラブルが生じている当の飼い主は認識がない【50代 男性（筑後）】
 - ・ 人間居住エリアへの接近を防ぐためにも、野生動物へのエサやりは厳しく禁止すべきだと思います。【60代 男性（筑後）】
 - ・ ワンヘルスの説明は何回読んでもよく意味が分からない。SDGs との区別がつかない。【40代 男性（筑後）】

問7 ワンヘルスについて、これまでの設問以外に意見がありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・ 概念が広過ぎてまだよく分かりにくい部分もあります。【30代 女性（北九州）】
- ・ なかなか難しい取り組みだと思います。【30代 女性（北九州）】
- ・ 日常において毎日、気をつけながら生活していかなければならない問題だと思う【50代 女性（北九州）】
- ・ エスディジーズとだぶる面があって判りにくい部分があると思う。【60代 男性（北九州）】
- ・ 「ワンヘルス」という言葉がカタカナ語で、パッと見る限りでは何を示しているのか分からないので、もう少し代替えできる言葉がないか検討しても良いと思う。【30代 女性（北九州）】
- ・ SDGsとの違いや重なる箇所を説明してほしい【60代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスは、目的が多種に渡っているのので、ある程度目的を絞って、県民に周知した方が理解しやすいのではないのでしょうか。【50代 男性（北九州）】
- ・ まだよく理解していない。ワンヘルスという概念を分かりやすくもっと浸透させてほしい。【60代 女性（北九州）】
- ・ 地球環境について、学校で学ぶ時間をたくさん取って、小さい頃から地球に優しい生活を身に付けるようになればいいと思う。【50代 女性（北九州）】
- ・ 広報誌などでその名は知っていたが、具体的な内容について正直よく分からない。周囲にもよく理解していない人が多い。その理由に「ワンヘルス」という名称にいささか問題があるように思う。子供や高齢者にも分かりやすいよう、日本語での名称も考えほしい。【40代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスというネーミングから具体的な取り組みや内容が見えてこない。もう少し分かりやすいネーミングが良いと思う。【40代 男性（北九州）】
- ・ 私も含めワンヘルスの理念や活動が、まだ十分に理解されていないと思われます。ワンヘルスに関する教育や啓発の更なる充実が、ワンヘルスの実践には必要と思います。【60代 男性（北九州）】
- ・ 「ワンヘルス」という言葉と「人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく」という言葉の内容がつながりにくいと感じる。言葉だけでなく意味まで覚えられると良いと思う。【20代 女性（北九州）】
- ・ 環境維持は重要です。人と動物の良い関係は、人間サイドから見ると危害が加えられないことが前提と考えます。保護には個数管理（多くなった場合の処置含め）が必要だと感じています。【60代 男性（北九州）】
- ・ 野山・河川・公園等の除草を自治区会としても市・県へ依頼するが予算面で対応遅れがあり、自治区会として補完しています。【70代以上 男性（北九州）】
- ・ 最近九州には生息していませんが、熊の出没が問題になるなどワンヘルスという言葉は知りませんでした。考えさせられることが増えました。福岡では猿やイノシシなどの出没が問題だと思いますが、ペットも室内で飼うことが日常化している昨今、屋外にいる動物への餌付けなど一人一人が気を付けなくてはならない状況だと感じます。【40代 女性（北九州）】
- ・ 初めて聞いた言葉でした。人畜共有感染症については、昔とはちがった住環境やペット飼育環境から気になっておりました。が、地球環境問題を含めて広い視野にたった言葉があることを勉強しました。今回の設問で、みやま市の取り組みに興味を持ちました。自分が普段からおこなっていること、今後関与できることなどがわかりとてもよかったです。【50代 女性（北九州）】

- ・ 近隣に野生の猿などがよく現れるので、野生動物と人間社会との境界をどう維持していけばいいのか悩みます【30代 女性（北九州）】
- ・ ワンヘルスという言葉自体になじみがなく、内容はよくわからない。冒頭の説明で初めて知った感じ【60代 男性（北九州）】
- ・ 今後取り組みたいことはあるか質問してもよかったのではないかと【60代 女性（北九州）】
- ・ 県の広報誌で見ました。ワンヘルスの推進は誠に広い範囲に及びます。近似には愛玩動物の飼い方の問題。食育での生産から購入そして飲食。多方面にわたってこのワンヘルスが関わっているとのこと。従ってあまりにも多方面にわたる為、いかに一人一人が身近なワンヘルスに取り組んでいくかの指針を、考えていく必要性を感じます。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 以前のアンケートの内容と同じような設問でした。それは、色々な部署や関係者が別々にやっているのでしょうか？無駄に感じてしまいます。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ テレビやラジオを使ったりして、もっともっとアピールしたらいいと思います。【60代 女性（福岡）】
- ・ 応援します。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルス？横文字で、何を言いたい言葉なのか、全く不明。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ プラスチックゴミの削減やリサイクル、リユースはまだまだ改善の余地があると思います【60代 女性（福岡）】
- ・ 全国初の『ワンヘルスセンター』の整備は県民として嬉しく期待しています。ペットを飼ったことや今後も飼う予定はありませんが、ワンヘルスの考え方を知って今後は身近な動物(ハト、カラス、虫など)を正しく理解して注意点を守りたいと思います。食品ロスを出さない、地元の食材を選ぶなども実行していきます。【60代 男性（福岡）】
- ・ 薬剤耐性菌（抗生物質などが効かない、または効きにくくなった細菌）対策も、ワンヘルスと関連して行われていたことを初めて知った。【10代 女性（福岡）】
- ・ 昨年まで犬を飼っていましたが、17歳で最後は介護も必要で夜泣きもあり、辛かったです。亡くなって1年になり、淋しさはありますが、また飼うことは考えてないです。犬のお散歩ボランティアなどがあるとやりたいなと思います。【50代 女性（福岡）】
- ・ 団地では ペット禁止ですが 犬や猫を飼っている人がいます なんとかしてほしいです【70代以上 女性（福岡）】
- ・ もう少し、大局的な視点を練ってから開始した方がいいのでは？新しいものに飛びついてやっています感を出すのもいかなものかと思います。【50代 男性（福岡）】
- ・ 県民への周知が必要！！【60代 男性（福岡）】
- ・ 自身も愛猫を飼っている動物愛好家です。病など特殊な状況を除き、殺処分をなくして行って欲しいです。この前、市政だよりに譲渡の猫ちゃんを拝見しました。
- ・ とても良い取り組みだと思いますが、掲載が少ないのが気がかりでした。県政だよりや市政だより、SNS などもっと広告媒体を拡大して、不幸な犬猫がないように、努めて行ってほしいです。ペットショップの売れ残りの子達は、どうなっているのでしょうか…ヨーロッパなど、一部の地域ではペットショップの存在すらなくしているそうですね。動物虐待などは人間の心のない、鬼畜の仕業だと思っています、更なる刑罰の厳罰化を望みます。【30代 女性（福岡）】

- ・ 人類が地球と共存していくために必要な考え方だと思います。引き続き活動を応援させていただきます。【30代 男性（福岡）】
- ・ 動物とふれあう機会はほとんどないのですが、動物とのふれあいについてしっかり考えることも健康につながるのだと知り、そういう見方もあるんだなど大変勉強になりました。普段からなるべく動物とはむやみに接触しないようにしていましたが、ワンヘルスの取り組みのことを考え、今後も節度あるふれあいにとどめたいと思います。【30代 女性（福岡）】
- ・ 何をしたら良いか、は思いつかないので提案して欲しいです【20代 男性（福岡）】
- ・ 知識が少ない人に向けて、環境のため地球のためと言って新しいビジネスや消費活動の対象にしたり、感染症を煽り無意味なワクチン接種を奨めたり、人との交流を阻害する行為をやめていただきたい。森林開発-太陽光パネルで自然が失われているいませんか？農地化が行われていますか？-耕作放棄地のほうが増えているのでは？自然環境の悪化-これも太陽光パネルや風力発電をやめていただきたい地球温暖化は本当でしょうか？地球は寒冷化に進んでいる説もあります。30年前のデータを今も使って地球温暖化などと言っているのは日本だけなのでは？世界はすでにきがついています。中国産の太陽光パネルを山に設置し、山の動物の環境を脅かしているの山動物が里に降りてきているのではないのでしょうか？新型コロナウイルス感染症はただの風邪です。また、このウイルスは人為的に作られたものであり、その他の人獣共通感染症と一緒にしてはいけません。「G7サミット」は無意味です。脱退してください。2023年の医療費は14兆円でした。「ワンヘルスセンター」を整備し、適切に（過剰に）投薬をし、更に医療利権に繋がる団体を福岡県が先駆けて行っているというのは、恥ずかしい限りです。【50代 女性（福岡）】
- ・ 全国的に熊の被害がでており、山口県にも生息が確認されていると聞いています。何らかのきっかけで九州にわたってくることがあるかと思えます。九州は里山も多く、熊やイノシシ、イタチ、タヌキなどこれまでそう多くは触れてこなかった動物との共生が必要になるかもしれません。その時のためにどのように接していったらいいのか、捕獲や駆除の実態などについて広報誌等により周知をお願いします。【60代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスは、自然エネルギーと同じで、新たな利権構造だと思います。太陽光パネル、風力発電で部材生産から廃棄処理までのトータルエネルギーで消費エネルギーが少なくなっていますか？自然環境を壊して、何が環境に優しいのでしょうか？最近の熊、鹿、猪、猿などの出没は太陽光パネル設置と関係ありませんか？そして利益は外国企業にばかり、行ってはいませんか？ワンヘルスでどんな企業に利益が向かうのですか？綺麗事をこじつけた利益誘導の政策は飽き飽きです。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 人も動物も健康で長生きできるような社会を目指した公園を作って欲しい。散歩する時ちゃんとトイレを処理できるような、責任のある飼い主を増やす。【50代 女性（福岡）】
- ・ あまりにも自家用車の不要な利用が多いように感じます。中心街の車の乗り入れの規制や駐車料に税金をかける等、対策しても良いと思います。シェアカーやレンタサイクル等も広域に利用でき少し利便性が増すとありがたいです。まだまだ制約が多いように感じます。【50代 女性（福岡）】
- ・ 「人と動物の共生を」となると何をどうすれば…と他人事になりがちですが、エコバッグ持参の様な環境保護もまわり回って取組になると言われると、それなら出来る！となります。【40代 女性（福岡）】

- ・ 宇美町の四王寺県民の森の駐車場にワンヘルスを謳った車が停まっています。関係があるでしょうか。【30代 男性（福岡）】
- ・ 妊娠時、身近なネコという動物からトキソプラズマという感染症への注意を医師より受けたことから、動物絡みの病があることを知って気を付けようという意識が芽生えた。医療機関からの助言は効果が高いと思う。【60代 女性（福岡）】
- ・ 意味がわかりやすく表記できないでしょうか・・・【70代以上 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスのイベントが舞鶴公園などでありましたがまだまだ少ない、もっとたくさん行って欲しいです。小規模の公園やペットグッズ屋などでも。【40代 女性（福岡）】
- ・ 最上位の考えは、「ワンヘルス」で良いと思いますが、一方で野生動物を駆除しなければいけない、という時に、説明をするべきです。県の中でも、部署間で認識に差があるのではないのでしょうか？【60代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルス何となく知っていましたが、今回の設問でよくわかりました。【60代 男性（福岡）】
- ・ ペットの飼育は最後まで健康で飼うのが義務だから、多頭飼うやネグレクトにならないように、動物病院などからワクチン接種や定期検診のお知らせ等をこまめにだして飼い主さんの意識に働きかけて欲しい。【50代 女性（福岡）】
- ・ 「野生動物にはむやみに近づかない、餌付けをしないなど、適正な距離を保つことを理解している（人と動物の共生社会づくり）」とありますが、うちの前の川では、魚や鳥にパンくずを与えている人が多くいます。注意しても、次から次へといろいろな方がきます。もっとテレビ放映等で、野生動物に餌付けをしないなど告知が必要だと思います。【40代 女性（福岡）】
- ・ ひとりひとりが自覚を持って取りくむ必要があると思う。【60代 女性（福岡）】
- ・ 福岡県はアジアの窓口なので、博多港始め輸入受付が多いので、海外からの危険生き物の検疫を強化してほしいです。【50代 男性（福岡）】
- ・ 動物や鳥類を守ることは確かに重要であるが、その保護のため河川の浚渫に反対するような動きは問題がある。何よりも人命を守ることを優先してほしい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスが包括的な概念で、ぼやける。内容をみると、うなずけるものだけど。「環境と人と動物のより良い関係づくり」など、個々にPRしたほうが良い気がする。ワンヘルスって言葉からイメージできる内容ではなく、なじみにくい。日本語表現したほうが理念が伝わりやすいと思う。【40代 男性（福岡）】
- ・ デパートの関係者から聞いた話ですが、デパ地下にある、食品ですが、売れ残りは時間帯により値下げして出来る限りフードロスを無くように頑張っているようですが、それでも売れ残った食品については廃棄処分するとの事です。デパートの思惑とか契約等、色々あるとは思いますが世間では今日食べれない人が多いと聞きます。なら、フードロスの観点から廃棄処分する食品をなんとか世間に還元できる仕組みは無いものか？また、その為に行政として動いて欲しいと思います。【60代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスのシンポジウムに参加したのですが、ゲストの坂上忍さんも福岡県の取り組みにとっても感心していました。ですが、ワンヘルス自体を知らない県民の方も多く、様々な取り組みを結び付けて定着させていくことがひつような・・・と思いました。【50代 女性（福岡）】
- ・ 最近、農地から住宅地まで、猪、鹿が増えて困っていますが、その対策を推進してほしい。【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 動物との共生や環境保護にとっても興味があるので普及できるとありがたいです。

【30代 女性（福岡）】

- ・ワンヘルスが概念的イメージで具体策へ落とし込めていない様に感じる。大枠でいえば、3R活動などもワンヘルスの一環なのでは？日常生活で地球環境を意識する場面は限りない。全国発の施設が浸透への施策を発信してほしい。（ロゴ設定、活動強化期間設定など）【50代 男性（福岡）】
- ・今後、動植物と人間の関係を理解するための、研究が進むと良いと考える。そして、その研究成果を学校教育や県民への啓発活動に活かせるよう、県としてしっかり取り組んでほしい。【40代 男性（福岡）】
- ・ワンヘルスの存在を初めて知りました。とても素晴らしい取り組みだと思います。個人的にとっても関心があるので、今後の活動展開に期待しています。【20代 男性（福岡）】
- ・やっとなんヘルスという言葉聞く機会が増えてきます。動物が好きな人は多いはずなので、もっとみんなで取り組めるようなことを地域ごとに行えれば良いと思います。例えば大濠公園は絶好の犬の散歩場所になっています。そこでイベントなどをすれば飼い主だけでなく、ランナーにも興味を持たせることができたり、子ども連れの家族にもアピールができると思います。【50代 女性（福岡）】
- ・日本のラグビーチームが掲げたフレーズを参考にしたいのですが、ネーミングが二番煎じ。犬のワンかと思いました。皮肉です。【70代以上 男性（福岡）】
- ・自然環境の悪化や地球温暖化防止等の大きな問題を含んでおり、県にはあまり期待していませんが、精々頑張ってください。【60代 男性（福岡）】
- ・特に緑膿菌や MRSA の新たな薬剤耐性菌を生まないために、引き続き適切な薬剤の使用を求めます。【20代 男性（福岡）】
- ・野生動物を狩猟でとって食べる場合の注意点を広報してほしい。【60代 男性（福岡）】
- ・「人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増える」ことと、新型コロナウイルス感染を関連付けるのは乱暴ではないでしょうか？〇〇大学の〇〇教授はコロナウイルスは人工である可能性に触れています。「買い物の際にはレジ袋をもらわず、エコバッグを持参し、プラスチックごみの削減に貢献する」は、単に有料だからレジ袋をもらっていないだけです。レジ袋の有料化はどれだけプラスチックごみの削減に繋がっているのか？公表されているのでしょうか？環境に配慮するのであれば、太陽光発電や風力発電の推進を止めるべき。外国資本による土地買収を止め、豊かな日本の自然を守り、食料自給率を向上させるために農業、林業など一次産業をもっと保護すべき。【50代 男性（福岡）】
- ・ワンヘルスについて範囲が広いので、勉強します。【40代 男性（福岡）】
- ・公園などで餌を与えているのは少し違うと思っている。自然形態のバランス等を探って、栄養状況を良くして個体数が増えるのは避けたい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ゼロリスクはありません。【40代 男性（福岡）】
- ・開発途上国の意識を向上させる運動をすべき！発展途上国の人口問題を見てると、インドで不妊手術補助金で不妊手術をしていたのを思い出す。ワンヘルスの中に人口抑制を入れられないのか？赤十字の赤ちゃんを守ろうなど寄付はもうやめていいのではないのか？日本の人口増加に金を使うべき。【60代 男性（福岡）】
- ・とても大切なことなのでもっと皆さんの関心が高まるような啓発活動をしてほしい。【70代以上 女性（福岡）】
- ・本日飯塚のコミュニティセンターで「遠賀川流域の文化誌」という講座を受けて

来たのですが、その中で先生が「これらのことも福岡が進めているワンヘルスにつながるんです」と説明されていてとても共感しました。遠賀川流域の川のお話を中心でしたが、日本経済大学の校章の説明でそのような内容のお話をしてくださいました。川の話、山の話、それぞれスポットを当てて広報でもっとワンヘルスについてお話を聞かせて頂ければ嬉しいです。【50代 女性（筑豊）】

- ・ 人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増え・・・日本では、この認識は間違っています。高齢化や過疎化に伴い耕作放棄地などが増え雑木林や竹林、畑の手入れができていないため人里に野生動物が近づき繁殖していることが野生動物との接触が増えた原因です。耕作放棄地や空き家の草刈り等を行い野生動物を近づけないようにすることが重要です。【50代 男性（筑豊）】
- ・ 人間が自然の摂理に従っていない気がします。【60代 女性（筑豊）】
- ・ とくにありません。【70代以上 男性（筑豊）】
- ・ 虫の対策をたくさんやってほしいです【20代 女性（筑豊）】
- ・ 物価高で安価な時に多く購入し冷凍保存するなど、大変悪循環となっています。相次ぐ値上げは商品だけにとどまらず、便乗値上げや説明不能なケースが見られます。見て見ぬ振りも、もうできない。【60代 男性（筑後）】
- ・ 子供達にも触ってはいけない、コウモリなどの動物や死骸など教えて欲しい。【30代 女性（筑後）】
- ・ ここまで世界温暖化が騒がれていますが、具体的にこうした方がいいと努力するしないが存在し、重要性も人それぞれで受け方が違う。温暖化を止めたいのであれば動きを制限するしかないと思う。【20代 男性（筑後）】
- ・ あまり馴染みのない言葉なので、まだまだ周知する必要があると思う。【40代 男性（筑後）】
- ・ 筑後船小屋のワンヘルスのイベントに参加しました。子供達が動物と、触れ合い楽しそうにしていました。今後もワンヘルスのイベントがあれば理解が深まるのではないかと思います。【40代 女性（筑後）】
- ・ 地産地商の商品を購入出来る機会を、自治体で月一回でも朝市みたいな感じで行って、生産者さんとも触れ合えることが出来たらいいなと思います。【60代 女性（筑後）】
- ・ 全ての生き物を飼うにあたっては登録制などの把握が必要では？放し飼いの禁止とか？ 罰則など【50代 男性（筑後）】

令和5年度
県政モニターアンケート調査結果

テーマ: 県の観光振興について

福岡県 商工部 観光局 観光政策課

1. 調査の目的

観光は、関連する産業の裾野が広く、商工業、農林水産業をはじめ幅広い分野にわたって地域経済への波及効果をもたらします。人口減少、少子高齢化が進む中、観光振興に取り組むことにより、交流人口を拡大し、地域に消費と雇用を生み出すことは、地方創生の観点から重要です。

福岡県では、地方創生の観点から、観光を重要な産業と位置付け、県内各地域に観光客を呼び込み県内に消費と雇用を生み出すため、「福岡県観光振興指針」を策定し、観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、「持続可能な観光先進県 福岡」の実現を目指しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、激減した観光入込客が、コロナ禍以前の水準まで回復しつつあり、旅行者の旅行に対する意識も変化している中、令和6年春に日本最大級の観光キャンペーン「J R デスティネーションキャンペーン」を福岡県と大分県で実施するなど、大型イベントを控えています。

県民皆さまのご意見をお聴かせいただき、今後の観光振興施策の参考とさせていただくため、観光の現状について調査を行いました。

2. 活用状況

今後の観光振興施策の基礎資料として活用します。

3. 調査時期

令和5年11月17日～令和5年12月7日

4. 回答者の構成

項目	計		福岡	北九州	筑後	筑豊
	人数	構成比				
総数	人数	363	188人	93人	54人	28人
	構成比		51.8%	25.6%	14.9%	7.7%
性別	女性	202	101人	57人	27人	17人
	男性	159	86人	36人	26人	11人
	その他	2	1人	0人	0人	1人
年代別	20代以下	57	27人	14人	11人	5人
	30代	58	31人	14人	9人	4人
	40代	70	38人	17人	11人	4人
	50代	63	32人	17人	10人	4人
	60代	85	41人	24人	12人	8人
	70代以上	30	19人	7人	1人	3人

5. 回答結果

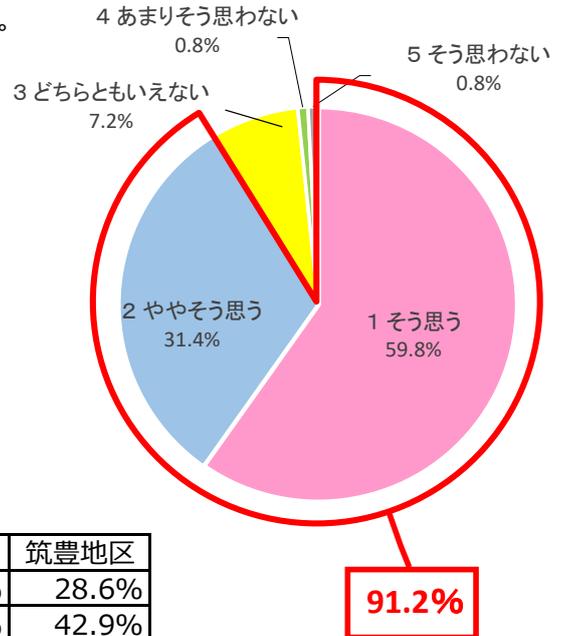
【回答結果の注意点】

- ・集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある
- ・2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある

問1 あなたは、福岡県が住民にとって暮らしやすいまちであると思いますか。
(n=363、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 そう思う	217人	59.8%
2 ややそう思う	114人	31.4%
3 どちらともいえない	26人	7.2%
4 あまりそう思わない	3人	0.8%
5 そう思わない	3人	0.8%

※赤字は割合が最も多いもの。



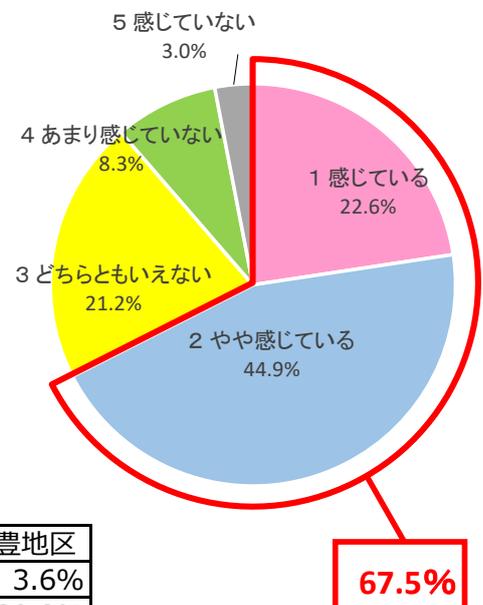
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 そう思う	68.6%	54.8%	53.7%	28.6%
2 ややそう思う	26.1%	38.7%	31.5%	42.9%
3 どちらともいえない	3.7%	6.5%	11.1%	25.0%
4 あまりそう思わない	0.5%	0.0%	1.9%	3.6%
5 そう思わない	1.1%	0.0%	1.9%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問2 あなたは、観光振興による福岡県の活気を実感していますか。
(n=363、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 感じている	82人	22.6%
2 やや感じている	163人	44.9%
3 どちらともいえない	77人	21.2%
4 あまり感じていない	30人	8.3%
5 感じていない	11人	3.0%

※赤字は割合が最も多いもの。



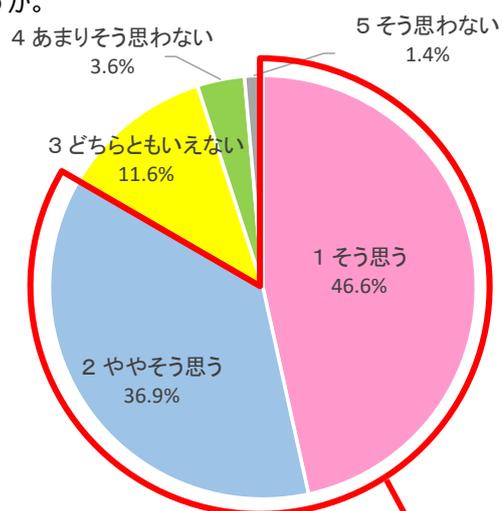
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 感じている	27.7%	20.4%	18.5%	3.6%
2 やや感じている	45.7%	47.3%	40.7%	39.3%
3 どちらともいえない	18.1%	18.3%	24.1%	46.4%
4 あまり感じていない	6.4%	11.8%	11.1%	3.6%
5 感じていない	2.1%	2.2%	5.6%	7.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3 あなたは、福岡県を海外を含む他地域の人に紹介したいと思いますか。
 (n=363、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 そう思う	169人	46.6%
2 ややそう思う	134人	36.9%
3 どちらともいえない	42人	11.6%
4 あまりそう思わない	13人	3.6%
5 そう思わない	5人	1.4%

※赤字は割合が最も多いもの。



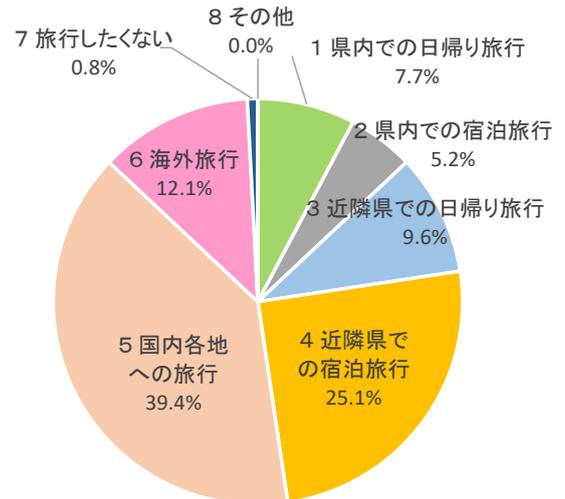
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 そう思う	46.8%	50.5%	44.4%	35.7%
2 ややそう思う	39.4%	30.1%	35.2%	46.4%
3 どちらともいえない	10.1%	14.0%	13.0%	10.7%
4 あまりそう思わない	3.2%	4.3%	1.9%	7.1%
5 そう思わない	0.5%	1.1%	5.6%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4 あなたは、今後、旅行をしたら、どのような旅行を考えていますか。
(n=363、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 県内での日帰り旅行	28人	7.7%
2 県内での宿泊旅行	19人	5.2%
3 近隣県での日帰り旅行	35人	9.6%
4 近隣県での宿泊旅行	91人	25.1%
5 国内各地への旅行	143人	39.4%
6 海外旅行	44人	12.1%
7 旅行したくない	3人	0.8%
8 その他	0人	0.0%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

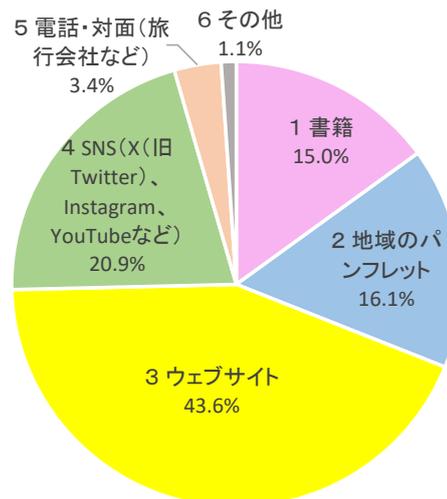
	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 県内での日帰り旅行	6.4%	10.8%	7.4%	7.1%
2 県内での宿泊旅行	3.7%	7.5%	9.3%	0.0%
3 近隣県での日帰り旅行	10.1%	6.5%	13.0%	10.7%
4 近隣県での宿泊旅行	23.4%	28.0%	22.2%	32.1%
5 国内各地への旅行	40.4%	37.6%	37.0%	39.3%
6 海外旅行	14.9%	8.6%	9.3%	10.7%
7 旅行したくない	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%
8 その他	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4-2 問4で「8(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=0)

問5 あなたは、旅行に行くとき、どのような方法で情報を集めますか。
 (回答数=741、複数選択可)

	人数	割合
1 書籍	111人	15.0%
2 地域のパンフレット	119人	16.1%
3 ウェブサイト	323人	43.6%
4 SNS (X(旧Twitter)、 Instagram、 YouTubeなど)	155人	20.9%
5 電話・対面 (旅行会社など)	25人	3.4%
6 その他	8人	1.1%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 書籍	15.9%	15.5%	11.9%	12.7%
2 地域のパンフレット	16.2%	17.5%	13.8%	14.5%
3 ウェブサイト	44.5%	41.3%	44.0%	45.5%
4 SNS (X(旧Twitter)、 Instagram、 YouTubeなど)	20.5%	20.4%	23.9%	20.0%
5 電話・対面 (旅行会社など)	2.2%	4.9%	3.7%	5.5%
6 その他	0.8%	0.5%	2.8%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問5-2 問5で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=8)

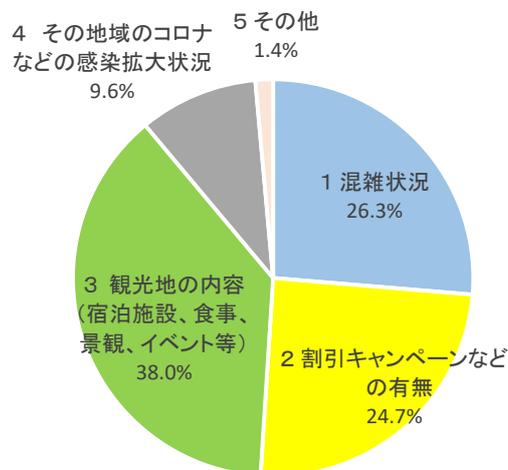
【主な意見(抜粋)】

・現地の人に尋ねる

問6 あなたが、旅行先について特に気になることは何ですか。
(回答数=843、複数選択可)

	人数	割合
1 混雑状況	222人	26.3%
2 割引キャンペーンなどの有無	208人	24.7%
3 観光地の内容 (宿泊施設、食事、 景観、イベント等)	320人	38.0%
4 その地域のコロナ などの感染拡大状況	81人	9.6%
5 その他	12人	1.4%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 混雑状況	27.0%	26.6%	23.6%	26.6%
2 割引キャンペーンなどの有無	24.3%	24.5%	23.6%	29.7%
3 観光地の内容 (宿泊施設、食事、 景観、イベント等)	39.7%	35.8%	37.8%	34.4%
4 その地域のコロナ などの感染拡大状況	7.6%	11.8%	12.6%	9.4%
5 その他	1.4%	1.3%	2.4%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問6-2 問6で「5(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的にしてください。(n=12)

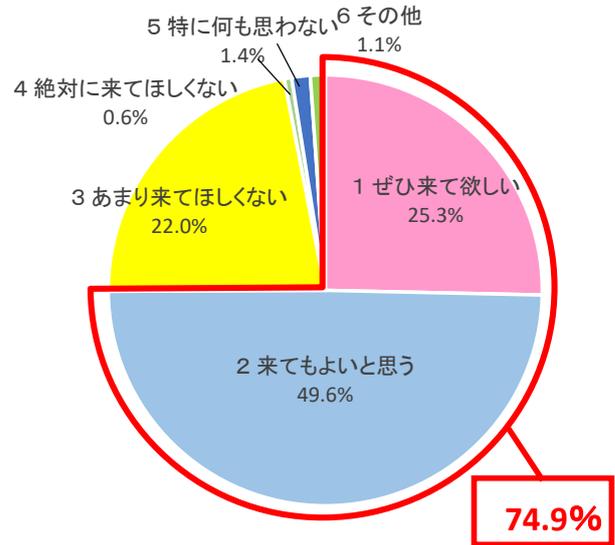
【主な意見(抜粋)】

- ・治安の良さ
- ・子ども連れで過ごしやすいか

問7 あなたは、海外からの観光客の受入れについて、どのように思いますか。
(n=363、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 ぜひ来て欲しい	92人	25.3%
2 来てもよいと思う	180人	49.6%
3 あまり来てほしくない	80人	22.0%
4 絶対に来てほしくない	2人	0.6%
5 特に何も思わない	5人	1.4%
6 その他	4人	1.1%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 ぜひ来て欲しい	27.7%	17.2%	27.8%	32.1%
2 来てもよいと思う	51.1%	50.5%	48.1%	39.3%
3 あまり来てほしくない	19.7%	28.0%	20.4%	21.4%
4 絶対に来てほしくない	0.5%	1.1%	0.0%	0.0%
5 特に何も思わない	0.5%	2.2%	3.7%	0.0%
6 その他	0.5%	1.1%	0.0%	7.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7-2 問7で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=4)

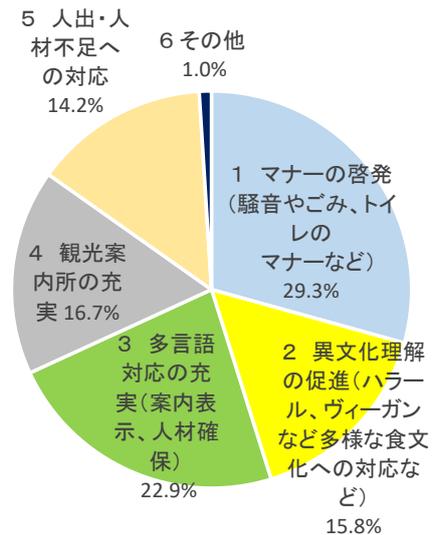
【主な意見(抜粋)】

- ・ごみのポイ捨てをするなどのマナーの悪い外国人は来て欲しくない

問8 海外からの観光客を円滑に受け入れるために必要な施策は何だと思いますか。
(回答数=1016、複数選択可)

	人数	割合
1 マナーの啓発 (騒音やごみ、トイレのマナーなど)	298人	29.3%
2 異文化理解の促進 (ハラル、ヴィーガンなど多様な食文化への対応など)	161人	15.8%
3 多言語対応の充実 (案内表示、人材確保)	233人	22.9%
4 観光案内所の充実	170人	16.7%
5 人出・人材不足への対応	144人	14.2%
6 その他	10人	1.0%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 マナーの啓発 (騒音やごみ、トイレのマナーなど)	29.3%	30.7%	28.5%	26.3%
2 異文化理解の促進 (ハラル、ヴィーガンなど多様な食文化への対応など)	16.0%	15.4%	17.4%	13.8%
3 多言語対応の充実 (案内表示、人材確保)	23.8%	22.1%	20.1%	25.0%
4 観光案内所の充実	16.4%	16.5%	18.1%	17.5%
5 感染防止対策	13.7%	13.5%	15.3%	17.5%
6 その他	0.8%	1.9%	0.7%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問8-2 問8で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=10)

【主な意見(抜粋)】

・雨の日でも活気や観光客が増えるよう、お店や観光案内所のある地下道を設けてはどうか

問9 県の観光振興について、これまでの設問以外にご意見がある場合は、その内容を具体的に入力してください。
(回答数=152)

【主な意見(抜粋)】

(受入環境の整備、充実)

- ・Wi-Fiやキャッシュレス決済の環境整備を進めるべき
- ・AI、ロボット等のデジタル技術を活用し、外国人観光客にも対応できるような仕組みづくりが大切
- ・外国語ができる人材が不足している。外国語教育、やさしい日本語で話す教育や、通訳の充実などしてほしい
- ・公共交通機関や飲食店における多言語化対応が不足している
- ・交通が不便な地域における交通の利便性向上が必要
- ・多くの観光バスがホテル周辺の道に停まり、渋滞を引き起こしているので、駐車場の整備が必要
- ・夜間、空港に国際線が到着した時の交通手段の確保が必要
- ・観光防災について周知すべき
- ・外国人観光客に対して、日本の文化やマナーをもっと周知してほしい
- ・観光客が増えることにより、地域住民が暮らしにくならないように留意してほしい

(観光資源の魅力向上、造成)

- ・博多の祭り、食べ物、ショッピングや太宰府天満宮以外に紹介できるスポット、観光の目玉がないと感じるので観光資源の強化が必要
- ・政令市以外の市町村の魅力づくりと情報発信による観光振興をしてほしい
- ・日本の観光地として選ばれるような、日常的な魅力や豊かな自然を活かした体験型の旅行商品を作ってほしい
- ・カテゴリー別など初めて来た人にも分かりやすい、地方をめぐる旅行のモデルケースを複数作ってほしい
- ・テーマパークや大型商業施設を誘致してほしい
- ・子供連れが喜ぶサービスや施設を検討してほしい
- ・近代的なビルの誘致だけでなく、町並みや歴史など福岡らしさが分かるようなまちづくりをしてほしい
- ・観光資源となるような、ゆるキャラを作って観光振興してほしい

(情報発信・プロモーション)

- ・訴求力の高い芸能人やインフルエンサーの起用による積極的な広報をしてほしい
- ・まだ注目されていない地方の魅力をSNSや動画サイトを用いてPRしてほしい
- ・外国人観光客や日本に在住する外国人に日本文化やマナーを学んでもらい、発信してもらうことで、正しいマナーの広まりや日本に興味を持つ人が増える期待ができるのではないかと
- ・世界遺産を活用した観光プロモーションをもっとしてほしい
- ・太宰府天満宮以外の歴史的遺産を活用した観光振興を全国的に展開すべき
- ・福岡の避密の旅のような割引施策が再度あれば嬉しい

(観光振興の体制強化)

- ・人手不足の解消、賃金向上に向けて、補助金を充実してほしい
- ・観光客により、民間企業が潤うような施策をしてほしい
- ・ボランティアガイドの養成を充実してほしい
- ・観光客が福岡を旅行先に選んだ理由など、多様化した旅行ニーズを分析の上、施策に活かしてほしい

(その他)

- ・コロナやその他の感染症などがあるので、国内外からの観光客が増えることが不安
- ・受け入れる日本人も外国の文化や言語を学ぶ機会を増やして、異文化理解が進んでほしい
- ・観光は不安定要素が大きいので、観光以外の産業も豊かにしてほしい

<今後のまちづくりについて>

【調査の目的】

人口減少・少子高齢化の加速化、自然災害の激甚化・頻発化等、社会情勢は大きく変化しています。また、都市計画においても、中心市街地（※1）の空洞化、地域のにぎわいや活力の低下、地域の暮らしを支える様々な生活サービス提供機能の低下・衰退等の課題に直面しています。

そこで、今後の福岡県まちづくりの基本的な方針の見直しのため、皆様の現状やご意見をお伺いし、今後のまちづくりの参考とさせていただきたいと思えます。

【活用状況】

都市計画基本方針の改定に向け、現状の確認とこれまで行ってきた施策の検証及びその方向性を検討するための資料として活用する。 (建築都市部 都市計画課)

※1 中心市街地とは

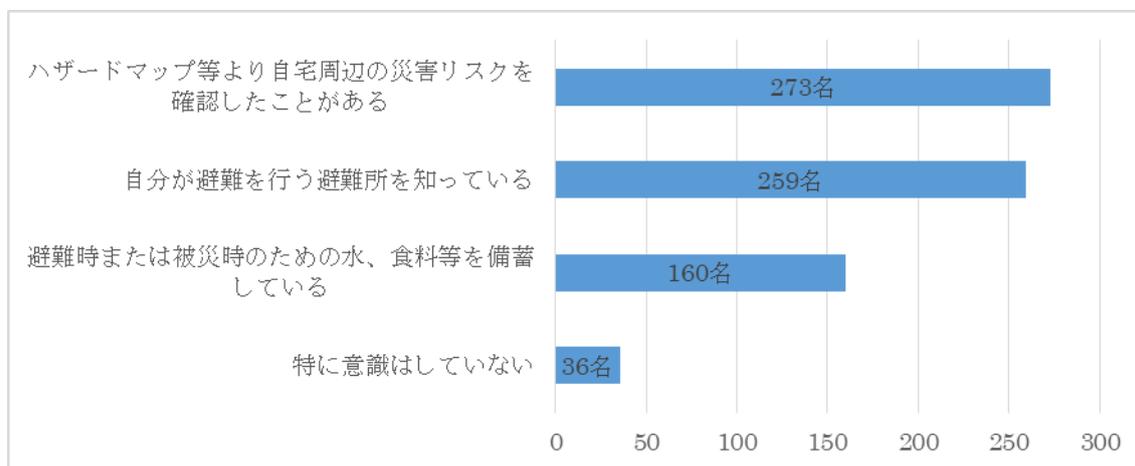
地域の中心となるところ。人口が集中し、商業、行政、文化、交通施設等が集まっているエリア。

1. 近年、激甚化・頻発化する豪雨による水災害や土砂災害、津波災害等に対応する「防災・減災のまちづくり」について

問1 自然災害に対する備えについて該当するものを下記より【すべて】選んでください。

(回答件数 728 件 複数回答可)

1	ハザードマップ等より自宅周辺の災害リスクを確認したことがある	37.5%	(273名)
2	自分が避難を行う避難所を知っている	35.6%	(259名)
3	避難時または被災時のための水、食料等を備蓄している	22.0%	(160名)
4	特に意識はしていない	4.9%	(36名)



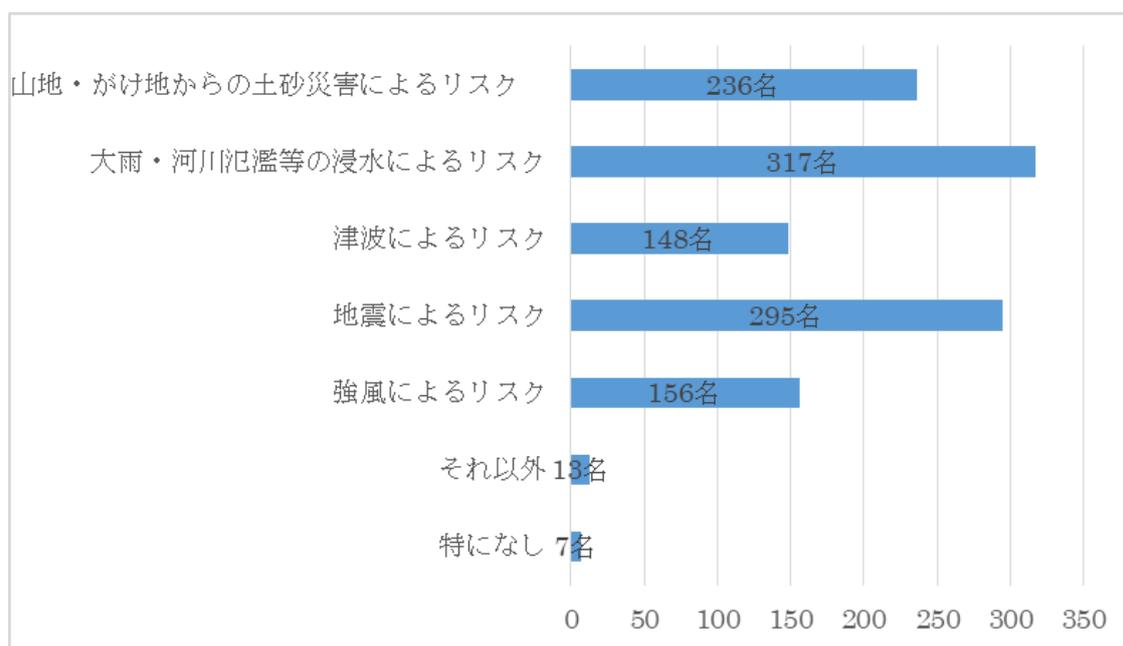
問2 お住まいの地域に限らず、今後の災害に対応したまちづくりで重視すべき項目を下記より【すべて】選んでください。

(回答件数 1172 件 複数回答可)

1	山地・がけ地からの土砂災害によるリスク	20.1%	(236名)
2	大雨・河川氾濫等の浸水によるリスク	27.0%	(317名)
3	津波によるリスク	12.6%	(148名)
4	地震によるリスク	25.2%	(295名)
5	強風によるリスク	13.3%	(156名)
6	それ以外(該当する場合は具体的に)	1.1%	(13名)
7	特になし	0.6%	(7名)

[6 それ以外 の回答例(抜粋)]

- ・竜巻によるリスク
- ・降雪によるリスク

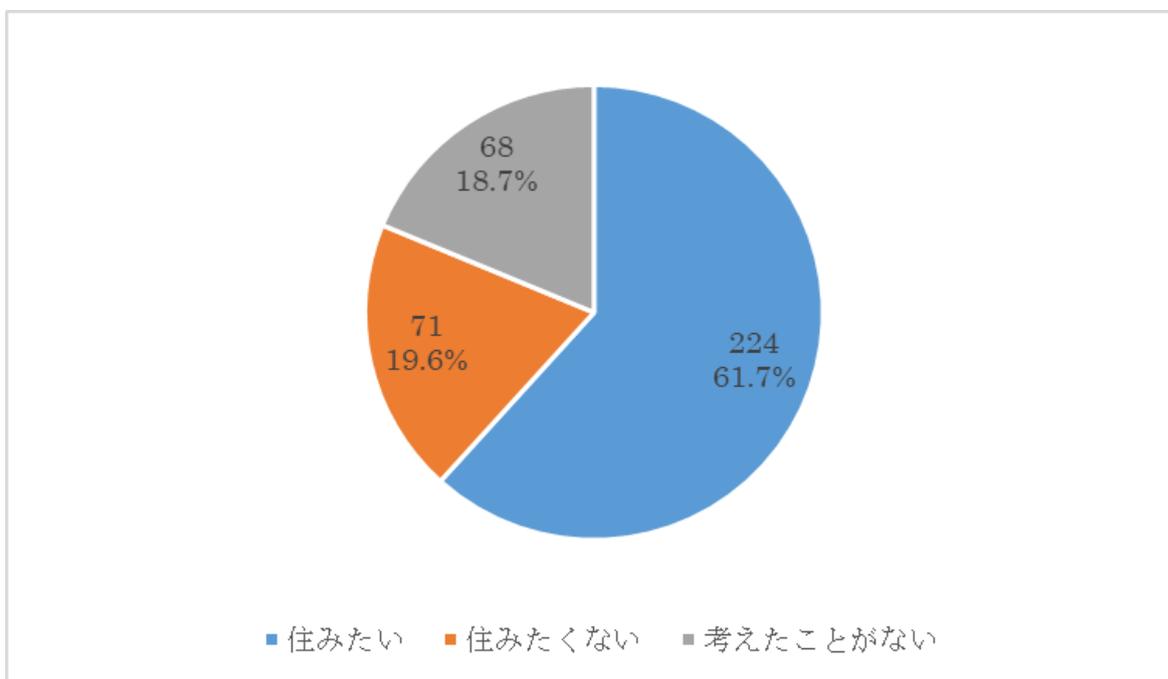


2. 環境負荷が少なく、多様な世代が快適で魅力ある生活を中心市街地で送ることのできる「持続可能なまちづくり」について

問3 今後も、中心市街地に住みたいかについて次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=363 選択は1つのみ)

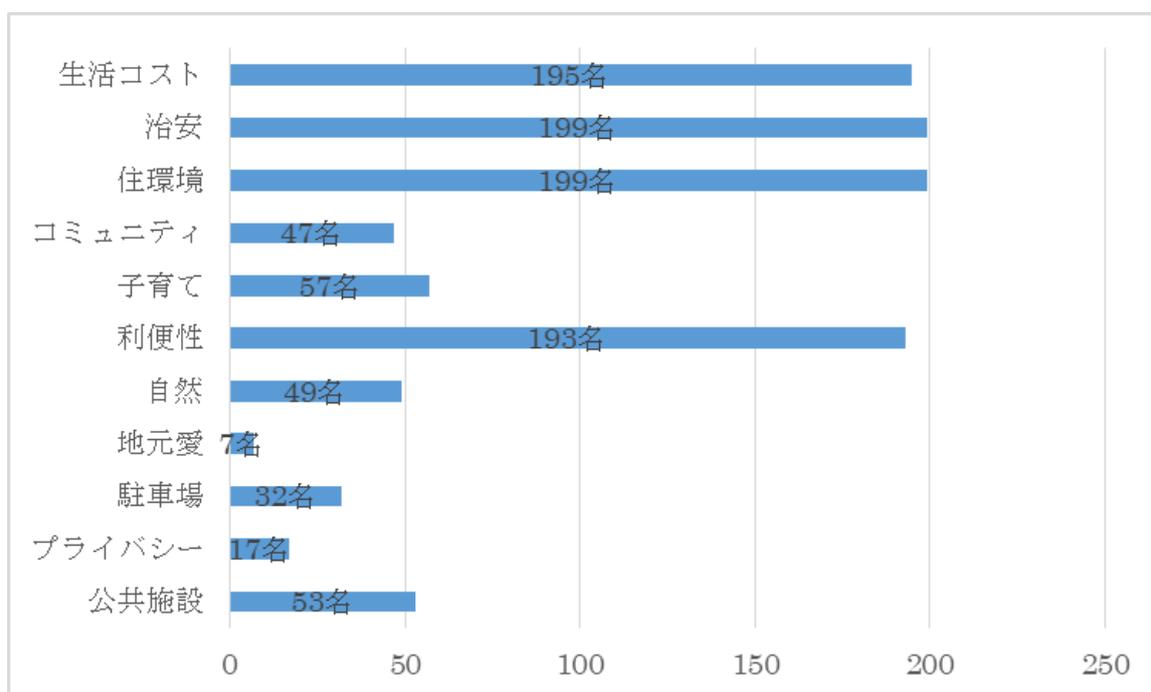
1	住みたい	61.7%	(224名)
2	住みたくない	19.6%	(71名)
3	考えたことがない	18.7%	(68名)



問4 中心市街地に住む場合、もしくは住まない場合の選択をする際、重視する項目について次の中から【3つだけ】選んでください。

(回答件数 1048 件 選択は3つまで)

1	生活コスト	18.6%	(195 名)
2	治安	19.0%	(199 名)
3	住環境	19.0%	(199 名)
4	コミュニティ	4.5%	(47 名)
5	子育て	5.4%	(57 名)
6	利便性	18.4%	(193 名)
7	自然	4.7%	(49 名)
8	地元愛	0.7%	(7 名)
9	駐車場	3.1%	(32 名)
10	プライバシー	1.6%	(17 名)
11	公共施設	5.1%	(53 名)



3. コロナ禍等がもたらした生活や活動の変化によって生じた人々の意識や価値観の変化・多様化を受け入れる「個性豊かで、にぎわいあふれるまちづくり」についてお伺いします。

問5-1 人々の意識や価値観の変化・多様化を把握するため、あなたが日々の暮らしにおいて幸せと感じるのはどういうとき(どのようなこと)ですか？【自由に】お答えください。

〔回答(抜粋)〕

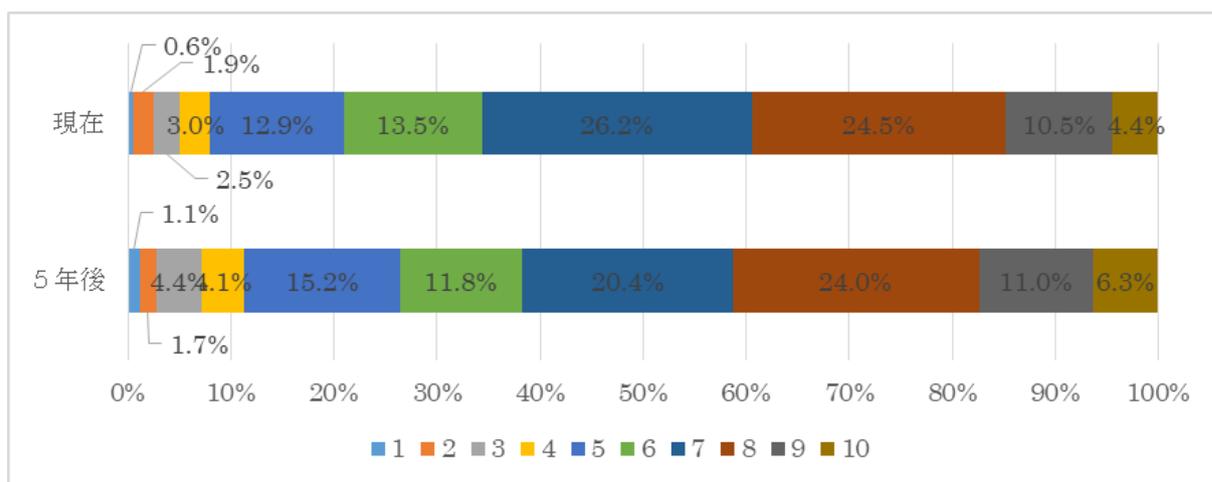
- ・孫と近隣の公共施設等で一緒に遊ぶ時。
- ・家族と出かける時や趣味の読書をしている時。
- ・近くの自然で季節の変化を感じられる時。
- ・登山などをして自然に触れあえる時。
- ・交通が便利で、近くに美味しい飲食店があり気楽に訪れることが出来る時。
- ・日向ぼっこをしながら好きな音楽を聴き、縁側で読書している時。
- ・海外からたくさんの人たちが訪れているのを見た時。
- ・資格取得のために勉強をしたり手話を学んだりする時間や気分転換に散歩をしている時。
- ・外出時において、多くの方の笑顔を見る時。
- ・趣味やお稽古の仲間と過ごす時。
- ・家族とごはんを食べているとき、心地よい気温の中で散歩している時。
- ・スポーツレッスンに通うとき、友達と会っておしゃべりする時。
- ・家族と一緒に出かけをする時、地域のお祭りに参加する時。
- ・健康でおいしいものを食べられる時。温泉に入る事。
- ・美味しいものを食べて、安心して毎日を暮らせる事。
- ・地産地消の安全な食べ物を食べ、自由に移動出来、自由に時間を使える時。
- ・家に引きこもって好きなことをしている時。働いてない時。
- ・ライブやスポーツ観戦で、声出しや応援が普通にできるようになったこと。
- ・自分が能力をフルに発揮できると感じられる時。
- ・雨風を凌げる家があり、3度の食事が出来、健康で過ごせている事。
- ・時間に追われることなく食事や休息が取れる時。
- ・ゆっくり布団に入って寝られる時。お風呂に浸かる時。
- ・大濠公園を走っている時。愛宕神社から福岡市を眺めている時。
- ・就寝前に1日家族が無事で過ごせたことを思う時。
- ・好きな人と喋る時。趣味の野球観戦の時。
- ・地域猫と遊んでいる時。

問5-2 問5-1において、最も理想とする状態を10として、現在の状態を平均するとどれぐらいですか？また、5年後の状態はどれぐらいになると思いますか。次の中から【該当する数字】を選んでください。

	←					→				
	最悪な状態					最も理想的な状態				
現在	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5年後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(n=363 選択は1つのみ)

	現在		5年後	
1	0.6%	(2名)	1.1%	(4名)
2	1.9%	(7名)	1.7%	(6名)
3	2.5%	(9名)	4.4%	(16名)
4	3.0%	(11名)	4.1%	(15名)
5	12.9%	(47名)	15.2%	(55名)
6	13.5%	(49名)	11.8%	(43名)
7	26.2%	(95名)	20.4%	(74名)
8	24.5%	(89名)	24.0%	(87名)
9	10.5%	(38名)	11.0%	(40名)
10	4.4%	(16名)	6.3%	(23名)



令和5年度第6回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	370		92	192	57	29
	構成比		100.0%	24.9%	51.9%	15.4%	7.8%
性別	女性	207	55.9%	55	104	30	18
	男性	161	43.5%	37	87	26	11
	その他	2	0.5%	0	1	0	1
年代別	20代以下	58	15.7%	13	30	11	4
	30代	62	16.8%	14	32	11	5
	40代	71	19.2%	16	38	12	5
	50代	65	17.6%	18	32	11	4
	60代	85	23.0%	24	41	12	8
	70代以上	29	7.8%	7	19	0	3

モニター数 398人

回答数 370人

回収率 92.96%

実施期間 R5.12.8～R6.1.8

【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

<飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について>

【調査の目的】

福岡県では、深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」（以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。）が平成24年9月に全面施行されました。本条例に基づき、本県では飲酒運転撲滅に係る様々な取組を実施しています。これらの周知状況等について県民の皆様の御意見をお聴かせいただき、今後、効果的な取組を推進する上での参考とさせていただきたいと思っております。

【活用状況】

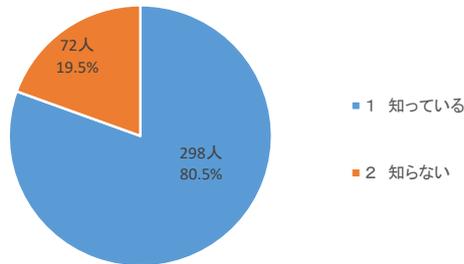
- ・飲酒運転撲滅条例の内容を始め、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

(人づくり・県民生活部生活安全課)

問1 あなたは、福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベル(参考:令和4年は全国ワースト6位)であることを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

1 知っている	80.5%	(298人)
2 知らない	19.5%	(72人)

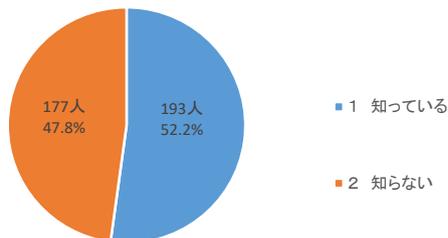


問2 福岡県では、更なる飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、令和2年6月に、飲酒運転撲滅スローガンの変更(「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」)や飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務化を始めとした、飲酒運転撲滅条例の改正が行われました。

あなたは、このように条例が改正されたことを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

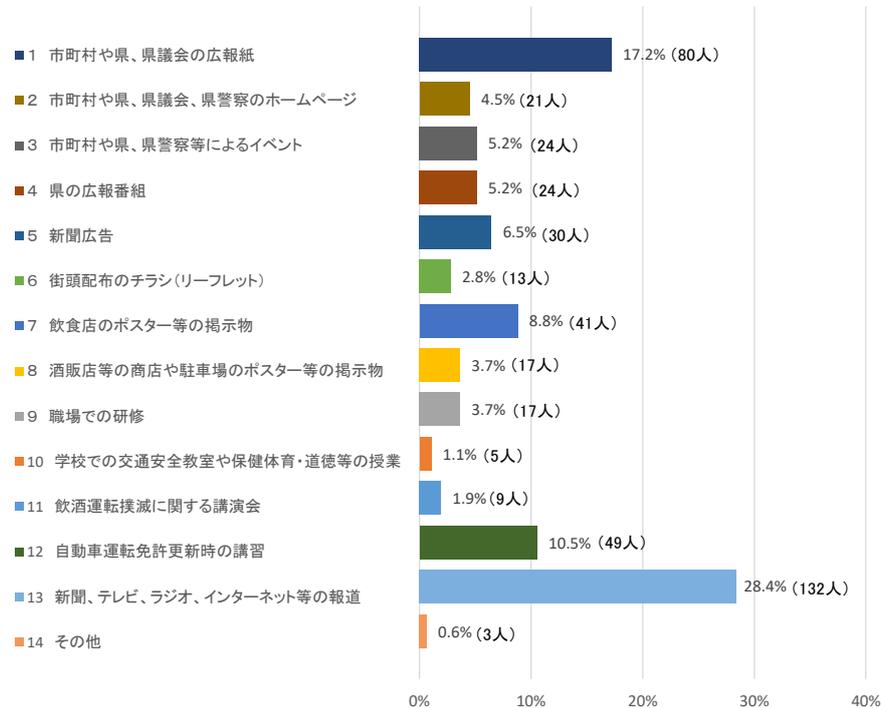
1 知っている	52.2%	(193人)
2 知らない	47.8%	(177人)



問2-2 (問2で「1」を選択された方にお尋ねします。)
 あなたが、飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけは何ですか。
 次の中から該当するものを【すべて】選んでください。

(回答者数193人、回答件数465件、複数選択可)

1	市町村や県、県議会の広報紙	17.2%	(80人)
2	市町村や県、県議会、県警察のホームページ	4.5%	(21人)
3	市町村や県、県警察等によるイベント	5.2%	(24人)
4	県の広報番組	5.2%	(24人)
5	新聞広告	6.5%	(30人)
6	街頭配布のチラシ(リーフレット)	2.8%	(13人)
7	飲食店のポスター等の掲示物	8.8%	(41人)
8	酒販店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	3.7%	(17人)
9	職場での研修	3.7%	(17人)
10	学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	1.1%	(5人)
11	飲酒運転撲滅に関する講演会	1.9%	(9人)
12	自動車運転免許更新時の講習	10.5%	(49人)
13	新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	28.4%	(132人)
14	その他	0.6%	(3人)



問2-2-2 問2-2で「14」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=3)

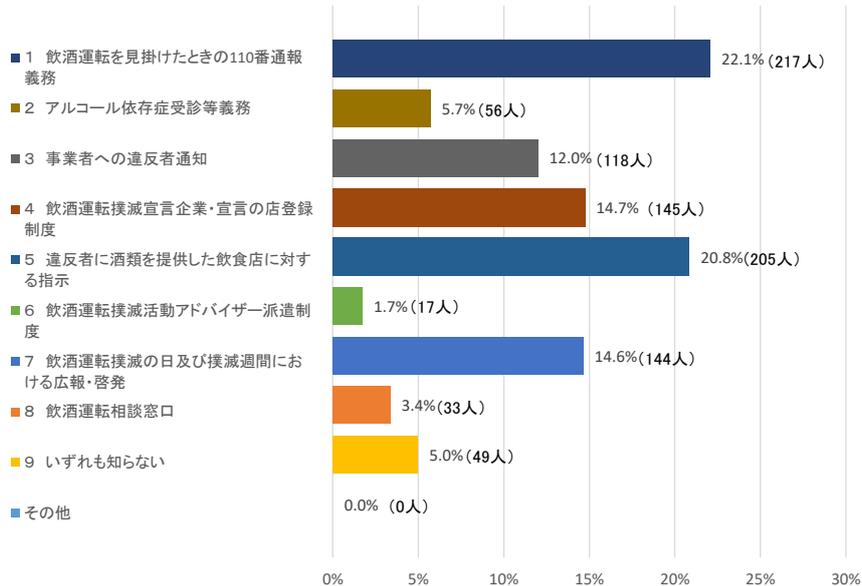
親戚に交通事故による死亡事故があったから
条例施行の切っ掛けになった事故の報道。
特に福岡市役所などの公務員の飲酒運転に関する報道。
街なかにあるデジタルサイネージ広告

問3 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。

次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数370人、回答件数984件、複数選択可)

1 飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務	22.1%	(217人)
2 アルコール依存症受診等義務	5.7%	(56人)
3 事業者への違反者通知	12.0%	(118人)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	14.7%	(145人)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	20.8%	(205人)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.7%	(17人)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	14.6%	(144人)
8 飲酒運転相談窓口	3.4%	(33人)
9 いずれも知らない	5.0%	(49人)
10 その他	0.0%	(0人)



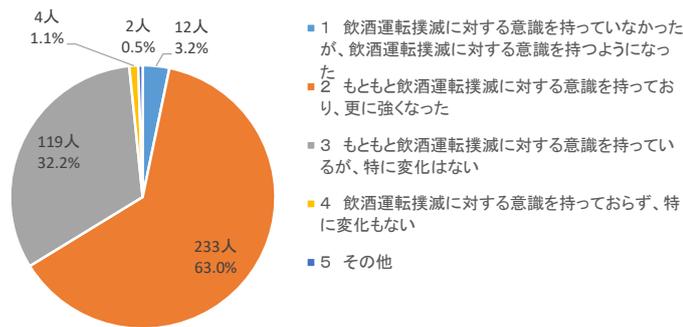
問3-2 問3で「10」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=0)

問4 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、御自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	3.2%	(12人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っており、更に強くなった	63.0%	(233人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	32.2%	(119人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	1.1%	(4人)
5 その他	0.5%	(2人)



問4-2 (問4で「1」を選択した方にお尋ねします。)

飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的にしてください。

(n=12)

一部抜粋
重大な交通事故の報道を見るたびに、自分は気をつけて運転しようと思っています。
20代で運転免許を取得した。その頃はシートベルトにしる、飲酒運転にしる、規制も緩く、意識が低かった。 しかし、事故の報道を見たり規制の法律ができたりして意識を変えてきた。社会全体も飲むときには「車は？」「飲酒運転」などが自然に会話の中に出るようになってきた。
家での晩酌が増えました。 外食をするときに場所や交通の方法をよく考えて選ぶようになりました。
飲んだら乗らない

問4-3 問4で「5」を選択された場合は、その内容を具体的にしてください。

(n=2)

運転免許証を返納している。飲酒運転の可能性は無い。ただ、心がけは運転者に伝達する。
私自身は、お酒が飲めないで知識不足な所もありますが、友達とご飯に行く時などは、私がドライバーになり、友達も「お酒飲んでるから迎えきて」など、飲酒運転をしない友達を見ている！ ただ、知人などは、少しの距離だから！と運転している人もいると、耳に入ったりもします。 友達の中で、飲酒運転をする人は居なくなりましたが、知人などは「近い距離だから」と、自分は大丈夫だと思って軽く考えてる人もいます。

問5 飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=204)

飲酒運転撲滅の意識について(抜粋)
飲酒運転する人はだいぶ減っていると思う。私の周りでは、まだ規制が緩い時代に飲酒運転していた年代の方が飲酒運転しているケースをよく見かけるがニュースを見ると普通に若者がしているケースも多いと思う。個々人がその危険さを意識して自分だけではなくたくさんの人を巻き込んでしまう可能性があることを理解した上で運転することが大事と思う。
意識は高まっているのではないかと思います、抜けていると思ったという方がとても多いように感じます。 車に乗る前に、アルコールが残っているかどうかチェックしてから乗るなどの習慣がつかないと良いのではないかと思います。 まずは飲んだら飲むな、飲むなら乗るなを徹底しないととは思いますが。
飲酒は好きだが車の運転ができないので、正直なところ飲酒運転がなぜ発生してしまうのかが分からない。なので飲酒運転をさせない、という外からの働きかけだけでなく、なぜ飲酒運転をしてしまうのか、という「する側」の考え方を知りたいと思う。
海の中道で起こった飲酒運転による幼児3人死亡事故の事を県民が忘れることなく心に刻み、若い世代に伝えていくことが飲酒運転をなくすことにつながると思う。
飲酒運転をする人が「これくらいなら大丈夫」という甘い気持ちでいることが問題なので、福岡で実際に起きた悲惨な事故を繰り返しメディアで伝え続けることが大切だと思います。理想は車自体にアルコールチェッカーを付けて基準値を超えたら運転できないといった技術の進歩が望まれますが、まだまだ難しいので、やはり少しずつでも意識を変えていくことだと思います。特に田舎では人の目が少なく、見つからないからと気が大きくなって人が多いと思うので…
福岡県が飲酒運転件数が多く、かつ海の中道の事故をきっかけに飲酒運転撲滅の活動や啓発を積極的に行なっていることは認識していましたが、内容については詳しく知りませんでした。私や私の周りでは「飲酒運転はしない」が当たり前の認識になっており、深く考えたり調べたりしたことがありませんでした。本アンケートを機にどのような法律・条例があるのか、どのような組織・団体がどのような活動をしているのかに関心を持ちました。

飲酒運転撲滅の取組について(抜粋)
飲酒運転の撲滅のためには、時間はかかりますが、啓発活動を継続的に進めていくしかないと思います。
福岡県では海の中道大橋の事故以来、飲酒運転防止に対する啓発が盛んになっているが、いまだに、飲酒運転が減らないことに、驚いている。 学校での啓発活動も大切だが、やはり免許更新時の啓発などもっと充実したらいいと思っている。
県内における飲酒運転のニュースを度々見かけるが、いまだに飲酒運転が存在すること自体が信じられない。ちょっとくらい大丈夫と思う層が少なからず存在するというところだろうが、飲酒の場面においてポスターなどでの啓発を続けるしかないのかなどは思う。
お店などで掲示されている(飲酒運転撲滅やハンドルキーパー的なの)は見かけたことがあるのですが、飲みに行く方でパーキングエリアに停めて行く人もいるかと思うので、パーキングエリアへの掲示も効果的と感じました。明らかに飲まれてる様子で、パーキング料金を払っていたりすと張り紙があれば、警察に連絡しやすいし、飲酒運転しようとする側もやりづらいのではないかなと思いました。
飲酒したら運転しないを成人するまでにしっかりと繰り返し学ぶことが大事だと思う。大人には職場で、共通認識出来るように健康診断くらいするようなタイミングで飲んだら運転しない、飲ませたらハンドル握らせない事と毎年話し合えるような機会を設けたら良いと思う。
私が幼少期の時は飲酒運転に対しておらかな雰囲気があったが、ニュースで取り上げられたり飲酒運転は許されないと啓発運動も盛んになり世の中の雰囲気が変わってきていると感じる。 これからの世代への飲酒運転は許されないという教育が大切だと感じる。
20年前くらいは1杯位なら飲酒運転をする人が許されていた気がしますが、特に福岡県では海の中道の事故以降飲酒運転をする人が私の周りだけでなく、人づてにも聞きませんので、未だに飲酒運転をしている人がいることが信じられません。 あの事故以来罰則も厳しくなり、良識ある人はそこで意識の改善が行われたと思っています。 今なお飲酒運転をしている人は、良識がない又は依存症なのではないかと思っています。 飲酒運転をした人のどれくらいが依存症であるのか、データは出ていると思いますので、その方たちをケアしてほしいです。
飲食店での飲酒は、店側が車で来店していないか確認したり運転者にはアルコールを提供しないなどの抑制措置を取ることができるが、自宅・屋外での飲酒は個人の範疇なので、運転を阻止することが難しい。車体にアルコールを検知したらエンジンがかからない、等の設備をつける施策をメーカーと共に進めてほしい。

《 障がいを理由とする差別の解消について 》

【調査の目的】

福岡県では、障がいのある人もない人も、分け隔てられることなく、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会、共生社会の実現を目指し、平成29年に「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を制定しました。

この条例では、全ての人に対し、障がいを理由とする差別の解消と、障がいのある人への合理的配慮の提供(※1)を行うことを求めており、県では、その実現に向けて取組を行っています。

これらの周知状況等について県民の皆さまの御意見をお聴かせいただき、今後、取組を推進する上での参考とさせていただきたいと思っております。

【活用状況】

・福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例の内容を広く県民に周知するための参考資料として活用。

・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(福祉労働部障がい福祉課)

※1「合理的配慮の提供」とは

障がいのある人から、社会の中にあるバリア(社会的障壁(※2))を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

※2「社会的障壁」とは

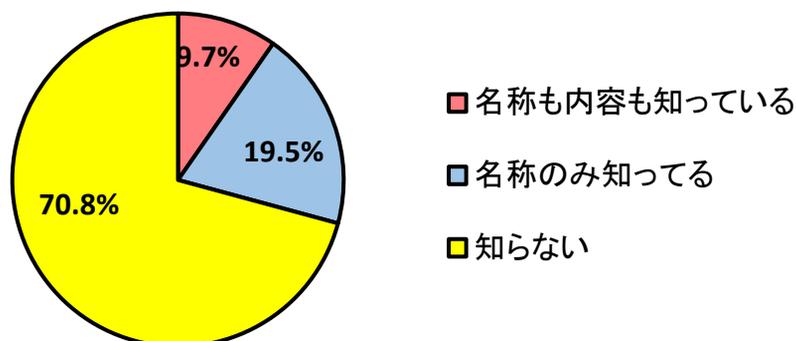
日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念、偏見その他一切のもののこと。

回答者数 → 370

問1 あなたは、「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数370人 選択は1つのみ)

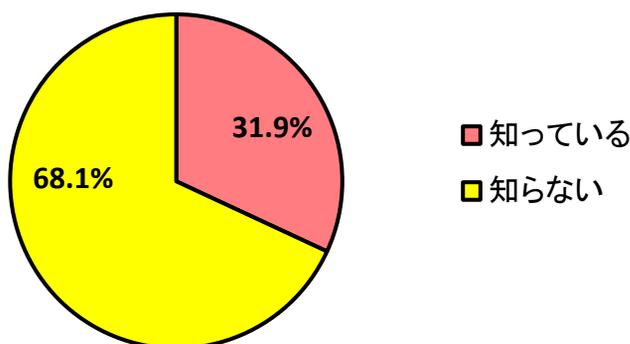
1 名称も内容も知っている	9.7%	(36人)
2 名称のみ知ってる	19.5%	(72人)
3 知らない	70.8%	(262人)



問2 あなたは、条例でも規定されている「合理的配慮の提供」という考え方を知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数370人 選択は1つのみ)

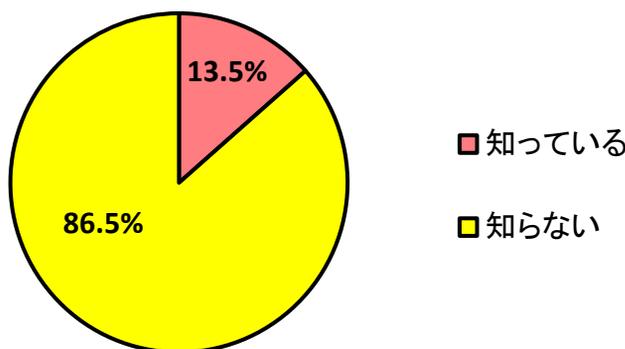
1 知っている	31.9%	(118人)
2 知らない	68.1%	(252人)



問3 あなたは、障がいを理由とする差別や合理的配慮の提供に関する相談を受け付けている「障がい者差別解消専門相談窓口」を県が設置していることを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数370人 選択は1つのみ)

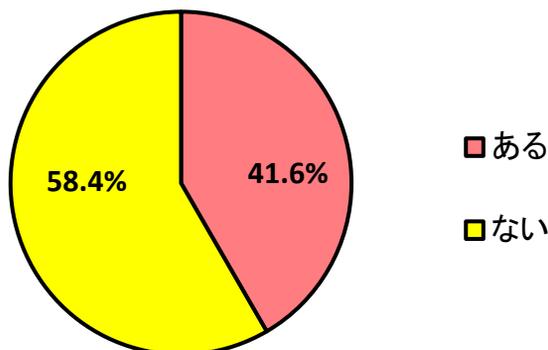
1 知っている	13.5%	(50人)
2 知らない	86.5%	(320人)



問4 あなたは、過去1年間で、障がいのある人に支援や配慮をしたことがありますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数370人 選択は1つのみ)

1 ある	41.6%	(154人)
2 ない	58.4%	(216人)



(問4で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

問4-2 どのような支援や配慮をしたか、その内容を具体的に入力してください。

[抜粋]

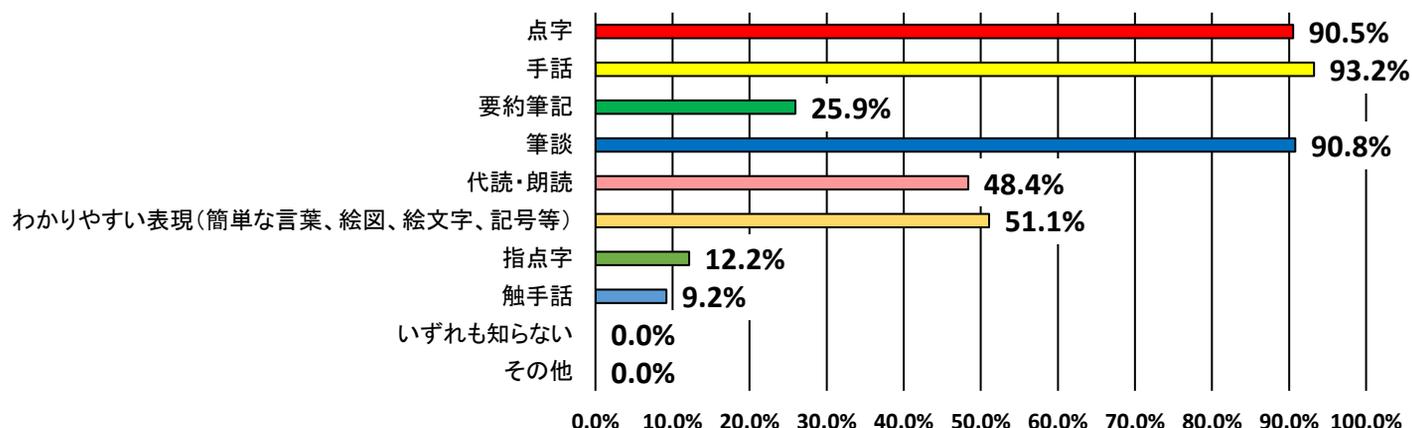
- ・ 視覚障がいのある方を目的地まで案内した。
- ・ 障がい者枠で入社した社員へのOJTにおいて、大きな文字での資料作成や相手の理解に合わせた説明を行った。
- ・ 聴覚障がいのある人が困っていた時に、手話でコミュニケーションを取った。

問5 障がいのある人とコミュニケーションをとるときに使われる手段や配慮を知っていますか。
あなたが知っているものを【全て】選んでください。

(回答者数370人 回答件数1,559件 複数回答可)

1	点字	90.5%	(335人)
2	手話	93.2%	(345人)
3	要約筆記	25.9%	(96人)
4	筆談	90.8%	(336人)
5	代読・朗読	48.4%	(179人)
6	わかりやすい表現(簡単な言葉、絵図、絵文字、記号等)	51.1%	(189人)
7	指点字	12.2%	(45人)
8	触手話	9.2%	(34人)
9	いずれも知らない	0.0%	(0人)
10	その他	0.0%	(0人)

※回答者370人に対する割合

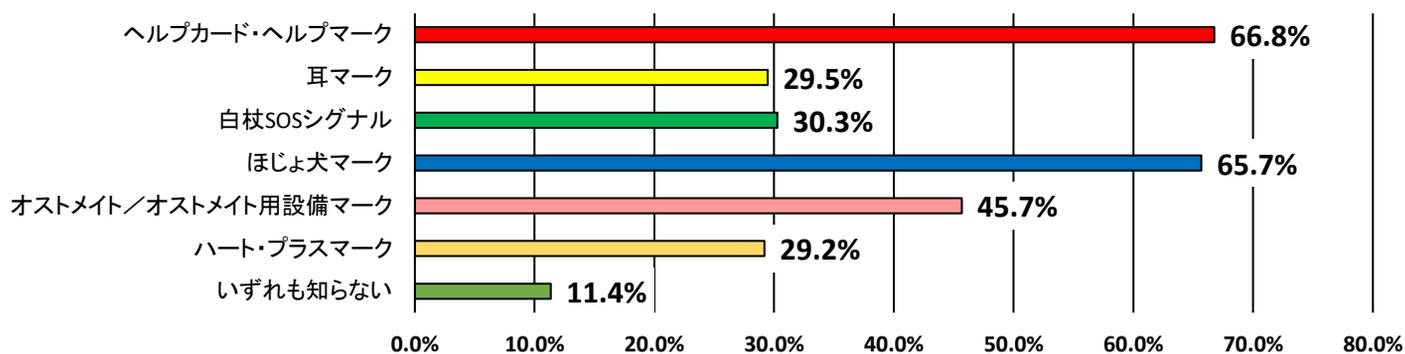


問6 あなたは、次のマーク等を知っていますか。知っているものを【全て】選んでください。

(回答者数370人 回答件数1,030件 複数回答可)

1	ヘルプカード・ヘルプマーク	66.8%	(247人)
2	耳マーク	29.5%	(109人)
3	白杖SOSシグナル	30.3%	(112人)
4	ほじょ犬マーク	65.7%	(243人)
5	オストメイト／オストメイト用設備マーク	45.7%	(169人)
6	ハート・プラスマーク	29.2%	(108人)
7	いずれも知らない	11.4%	(42人)

※回答者370人に対する割合



1 ヘルプカード・ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。



(ヘルプカード) (ヘルプマーク)

2 耳マーク

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。



3 白杖SOSシグナル

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚障がいのある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。



4 ほじょ犬マーク

公共の施設、交通機関、民間施設での補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)の受け入れを義務付けている身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。



5 オストメイト／オストメイト用設備マーク

オストメイトとは、がんなどで人工肛門・人工膀胱を造設している人のことをいいます。このマークはオストメイトである事と、オストメイトの為に設備(オストメイト対応のトイレ)があることを表しています。



6 ハート・プラスマーク

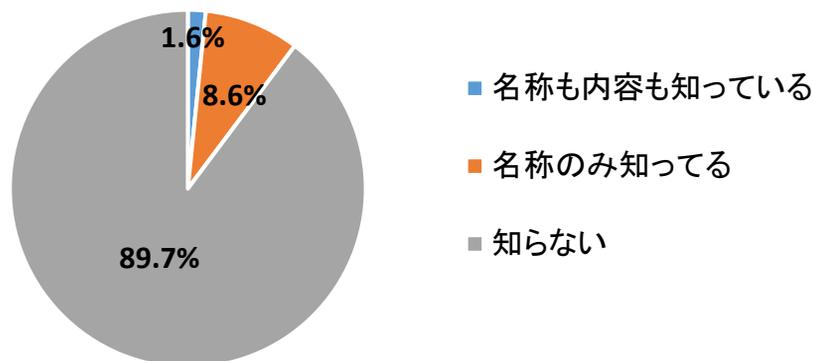
「身体内部に障がいがある人」を表しています。身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能等)に障がいがある人は外見からは分かりにくいので、様々な誤解を受けることがあります。内部障がいのある人の中には、電車などの優先席に座りたい、障がい者用駐車スペースに車を止めたい、といったことを希望していることがあります。



問7 あなたは、「福岡県手話言語条例」を知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数370人 選択は1つのみ)

1 名称も内容も知っている	1.6%	(6人)
2 名称のみ知ってる	8.6%	(32人)
3 知らない	89.7%	(332人)



問8 障がい者を理由とする差別の解消について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

〔意見(抜粋)〕

【差別解消・合理的配慮】

- ・ 障がい者の差別解消という思いを持っている人は多いと思うが、とっさに障がいのある人に出会ったときにどう対応したらいいのかわからない人も多いのではないかな。
- ・ 障害と呼ばれるものでも、配慮された環境であれば障害ではなくなる、障がいのある人も支援者もお互いに過ごしやすいことができるということを、広く知ってもらう必要があると思う。
- ・ 障がいのある人に対する差別は間違った認識によるものや無知によって起こっていると感じる。正しい知識がオープンになればなるほど世間で意識されている差別は少なくなると思う。

【教育】

- ・ 義務教育の時は、できるだけ障がいのある子どもと一緒に授業を受けるようにしたら、障がいのある人への差別の認識がなくなるのではないかな。
- ・ 簡単な手話を覚えられるように学校でも時間をとってもらえたら良い。障がいのある人と一緒に交流出来るイベントなども沢山あると良い。

【バリアフリー】

- ・ まずは、公共施設等から障がいのある人にやさしい環境づくりを進め徐々に民間へ浸透していくように支援してほしい。

福岡県ワンヘルス認証制度について

【調査の目的】

福岡県では、令和3年1月に「ワンヘルス推進基本条例」が制定、令和4年3月には本県のワンヘルス（※）の推進に関する取組を体系的に整理した「ワンヘルス推進行動計画」を策定しました。この計画に基づき、令和4年9月に、食の安全・安心や環境に配慮した取組などワンヘルスの理念に沿って生産・販売される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設したところです。

制度創設当初よりワンヘルス認証の認知度向上を目標とし、大手量販店でのフェア開催やテレビCM放映など様々な取組を行っております。

このたび、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後のワンヘルス認証推進の参考とさせていただきますと考えております。

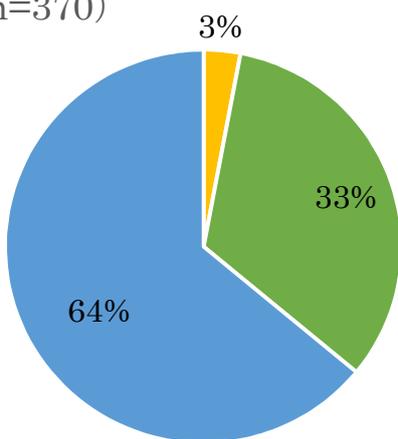
（農林水産部食の安全・地産地消課）

※ ワンヘルスとは

人と動物の健康と環境の健全性は相互に密接につながり、強く影響しあう1つのもので、これらの健全な状態を一体的に守っていこうという考え方。

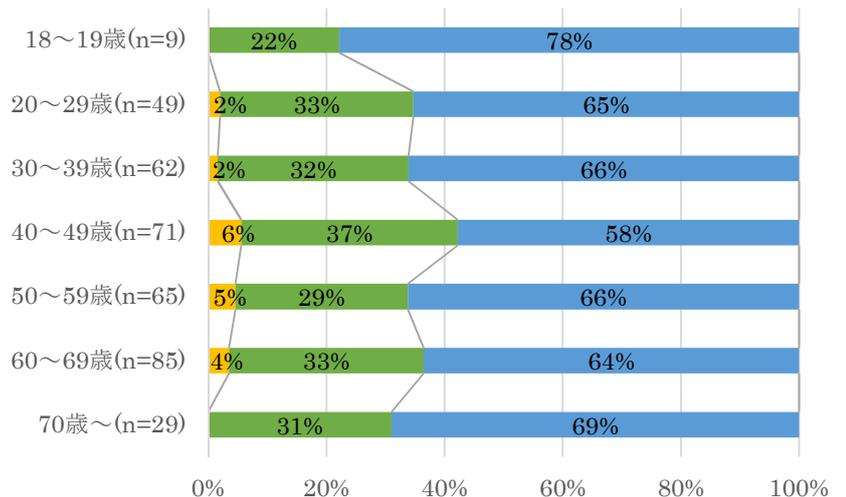
問1 福岡県ワンヘルス認証制度について知っていましたか
次の中から【1つだけ】選んでください。

全体 (n=370)



■ よく知っている ■ 知っている ■ 知らない

年代別

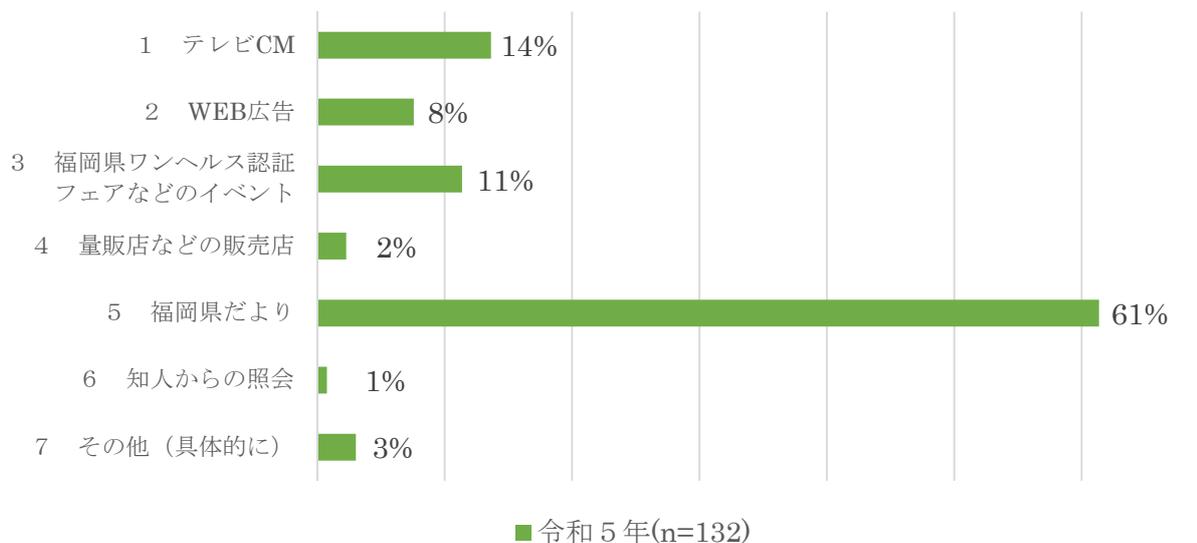


■ よく知っている ■ 知っている ■ 知らない

・福岡県ワンヘルス認証制度の認知度は、世代を問わず3割程度である。

問2 (問1で「1」または「2」を選択された方にお尋ねします。)

ワンヘルス認証農林水産物はどこで知りましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。



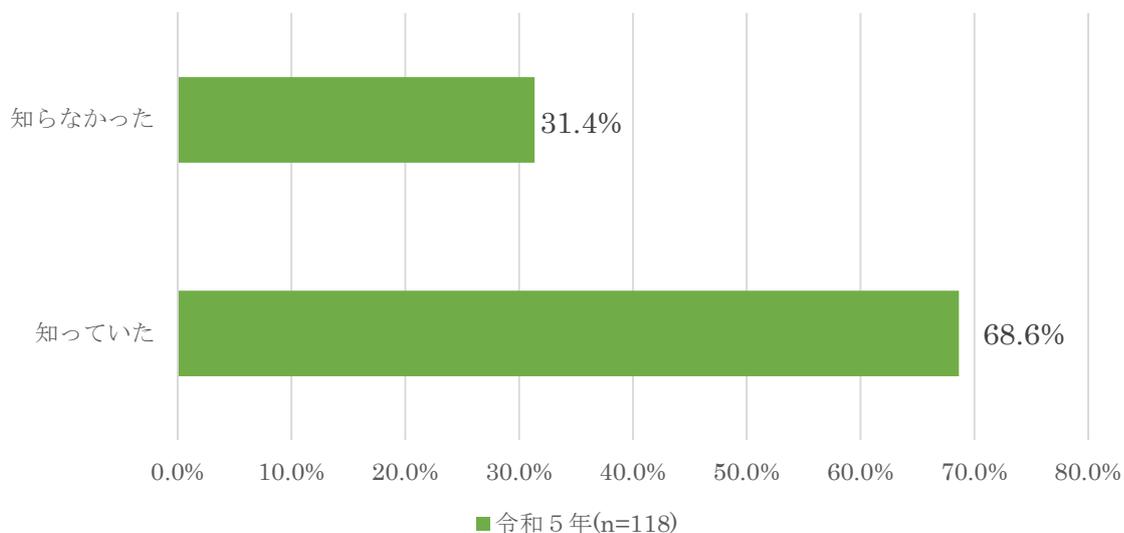
・「福岡県だより」の割合が高いことから、ワンヘルス認証農林水産物の認知度を向上するためには広報誌等での情報発信を継続していく必要がある。

問2-2 問2で「7その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・県政で知った。(18～19歳、福岡地区、女性)
- ・新聞で知った。(40～49歳、福岡地区、男性)
- ・前回の県政モニターで知った。(20～29歳、福岡地区、男性)
(40～49歳、筑豊地区、男性)

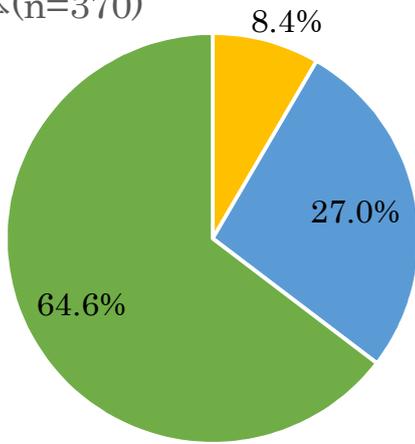
問3 (問1で「1」または「2」を選択された方にお尋ねします。)

ワンヘルス認証農林水産物が食の安全・安心や環境に配慮して生産された農林水産物であることを知っていましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。



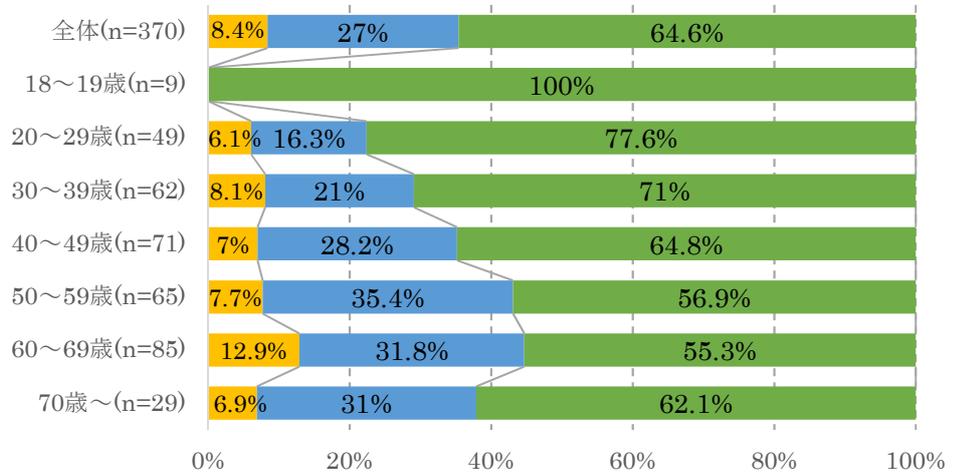
問4 これまでワンヘルス認証農林水産物を購入したことはありますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

全体(n=370)



■ 購入したことがある ■ 購入したことがない
■ わからない

年齢別

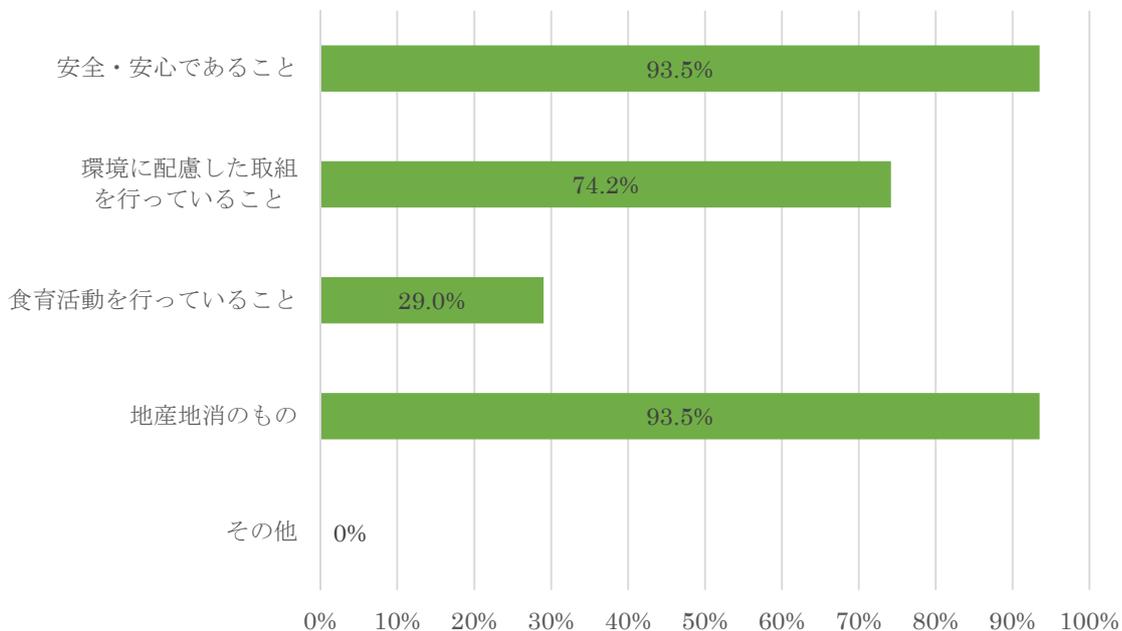


■ 1 購入したことがある ■ 2 購入したことがない ■ 3 わからない

・「購入したことがある」と回答した割合は、いずれの世代においても、1割程度であった。

問5 (問4で「1」を選択された方にお尋ねします。)

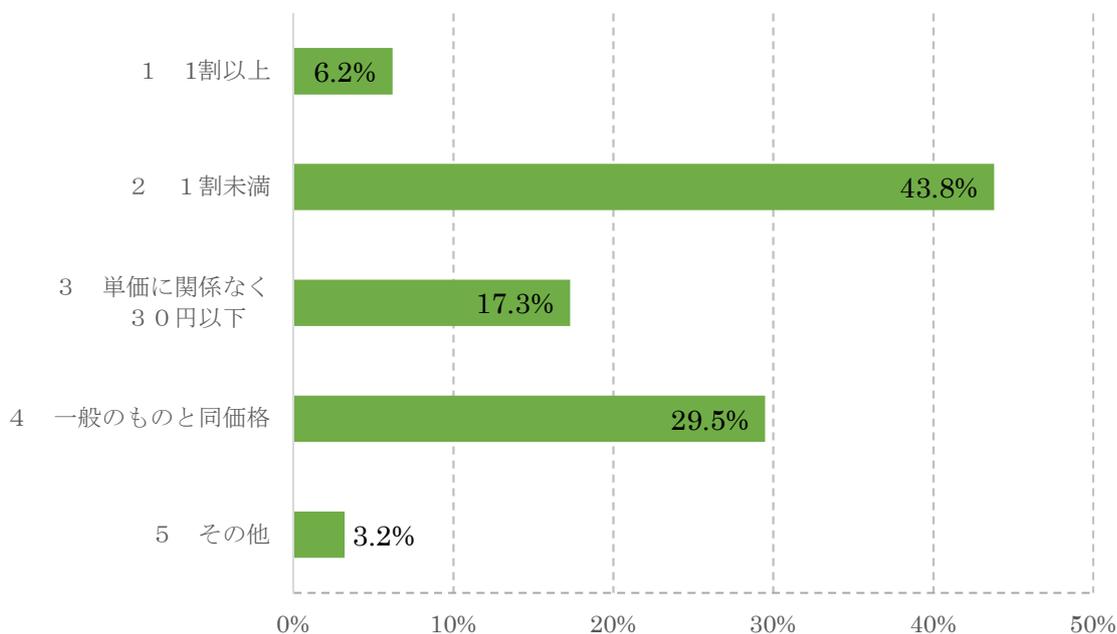
ワンヘルス認証農林水産物を購入する際、重視するポイントは何ですか。
次の中から【当てはまるもの全て】選んでください。



・ワンヘルス認証農林水産物を購入する際に重視する項目は、「安全・安心であること」と「地産地消のもの」が90%以上の回答であった。新鮮で安全性の高い農林水産物は、購入する際に重要視される傾向にある。また、「環境に配慮した取組を行っていること」は、70%以上で関心が高いことが分かる。

問6 ワンヘルス認証農林水産物を、次世代の投資と考えた場合、購入する際に、いくらまで価格の上乗せができますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。



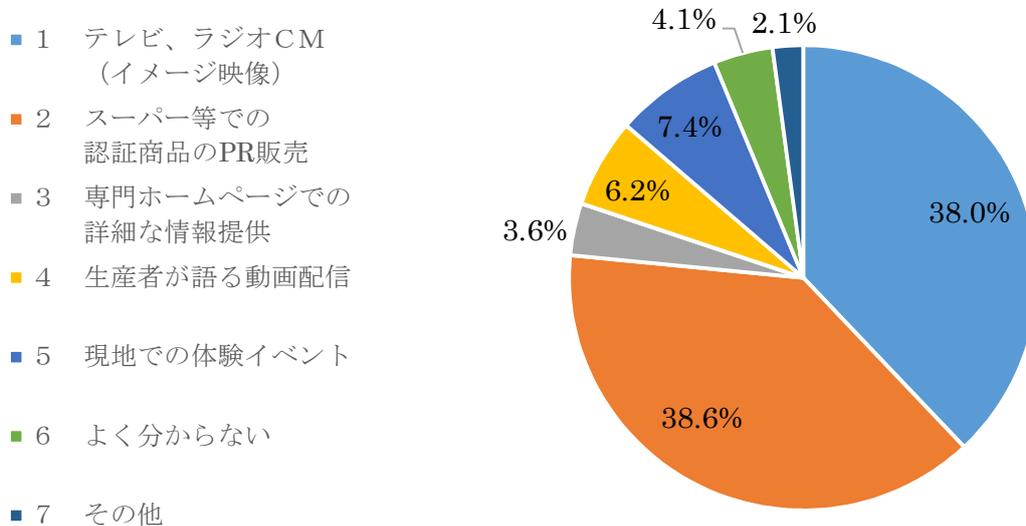
・価格上乗せができると回答した割合が67.3%と多く、認証された農林水産物の付加価値向上につながっていることが分かる。

問6-2 問6で「5その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・一般生産物に比して、様々なコストがかかっていることから、それに見合った価格であれば良いと思います。生態系の保全や温暖化の防止等、持続可能な社会の実現に向けての貢献度は高いと思いますので、個人的には、一般生産物の1.5倍くらいまでの価格は妥当と思います。(60～69歳、北九州地区、男性)
- ・ワンヘルス認証農林水産物の意味や意義、価格が高くなる理由に納得できればある程度高くなっても購入する。(40～49歳、筑後地区、女性)
- ・上乗せ50円くらいまでであれば買うかもしれない。(30～39歳、筑後地区、女性)
- ・ワンヘルス認証農産物が一般農産物と比較して、具体的にどのような消費者メリットがあるのかが不明。食の安全性、環境への配慮のレベルによって、価格上乗せの許容度は異なる。(70歳以上、福岡地区、男性)
- ・どのような効果を期待して実施しているのかが明確であれば上乗せがあっても買うと思います。ワンヘルス認証されていることだけ記載されていても、購入意欲には繋がりにくいです。(20～29歳、福岡地区、男性)

問7 今後、ワンヘルス認証農林水産物のPRを通じて、福岡県の農林水産業における食の安全・安心や環境保全型農業などの取組を紹介していきたいと考えております。そこで、今後、どのような取組の情報発信方法が良いと思いますか？
次の中から【2つまで】選んでください。



・ワンヘルス認証農林水産物の認知度向上のためには、「テレビ、ラジオCM」、「スーパー等での認証商品のPR販売」の回答は35%以上であり、今後もテレビCMの放映や福岡県ワンヘルス認証フェア開催による認知度向上対策を実施することが重要と判断できる。

問7-2 問7で「7その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・テレビ、ラジオ、パソコン、スマホも無く、外出もままならない人の存在も含めると、県政日より、市政日より等の全戸へ配布される紙媒体は必要と思います。(60～69歳、北九州地区、男性)
- ・ソーシャルメディアでの広告、公共交通機関での広告(40～49歳、北九州地区、女性)
- ・学校教育の中で、学童に学びを与え、その先の保護者へ浸透させる等ベースラインへの周知が重要。その先に、一般大衆向けに、メディアを使って、CMやイベント情報、特集などで周知し、実際に手に取り販売する場面で、商品の差別化ポイントを判りやすく示して購買者が手に取る戦略が良い。(60～69歳、北九州地区、男性)
- ・YouTube、Yahoo!の広告。(30～39歳、福岡地区、女性)
- ・市報など地域の冊子にも、子供でも見やすく説明や写真を何度も紹介して頂きたいと思います。(60～69歳、筑豊地区、女性)
- ・飲食店などでの無料試食会。(40～49歳、筑後地区、男性)

問8 福岡県ワンヘルス認証制度について、これまでの設問以外に意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・県のテレビCMは良くできており、覚えやすいと思います。来年はイベントが増えることを期待します。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・「福岡県ワンヘルス認証制度」という名前はようやく耳に定着してきたが、なかなかイメージが付きにくい。広報誌での特集や新聞広告、テレビ番組、漫画などによって、県民に制度の意義やメリット

を分かりやすく説明してほしい。(40～49歳、北九州地区、男性)

・認証された商品を買うことでどのような効果を得られるか、が分かると選ばれやすくなるのではないかと思う。なので紹介・PRが活発になると良いと思う。(20～29歳、北九州地区、女性)

・ワンヘルスというものをこれまでの県政の設問で知ってから、街中でもワンヘルスという言葉が目に入るようになった。逆にそれまではあまり気に止めることがなかったので、ワンヘルスの意味やメリットを大々的に広告する必要があると思った。(18～19歳、福岡地区、女性)

・福岡県だよりのお陰で知ることができました。まだまだ常に意識できているわけではないので、これから心掛けていきます。(30～39歳、福岡地区、男性)

・より広範囲なPRが必要ではないか。(60～69歳、福岡地区、男性)

・素晴らしい取り組みだと思う。この手の活動は県民に直接影響するようなものではないため浸透するまでは時間がかかるかもしれないが、粘り強く広報活動を行って欲しい。(40～49歳、福岡地区、男性)

・以前行われたイベントは、ワンヘルスを知るきっかけにもなり、地産地消への考えも深まりました。またイベントも開催してほしいです。(40～49歳、福岡地区、女性)

<県産農林水産物の認知度について>

【調査の目的】

福岡県には高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。それらの銘柄の認知度や購入動機等についてのご意見をお聴きし、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

農林水産物のブランド化のための事業効果を把握するため等の基礎資料として活用します。

(農林水産部 園芸振興課)

1 (1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で知っているものを選んでください。
(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=2,332)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 いちじく「福岡のいちじく」	34.1%	(126名)
2 いちじく「とよみつひめ」	53.5%	(198名)
3 いちご「博多あまおう」	97.8%	(362名)
4 みかん「福岡みかん」	36.8%	(136名)
5 みかん「北原早生(きたはらわせ)」	7.0%	(26名)
6 みかん「早味かん(はやみかん)」	10.5%	(39名)
7 ぶどう「福岡ぶどう」	20.0%	(74名)
8 なし「福岡なし」	17.8%	(66名)
9 なし「玉水(ぎよくすい)」	43.2%	(160名)
10 柿「福岡のかき」	25.4%	(94名)
11 柿「秋王」	56.8%	(210名)
12 キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	16.8%	(62名)
13 キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	17.3%	(64名)
14 もも「福岡のもも」	10.0%	(37名)
15 すもも「福岡のすもも」	5.7%	(21名)
16 なす「博多なす」	41.9%	(155名)
17 ねぎ「博多万能ねぎ」	67.3%	(249名)
18 トマト「博多のトマト」	16.8%	(62名)
19 レタス「福岡レタス」	10.5%	(39名)
20 なばな「博多な花おいしい菜」	7.6%	(28名)
21 きゅうり「博多きゅうり」	9.5%	(35名)
22 アスパラガス「博多アスパラガス」	7.6%	(28名)
23 苺菜「博多苺菜」	8.4%	(31名)
24 ブロッコリー「博多ブロッコリー」	7.0%	(26名)
25 知らない	1.1%	(4名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳			20~29歳			30~39歳			40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人数	207	161	2	8	1	29	19	1	38	23	1	42	29	35	30	44	41	11	18	
品目数	6.9	5.6	4.5	5.9	5.0	4.7	4.7	2.0	4.7	6.1	7.0	6.7	5.4	8.8	5.4	8.6	5.8	8.6	5.9	

1 (2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)で知っているものを選んでください。
(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=2,815)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)	割合(今年度)	人数(今年度)
1 米「夢つくし」	96.2%	(356名)
2 米「元氣つくし」	88.9%	(329名)
3 ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	46.8%	(173名)
4 大豆「ふくよかまる」	20.0%	(74名)
5 しめじ「博多ぶなしめじ」	51.6%	(191名)
6 えのきだけ「博多えのき」	23.8%	(88名)
7 ぬめりすぎたけ「博多すぎたけ」	3.0%	(11名)
8 「県産たけのこ」	18.9%	(70名)
9 「県産しいたけ」	14.3%	(53名)
10 緑茶「福岡の八女茶」	88.9%	(329名)
11 緑茶「八女伝統本玉露」	43.0%	(159名)
12 畳表「博多筆織(はかたかおり)」	17.0%	(63名)
13 「福岡花ござ」	11.1%	(41名)
14 鶏肉「はかた地どり」	69.5%	(257名)
15 鶏肉「はかた一番どり」	76.5%	(283名)
16 牛肉「博多和牛」	26.5%	(98名)
17 牛肉「福岡牛」	9.5%	(35名)
18 豚肉「博多すい〜とん」	8.4%	(31名)
19 獣肉「ふくおかジビエ」	11.6%	(43名)
20 「県産牛乳」	35.1%	(130名)
21 知らない	0.3%	(1名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳			20~29歳			30~39歳			40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人数	207	161	2	8	1	29	19	1	38	23	1	42	29	35	30	44	41	11	18	
品目数	8.1	7.0	5.5	7.4	8.0	6.6	6.2	3.0	6.7	7.6	8.0	8.4	7.4	9.4	6.9	9.2	7.0	7.6	6.7	

1 (3) 県産農林水産物の銘柄（水産）で知っているものを選んでください。

(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=1,595)

県産農林水産物の銘柄（水産）		割合（今年度）	人数（今年度）
1	「福岡有明のり」	76.5%	(283名)
2	「豊前海一粒かき」	44.3%	(164名)
3	「糸島カキ」	73.8%	(273名)
4	「唐泊恵比須かき（からとまりえびずかき）」	16.8%	(62名)
5	「津屋崎干軒かき」	7.8%	(29名)
6	「若松妙見かき」	3.8%	(14名)
7	「豊前本ガニ」	15.9%	(59名)
8	「鐘崎天然とらふく」	17.6%	(65名)
9	「カナトフグ」	27.3%	(101名)
10	「一本槍（いっぽんやり）」（釣りケンサキイカ）	14.6%	(54名)
11	「博多もずく」	18.1%	(67名)
12	「糸島産ふともずく」	6.2%	(23名)
13	「あかもく」	42.4%	(157名)
14	「弘わかめ（ひろわかめ）」	5.7%	(21名)
15	「金印汐わかめ（きんいんしおわかめ）」	4.6%	(17名)
16	「筑前海加布里産天然ハマグリ（ちくぜんかいかふりさんてんねんはまぐり）」	3.2%	(12名)
17	「釣りあじちゃん」	7.0%	(26名)
18	「特鮮本鱈」（とくせんほんざわら）	1.4%	(5名)
19	「関門海峡たこ」	27.6%	(102名)
20	アカウニ「海士の極（あまのきわみ）」	1.4%	(5名)
21	「スイゼンジノリ」	10.5%	(39名)
22	知らない	4.6%	(17名)
	無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均（年代・男女別）

	全世代			18～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
人数	207	161	2	8	1	29	19	1	38	23	1	42	29	35	30	44	41	11	18	
品目数	4.3	3.9	2.0	2.5	6.0	2.9	2.9	1.0	2.7	4.7	3.0	4.0	4.4	5.5	3.6	5.8	4.9	5.8	4.9	

2 生鮮食品を購入するとき、一番重要視することは何ですか。

(今年度調査 n=370 選択は1つのみ)

生鮮食品を購入するとき、一番重要視すること	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 鮮度 (色つやなど)	37.6%	(139名)
2 産地 (国内産、県内産など)	31.9%	(118名)
3 銘柄 (例えば、魚沼産のコシヒカリ、松阪牛など)	1.6%	(6名)
4 栽培方法 (有機栽培や減農薬栽培など)	2.4%	(9名)
5 価格	26.2%	(97名)
6 その他 (次の設問で具体的に記入してください)	0.3%	(1名)
	無回答 0.0%	(0名)

[その他]

鮮度、産地、価格を総合的に見て判断しているので一つだけは選べない。

3 販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物はどのようなものですか。

(今年度調査 n=370 3つまで回答可 回答件数=880)

販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 高い品質をもつ農林水産物	18.7%	(165名)
2 有名ブランドの農林水産物	5.9%	(52名)
3 メディア等で話題の農林水産物	4.0%	(35名)
4 販売価格が上昇した中でも、比較的安価な農林水産物	22.7%	(200名)
5 県産の農林水産物	10.4%	(92名)
6 愛着がある産地の農林水産物	7.9%	(70名)
7 環境負荷に配慮された農林水産物	3.9%	(34名)
8 安全・安心な農林水産物	26.3%	(232名)
9 その他 (具体的に)	0.1%	(1名)
	無回答 0.0%	(0名)

[その他]

価格が高いと生活費が切迫するので高くなってしまうと購買意欲がなくなる。

4 県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるものを選んでください。

(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=1,408)

県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるもの	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 イベントでの試食、展示、販売等	19.7%	(278名)
2 卸売市場や量販店での知事によるトップセールス (試食宣伝)	8.2%	(115名)
3 パンフレット、リーフレット等のPR資料の配布	8.0%	(113名)
4 ポスターの掲示	8.1%	(114名)
5 宣伝用動画の放映等店頭でのPR	5.9%	(83名)
6 テレビCM、ラジオ番組でのPR	16.7%	(235名)
7 インターネット広告やSNS (フェイスブックなど) を活用したPR	12.0%	(169名)
8 ホテルや人気レストランと新メニューの開発・提供	8.9%	(126名)
9 大手食品企業、コンビニ、酒造会社等と連携した新商品の開発・販売	12.4%	(175名)
	無回答 0.0%	(0名)

5 県産農林水産物に関するその他のご意見。

(今年度調査 n=370 選択は1つのみ)

県産農林水産物に関するその他のご意見	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 ある (次の設問で具体的に記入してください)	30.8%	(114名)
2 特になし	69.2%	(256名)
	無回答 0.0%	(0名)

[その他 (抜粋)]

・学校給食、学校や会社の食堂などで使用してもらい、レシピも併せて公開するのはどうか。また子育て支援センターや健康診断などで離乳食の指導をするときに勧めたり、実際に使用したものを食べてもらったりするのも効果的だと思う。レシピが紹介されると、取り入れやすい。

・お米のCMがとても印象に残っており、子供がよく歌っています。口ずさみやすかったり、子供が広めてくれるCMがあればいいと思います。

・もっと利用したいと思うが、身近に手に入りにくいのが実情なのは。一般のスーパーでも気軽に手に入る流通をしてほしい。

・手軽さや手に取りやすさが重要であると思う。取っ掛かりがあるのとないのでは購買意欲が大きく変わるはず。そのため、試食や展示は取っ掛かりとして重要だと考える。またコンビニなどはより多くの人を利用しやすく、手軽さではスーパーを超えるため、コンビニに商品を置くことや商品開発をすることは大変良いと思う。

・最近、ふるさと納税で秋王を食べたがとても美味しかった。しかし、食べるまで秋王を全く知らなかったもので、どんどんPRしてほしい。